

調達仕様書、手引き

- ・ H15農地等データ仕様等検討会報告書の抜粋
- ・ H16農村振興地理情報システム整備事業報告書の抜粋

農地等データ仕様等検討会
地域における GIS 構築の手引き

目次

1. 農業関係機関の GIS 活用方法	1
2. 地域における GIS 導入手順.....	3
2.1. 地域の農業関係機関における情報の共有化の必要性	3
2.2. 地域の農業関係団体等が構成する協議会の設立	3
2.3. GIS 導入手順	4
2.4. 検討内容	5
2.4.1. 各機関における利用空間データの種類の抽出	5
2.4.2. 地域で共有する空間データの種類の検討	5
2.4.3. 地域で共有する空間データの運用方法の検討	5
2.4.4. 地域で空間データを共有するためのシステム構成の検討	5
2.5. 地域における GIS 構築構想の作成	6
2.6. 新規システム構築	6
2.6.1. 空間データ整備の作業内容	6
2.6.2. システム構築の作業内容	7
2.7. 交換フォーマットへの対応	7
2.7.1. 変換ツールの作成	8
2.7.2. 入力出力機能の実装	8
2.8. 情報セキュリティポリシーの策定	9
2.9. 試験運用	10
2.10. 運用実施	10
3. 共有する空間データの考え方	11
3.1. 共有する空間データの種類の	11
3.1.1. 主題データ（農地筆区画データ）	11
3.1.2. 基図、背景図データ（地形データ、デジタルオルソ）	11
3.1.3. その他共有し得るデータ	12
3.2. 空間データの仕様	13
3.2.1. 空間データ調達仕様書（案）	13
3.2.2. 空間データの品質	17
3.2.3. 空間データのファイル形式	23
3.2.4. 空間データの座標系	24
3.3. 既存データの活用	24
4. システム構成の考え方	25
4.1. GIS ツールについて	25
4.2. システム構成の種類	27
4.3. GIS アプリケーション	28

1. 農業関係機関の GIS 活用方法

GIS (Geographic Information System) は、国土地理院によれば、「地理的位置を手がかりに、位置に関する情報を持ったデータ (空間データ) を総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術」である。この、GIS を利用するメリットは、一般的に次の3点が図られることである。

地図作製・更新・複写の効率化

位置情報を媒介とした情報検索の効率化と総合化

情報の総合化によるシミュレーション

まずは、従来の紙やマイラーで作製された図面は、その更新のために図面のトレース等、労力と費用が必要となり、また修正を繰り返すことで次第に図面の質が低下する。それを数値データ化することにより、修正、複写が容易であり、また作業に伴う劣化がない。さらに、多くの担当者 (機関) での共有が可能となる。

次に、台帳等の情報は、名称等のキーワードを用いて検索する必要があるが、空間データであれば位置情報から必要な情報を検索することが可能である。さらに、紙図面であれば多くの図面を比較し情報を整理する必要がある業務においても、それぞれのデータが空間データ化されていれば、その多様なデータを重ね合わせ、位置情報を索引として必要な情報を検索するとともに、それらの情報をごく自然に総合化し、その状況を把握することができる。

また、情報の総合化により、複数の情報から相互関連の状況把握が可能となり、さらに条件を設定することでシミュレーションが可能となる。

農業関係機関において、最も多く GIS を活用している業務として農地の状況把握が挙げられる。つまり、農地筆区画情報を空間データ化し、GIS アプリケーションを用いて地域の農地の地目や所有者、耕作者といった状況を把握できる。さらに土壌図や用水路等の土地改良施設の空間データ等、地域営農に欠かせない情報を追加することによって、より詳細な農地の条件、状況が把握できる。このような GIS の機能を用い、農地の利用調整を図ることができ、また、営農指導等での利用が可能となる。

なお、空間データの共有化、相互利用に資することを目的とした、先進的に GIS を活用している農業関係団体（35 団体）に導入されたシステムについての概要調査において、各団体における GIS の利用目的およびシステム構成（内容については 4.2 を参照）は以下のとおりとなっている。

市町村における GIS 活用例

利用目的：農用地利用調整、営農指導、農地流動化促進、農家基本台帳整備
システム構成：スタンドアローン型 7 件、ネットワーク型 7 件

農業委員会における GIS 活用例

利用目的：農用地情報管理、農地流動化、農地基本台帳管理
システム構成：スタンドアローン型 2 件、ネットワーク型 1 件

土地改良区における GIS 活用例

利用目的：農地情報管理、施設管理、農地流動化支援、賦課金徴収業務支援、
システム構成：スタンドアローン型 6 件、ネットワーク型 3 件（内 1 件は WebGIS）

農協における GIS 活用例

利用目的：農用地利用調整、農家土地利用台帳
システム構成：スタンドアローン型 5 件、ネットワーク型 4 件

2.地域における GIS 導入手順

2.1. 地域の農業関係機関における情報の共有化の必要性

地域農業の振興のためには、地域の農業関係団体がそれぞれの役割を果たしつつ、連携していくことが必要である。その場合、各々の団体で所有している営農に関する情報を共有化し、より地域の状況を詳細に把握し、業務を推進していくことが有効である。

特に、農産物の安全性等のアピールのために生産者や農地、用水といった営農環境を消費者に提供していくケースも多く、その場合、団体によって提供される情報が異なることは望ましくない。

前述の通り、農業関係機関では GIS を活用することによって効率的な業務の推進が図られるが、実際に GIS を活用するためには、まずは各々の機関において業務分析を行い、どのような業務に対して GIS を導入するのかを検討する必要がある。

さらに、地域の農業関係機関において、農地情報をはじめ業務に必要な空間データを地域の農業関係機関で共有化することはもちろんのこと、データ更新についてもルールを定め、必要に応じ、システムを共同で開発する等、効率的なデータ整備及びシステム構築を行うことが望ましい。

2.2. 地域の農業関係団体等が構成する協議会の設立

2.1 の地域の農業関係機関における情報の共有化の必要性を踏まえ、複数の農業関係団体で GIS を活用する地域においては、その GIS を活用する機関で構成する農地情報推進協議会(以下、協議会)を設立し、各機関の効率的な GIS 構築に向けた検討を行う。その場合、地域の農業関係機関のうち、GIS を活用し得る業務を行っている多くの機関の参加を募り、地域全体としての情報化を検討していくことが望ましい。

2.3. GIS 導入手順

地域の農業関係機関で GIS を構築する際の手順を、以下のフロー図に示す。

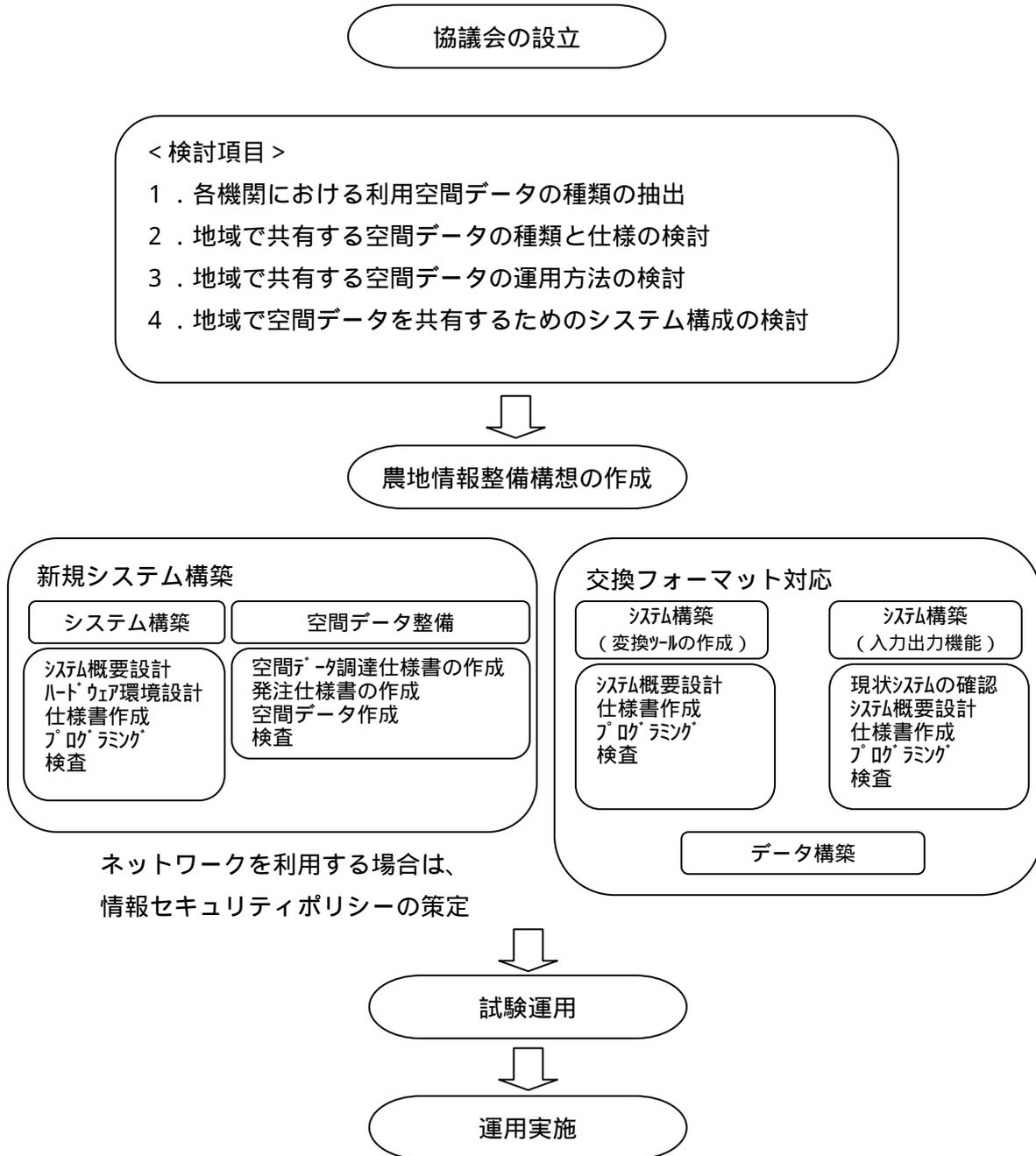


図 2-1 GIS 構築フロー

2.4. 検討内容

以下に、地域の農業関係機関で GIS を効率的に構築するための協議会において、検討すべき内容を示す。

2.4.1. 各機関における利用空間データの種類の抽出

参加農業関係団体が各自どのような空間データを保有し利用しているか、既存データの調査を行う。また、各機関で業務に GIS を利用するために今後整備する空間データについても整理する。

2.4.2. 地域で共有する空間データの種類と仕様の検討

2.4.1 で提示された既存データまたは今後整備する空間データの中から、地域の農業関係機関において共有する空間データを抽出する。

地域で共有する空間データを抽出後、それぞれの空間データについて、共有するデータの定義、属性、品質、利用範囲等について、検討を行う。特に農地情報等、個人情報を含む空間データの取り扱いについては、協議会において決定する必要がある。

2.4.3. 地域で共有する空間データの運用方法の検討

地域の農業関係機関で空間データを共有し、運用していくためには、GIS 整備後の空間データの管理や更新ルールを確立する必要がある。

ここでは、共有する空間データの管理および更新を行う機関、更新時期、更新時の空間データの品質や、更新費用の各機関の負担方法等について検討を行う。

2.4.4. 地域で空間データを共有するためのシステム構成の検討

農業関係団体間で空間データを共有するためには、以下の方法が考えられる。

各機関間でネットワークを構成し、データを共有するためのサーバを構築する。

ネットワーク構成等は整備せず、整備（更新）した空間データを CD や MO といったメディアで受け渡しをする。

は、共有する空間データの更新頻度が高く、またシステム利用者（クライアント）数が多いところで有効であるが、データ共有のためのサーバ機器、ネットワーク回線等の構築・維持に費用がかかる。既に GIS を導入している団体については、ネットワーク構成に対応できるか既存システム環境の調査を行う必要があり、対応できない場合は、既存システムの拡張等が必要となる。

また、ネットワークを構築して運用するためには、システムのセキュリティに配慮し、後述する情報セキュリティポリシーを策定して運用する必要がある。

は、各機関におけるシステム利用者（クライアント）数が少なく、または既に各機関においてそれぞれ GIS を導入しており、ネットワーク構築が困難な地域で有効である。各機関で導入されている GIS で、入力（インポート）できる空間データの形式の中から交換フォーマットを採用する。交換フォーマットを入力できない場合は、交換フォーマットの入出力機能を実装するか、交換フォーマットから入出力可能なファイルフォーマットへの変換ツールを作成する必要がある。

2.5. 地域における GIS 構築構想の作成

以上の協議会での検討内容をとりまとめ、地域の農業関係機関の GIS 構築に関する実施方針として決定する。協議会参加機関は、その構想に基づき GIS を構築することとなる。

2.6. 新規システム構築

新たに GIS を導入する際には、まずは GIS を導入する業務について業務分析を行い、構築する GIS の概要について検討しておく必要がある。その後、空間データの整備と、その空間データを扱うためのシステム構築を行っていくこととなるが、このデータ整備とシステム構築について、その作業手順を下記に示す。

2.6.1. 空間データ整備の作業内容

（１）空間データ調達仕様書の作成

業務で GIS を活用するために必要な空間データについて、その種類や内容、品質等を定めた空間データ調達仕様書を作成する。（空間データ調達仕様書（案）を参照）

なお、空間データ調達仕様書の作成は、後述するシステム構築の概要設計と並行して行う必要がある。

（２）発注仕様書の作成

空間データ整備を外部委託する場合は、空間データ調達仕様書に基づき、発注するための発注仕様書を作成する。

（３）空間データ作成

空間データ調達仕様書に基づいて、データ作成を行う。

（４）検査

空間データ作成が終了した段階で、空間データ調達仕様書に基づいて検査を行う。

2.6.2. システム構築の作業内容

(1) システム概要設計

システム構築する上での基本的な設計であり、システム構築の要件として、システム機能、システム構成の種類、利用するデータ項目・容量等を整理する。(システム構成の種類、GIS アプリケーションの概要は後述する)

(2) ハードウェア環境設計

システム概要設計書より、パソコンおよびネットワーク環境といったハードウェア環境の仕様について設計を行う。

(3) 仕様書作成

システム概要設計、ハードウェア環境の設計より、システムの仕様をまとめた仕様書を作成する。システム構築を外部委託する場合は、発注仕様書として作成する。

(4) プログラミング

仕様書に基づいて、システムエンジニアと協議を行いながら、システム設計書を作成する。その後、システム設計書に基づいてプログラミングを行う。

なお、プログラミングを行う際、空間データを用いて実証するため、サンプルデータを準備する必要がある。

(5) 検査

プログラミング完了後、検査を行う。

2.7. 交換フォーマットへの対応

2.4.4 で述べたように、空間データを共有するための交換フォーマットを定めた場合は、それぞれの機関の GIS においてその交換フォーマットを入出力できるようにする必要がある。その方法としては、以下の方法が考えられる。

システムにその交換フォーマットの入出力機能を実装する。

その交換フォーマットのデータを、システムに入出力できるファイルフォーマットに変換する変換ツールを作成する。

この入出力機能の実装、または変換ツールによっては、共有する空間データの仕様(属性定義等)が限定される場合もあることに留意し、2.6.1(1)の空間データ調達仕様書を作成する必要がある。

2.7.1. 変換ツールの作成

(1) システム概要設計

入力するファイルフォーマットと出力するファイルフォーマット及び属性項目についての仕様をまとめる。

(2) 仕様書作成

システム概要設計を基に発注するための仕様書を作成する。

(3) プログラミング

仕様書に基づいて、システムエンジニアと協議を行いながら、システム設計書を作成する。その後、システム設計書に基づいてプログラミングを行う。

プログラミングを行う際、サンプルデータを準備する必要がある。

(4) 検査

プログラミング完了後、検査を行う。

2.7.2. 入力出力機能の実装

(1) 現状システムの確認

システム設計書より、現状システムでの交換フォーマットの実装について検討する。

(2) システム概要設計

入力出力機能を実装するための機能等の要件についてまとめる。

(3) 仕様書の作成

システム概要設計書に基づいて、発注するための仕様書を作成する。

(4) プログラミング

仕様書に基づいてプログラミングを行う。

プログラミングを行う際、サンプルデータを準備する必要がある。

(5) 検証

プログラミング完了後、検査を行う。

2.8. 情報セキュリティポリシーの策定

システム管理者の設定やシステム運用規則等、情報セキュリティのための方針および判断基準を示す情報セキュリティポリシーを策定し、適切に運用してゆく必要がある。

情報セキュリティとは、データ漏洩等を防止する機密性、改ざん等を防止する完全性、システム停止等を防止する可用性を維持することを指す。

以下に、情報セキュリティポリシーの作成手続きの概要を示す。

(1) 組織・体制の確立

セキュリティポリシー作成にあたり、その責任の所在を明確にするため、専門的知識を有する者で構成された組織を成立する。

(2) 基本方針の策定

必要とされる情報セキュリティのため、対策を講じる基本方針を策定する。

(3) リスク分析

保護すべき情報資産を明確化し、それらに対するリスクの評価を行う。

保護すべき情報資産の種類、管理者、状況を調査、整理する

整理した内容について、機密性、完全性、可用性の観点から分類を行う。

分類結果から、それぞれのリスク評価(被害の大きさと発生頻度の整理等)を行う。

評価結果を基に、情報セキュリティ対策の方針を検討する。

(4) 対策基準の策定

各情報資産の個々のリスク分析結果に対して、体系化した上で対策基準であるセキュリティポリシーを策定する。以下に概要を示す。

組織・体制

情報セキュリティ確保のための組織・体制を決定する。

情報の分類と管理

情報管理責任者および、リスク分析結果をもとに情報分類および管理方法を決定する。

物理的セキュリティ

物理的なセキュリティ対策を決定する。

人的セキュリティ

人的なセキュリティ対策を決定する。

技術的セキュリティ

技術的なセキュリティ対策を決定する。

運用

セキュリティポリシーの運用・管理規程を決定する。

法令遵守

関連する法令への遵守等を決定する。

情報セキュリティに関する違反に対する対応

セキュリティポリシー違反者に対する罰則等を決定する。

評価・見直し

定期的な対策基準の見直しに関する内容を決定する。

2.9. 試験運用

導入したハードウェア及び整備したデータ、作成したアプリケーションを実装し、試験運用を行う。ここで、実装におけるシステム調整及び利用者への研修を行う。

2.10. 運用実施

試験運用終了後、本格運用に切り替える。

3.共有する空間データの考え方

地域で共有して利用できるデータについて、その整備方針を整理する。

3.1. 共有する空間データの種類

多くの地域において、それぞれで共有すべきデータには、主題データとして農地筆区画データ、基図・背景図データとしてデジタルオルソ画像、地形データが挙げられる。

これ以外にも、地域毎に必要なデータが考えられる。

3.1.1. 主題データ（農地筆区画データ）

地域で共有し得る空間データとして、多くの団体で利用されている主題データは、農地筆区画データである。

ベクタデータとして、市町村、大字、小字、地番、所有権者、耕作権者といった地域の農業関係機関で共通して必要な属性情報を持つ。

データ作成手法としては、以下が挙げられる。

測量および紙・原図（アナログデータ）からの新規作成

既存の地籍図・地番図データ（デジタルデータ）の加工による作成

法 17 条地図、公図、地番図といった元資料を利用する整備が望ましく、位置精度は土地管理に必要な精度である 1/2,500 を原則とするが、地域の事情、元資料の精度等により、地域で決定するものとする。

3.1.2. 基図、背景図データ（地形データ、デジタルオルソ）

基図として共有して利用するデータには、地形データ、デジタルオルソが挙げられる。

（ 1 ）地形データ

地形データは、ベクタデータ、ラスタデータの 2 種類が存在し、データ作成手法として以下が挙げられる。

既存地形図（アナログ原図）のラスタデータ化

既存地形図（アナログ原図）のベクタデータ化

測量による数値地形図データ作成

数値地形図の場合は、公共測量作業規程において規定の図式（大縮尺地形図図式および国土基本図図式）、デジタルマッピング取得分類基準及びデジタルマッピングファイル仕様等に従い作成を行う。

位置精度は、主に土地管理に資する場合が多いことを考慮し、原則 1/2,500 とする。

(2) デジタルオルソ

航空写真、もしくは同等以上の精度を有するデジタル画像を用いて整備を行う。

背景図として利用するのであれば位置精度を要しないため、デジタルモザイク（簡易デジタルオルソ）として整備を行うことも可能である。

なお、地形データ、デジタルオルソのどちらの整備を選択するかは、地域により、また、システムの目的により一概に言えない。利用目的が優先ではあるが、経済性を考慮した場合は、以下の方針とする。

既存の基図が整備されていない場合は、デジタルオルソ画像を新規整備する。

既存の地形データ（もしくは地形図）がある場合は、そのデータを基に更新・加工を行うか、デジタルオルソ画像の新規整備について、より経済的である方を選択する。

3.1.3. その他共有し得るデータ

基図、農地筆区画データ以外に共有し得るデータは、地域の実情や GIS 利用目的により、基本的に協議会において決定する。そのデータの一例は、以下のとおりである。

表 3-1 地域で共有し得る空間データの例

種類	詳細
境界	市町村界、集落界、字界、土地改良区界
計画区域界	農業振興地域（農用地区域）、都市計画区域
施設位置等	用排水路、用水施設、農業施設、農業関係機関（本所、出先）
道路	道路（国道、主要地方道、市町村道、農道、集落道等）
他各主題	土壌図、災害危険箇所分布図
画像	衛星画像

3.2. 空間データの仕様

空間データを整備するにあたり、データの定義、形状、属性情報、品質等の仕様を明確にする必要がある。検討会では、地域で空間データを共有するための仕様書案として空間データ調達仕様書（案）を作成した。

空間データ調達仕様書（案）では、地域において共有できるデータとして考えられる農地筆区画とデジタルオルソについてデータの定義を行い、最低限統一すべき属性と品質を考慮した仕様を作成している。各データ作成においては、原則、本仕様に従うものとするが、必要に応じて属性の追加や品質の修正を行うことができる。

また、それぞれの地域において共有化が必要であるデータについては、データ仕様を個別に定義し追加することができる。

なお、データ定義の参考資料として、農村振興地理情報システム整備事業における空間データ調達仕様書における品質要件書を添付する。

3.2.1. 空間データ調達仕様書（案）

本業務における空間データの仕様書案である、空間データ調達仕様書（案）は、プロダクトスペック型の仕様書である。

プロダクトスペック型とは、空間データ作成において、作成方法や作成工程を限定せず、作成する空間データの仕様と品質検査方法だけを示すものである。この仕様書の利点は次のとおりである。

- ・作成手法及び工程を限定しないため、関連技術の発展に応じた新しい手法等の採用が容易になり、データ作成の効率化が期待できる。
- ・従来の地図の仕様にとらわれることなく、必要なデータ項目のみを示すため、オーバースペックの回避が容易になる。
- ・データ項目とその品質を明確にするため、他業務での活用の可否を判断し易くなり、重複投資の回避が容易になる。

なお、成果品の品質の保証を考えた場合、作業規程による発注では、規程に従って作業が行われることによって自動的に品質が確保される部分が多いが、調達仕様による発注では、成果品が要求仕様を満たしているかどうかを確認する方法を常に考慮する必要がある。

プロセススペック型は、従来の公共測量等で使われているもので、作成手法及び工程を限定する作業規程を記述している。これは、成果品（地図）の精度を確保する方法として有効ではあるが、デジタルデータの取得・処理技術が常に進展していることを考慮すれば、効率的なデータ作成手法を柔軟に活用しにくいという面もある。また一方、発注仕様に関しては、成果品（地図）の「縮尺」が主要な発注仕様となっており、縮尺を決めれば成果品の規格や品質（精度）が概ね定まってしまうため、規格の統一は容易であるが、種々の目的に応じた効率的な仕様の設定がしにくいという面がある。

国内外の地理情報の標準化動向に目を向けると、今後のデータ整備仕様書は、従来のプロセス仕様型からプロダクト仕様型に移る方向にある。このような情勢により、プロダクト仕様型の仕様書を作成した。ここで、空間データ調達仕様書（案）における留意点を、以下に挙げる。

なお、実施主体における個別内容等については、適宜、追加および修正を行う。

(1) 1.2 引用する法令や基準

記述された法令や基準の概要を以下に示す。

- ・測量法（最終改正平成十三年六月二十日）（準拠する測地系の定義）

これまで日本独自の測地系（地球上での位置を経度・緯度で表すための基準）として日本測地系を利用してきたが、国際的に定められている測地基準系である世界測地系へ対応するため、平成 14 年 4 月 1 日に新測量法が施行された。

世界測地系と従来の日本測地系では、座標値が同じであっても実際の位置が異なるため、既存データの座標変換作業や両測地系の空間データを利用できるように GIS アプリケーションを改良する等の対応が必要となる。

- ・国土交通省告示第九号（平面直角座標系の定義）

測量法の改正に伴い、従来の平面直角座標系（建設省告示第三千五十九号）は廃止され、新たに平面直角座標系（平成 14 年国土交通省告示第九号）が施行されている。

- ・地理情報標準第 2 版（品質の定義）

地理情報標準推進委員会及び国土地理院により取りまとめられた国内における地理情報の標準化仕様である。ISO（国際標準化機構）で進んでいる地理情報の国際標準との整合も図られ、地理情報のデータ交換方式、作成方法等について定義されている。

平成 10 年度末に、ISO における標準案を踏まえた地理情報標準第 1 版がとりまとめられたが、ISO における国際標準案の継続的な検討および標準の利用に関する運用面の課題への早急な対応を踏まえ、国土地理院は 1999 年度～2001 年度にかけて、民間企業 38 社との共同研究「地理情報標準の運用に関する研究」を実施し、2002 年 3 月に地理情報標準第 2 版（JSGI2.0）を作成した。

詳細については、国土地理院ホームページ上で情報提供されている。

（<http://www.gsi.go.jp/GIS/stdindex.html>）

・ JPM2.0 (メタデータの定義)

空間データ(地理情報)の所在、内容、品質、利用条件等を記述するメタデータの国内標準として作成された「日本版メタデータプロファイル(JMP1.1a)」を、2003年5月のメタデータ(ISO19115)の国際規格の発行に伴い、国土地理院及び民間企業17社が参加する共同研究「地理情報標準の普及・利用技術に関する研究」において、国際規格に準拠した内容に改訂したものである。

仕様書および作成に必要なエディタ等の詳細については、国土地理院ホームページ上で情報提供されている。(<http://zgate.gsi.go.jp/ch/jmp20/jmp20.html>)

(2) 3.3 品質検査

品質検査(評価)の留意点については、3.2.2にて詳述する。

(3) 3.5 メタデータの作成

メタデータには、自由に記述を行うことができる項目が存在する。

しかし、デジタルオルソの時間妥当性の品質検査においては、後述する品質概観要素の系譜により、メタデータに記述した内容との比較を行うため、メタデータの自由記述項目である「系譜説明」への必須事項を明示した。

これ以外にも、メタデータにおいてそれぞれの実施主体が必要とする内容については、追記を行うことができる。

(4) 別紙1 品質要件書

別紙1として品質要件書を添付し、図3-1のとおり、空間データの定義、品質要求および検査(評価)方法を明示する。

定義では、地物の名称やその定義、空間的な位置・形状の特性、属性情報、作成に用いられる元資料等を示す。

品質要求および品質検査方法では、要件に従った品質について、品質要求、品質検査(評価)方法、適合水準を示す。

なお、必要に応じて、表の枠外に作成における留意点を示している。

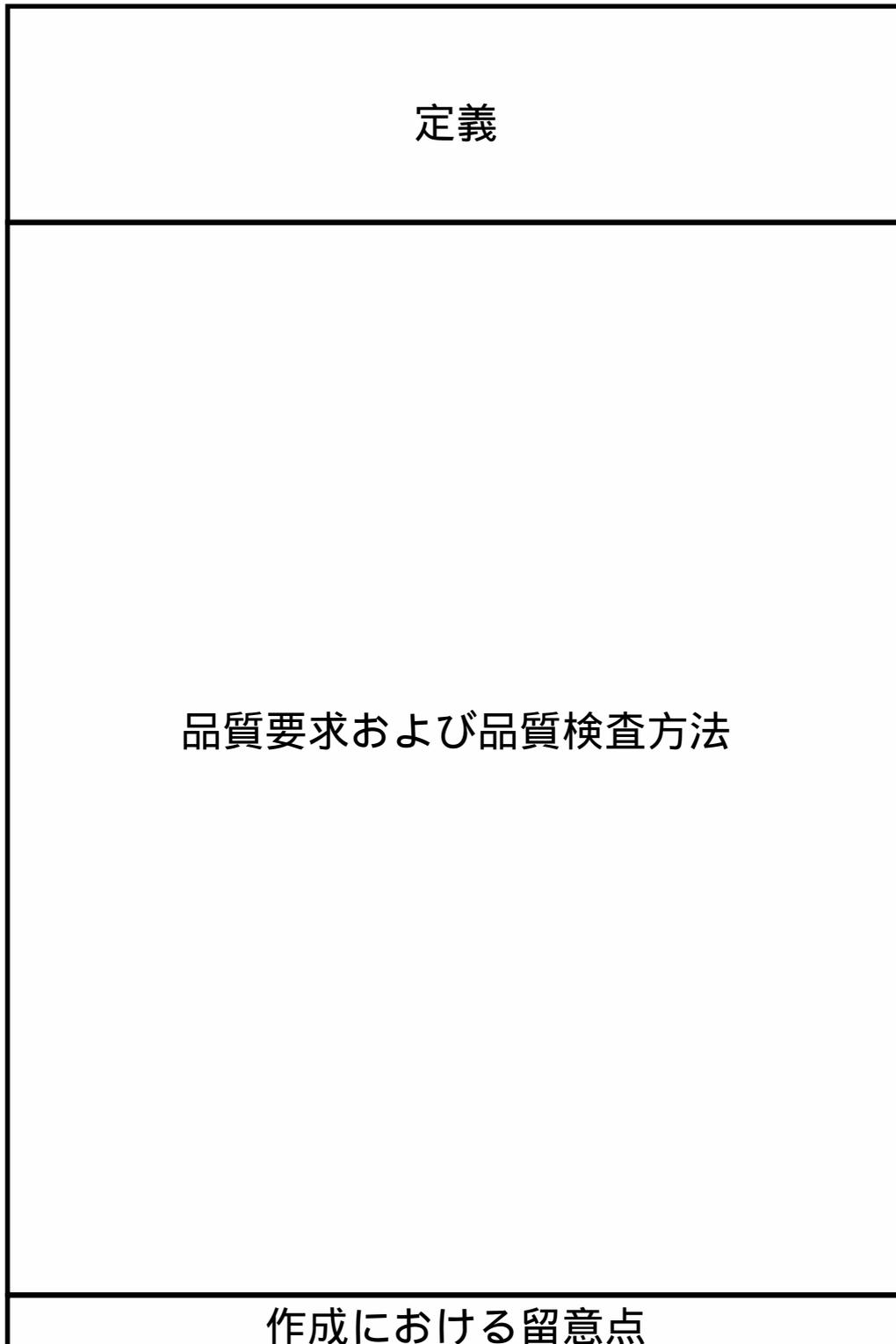


図 3-1 品質要件書の構成

3.2.2. 空間データの品質

地理情報標準では、空間データの作成者と利用者間で共通の「空間データ品質」を定め、それを評価するための標準的な品質評価手順を定めている。ここでの「品質」とはデータが現実世界をどれだけ忠実に再現しているかではなく、調達仕様書に記載されている、目的とする空間データの仕様(理想データセット)と作成されたデータとの差異によって規定される。よって、現実の世界を完全に表現した内容でなくても、作成されたデータと調達仕様書に記載されている仕様との差異が小さければ正確なデータといえる。

空間データの品質を定義し品質評価手順を標準化することで、品質評価の基準がより明確になる。データ作成者側は「作成した空間データが調達仕様書をどの程度満たしているか」を規定でき、利用者側は「作成された空間データが利用目的にどれだけ沿ったものであるか」を評価できる。そのため、空間データは、あくまで利用目的に対して必要とされる品質に基づいて作成される。位置測定の正確度が限りなく高いデータが良いデータである、というのではなく、仕様がどれだけ満たしているのかによってデータの正確さが判断されることになる。

品質評価結果はメタデータに品質情報として記載され、一般的なメタデータ用品質情報以外にも品質評価を行った場合等は付加的な品質評価報告書の作成が必要となる。

地理情報標準における空間データの定量的品質は、表 3-2 で示される要素で構成される。また、非定量的品質の記述には、表 3-3 で示されるデータ品質概観要素が用いられる。

本空間データ調達仕様書(案)においては、上述の内容に倣い空間データ品質を定めている。ここでは、農地筆区画データとデジタルオルソデータの品質における留意点についてその考え方を整理する。

なお、各実施主体が必要とするデータを作成する場合の参考資料である農村振興地理情報システム整備事業における空間データ調達仕様書の品質要件書では、フォーマット一貫性および、品質における抜取検査の考え方が異なるため、属性項目、品質内容の参考までとする。

フォーマット一貫性については、農村振興地理情報システム整備事業の空間データ調達仕様書において、シェープファイルによる統一を行ったが、本仕様では地域における実情を考慮し、各地域において交換フォーマットを決定することとしている。

また、品質における抜取検査については、農村振興地理情報システム整備事業の空間データ調達仕様書では、JIS 規格の Z9002-1956 計数規準型一回抜取検査(不良個数の場合)(抜取検査 その2)に従った品質評価手法を採用しているが、地域毎に必要な品質の適合水準を一様に決定することは困難であり、また各実施主体においてその値を決定することも困難であると考えられる。

よって、本仕様においては、公共測量作業規定における数値地形測量の点検要領に従い、全体の2%を抽出する手法を採用する。

表 3-2 データ品質要素の構成

品質要素	品質副要素	内容
完全性	地物、地物属性、地物間関係の存否	
	過剰	データ集合中の過剰データ
	漏れ	データ集合からのデータの欠落
論理一貫性	データの構造、属性及び関係に関する論理的規則への忠実度	
	概念一貫性	概念スキーマ規則への忠実さ
	定義域一貫性	値の定義域に対する値の正確さ
	フォーマット一貫性	データがデータの物理的構造に従って格納されているか
	位相一貫性	明確に記載されたデータ集合の位相特性の正確さ
位置正確度	地物の位置の正確度	
	絶対または外部正確度	報告された座標値が真とみなされる値に接近する度合い
	相対または内部正確度	データ集合における地物の相対位置が、真とみなされる相対位置に接近する度合い
	グリッドデータ位置正確度	グリッドデータの位置が真とみなされる値に近接する度合い
時間正確度	地物の時間属性と時間関係の正確度	
	時間測定正確度	項目の時間参照の正確性（時間測定における誤差の報告）
	時間一貫性	順序付けられたイベントや連続性が報告された場合の正確性
	時間妥当性	データの時間に関する妥当性
主題正確度	定量的属性の正確度、非定量的属性の正確性、地物の分類と地物間関係の正確性	
	分類の正確性	地物又は属性に割り当てられたクラスの議論領域との比較（例えば真の場所、参照データ集合）
	非定量的属性の正確性	非定量的属性の正確性
	定量的属性の正確度	定量的属性の正確度
追加のデータ品質要素	追加のデータ品質要素には、上記で取り扱われないデータ集合の定量的品質に関する構成要素を記述する。	

表 3-3 データ品質概観要素の構成

品質概観要素	内容
目的	データ集合を作成する根拠を記述し、意図されている用法に関する情報を含む（データ集合の意図されている用法は、実際の用途と同じである必要はない）
用法	データ作成者や他のデータ利用者によるデータ集合の用途を記述する
系譜	データ集合の履歴を分かる限り記述し、データ集合の収集・取得から編集及び現形式への導出までのライフサイクルを詳述する
追加のデータ品質概観要素	追加のデータ品質概観要素には、上記で取り扱われないデータ集合の非定量的品質の範囲を記述する。

(1) 農地筆区画データ

対象項目 : 面図形

品質要素 : 論理一貫性 - 位相一貫性

品質要求 : 面図形同士の交差および重複がないこと。また、隣接する場合は、隙間が存在しないこと。

品質検査方法 : データを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。

適合水準 : 誤率 : 0%

隣接する面との位置関係を考慮し、交差や重複および隣接する際には隙間が存在しないことを品質要求としている。作成されるデータのイメージは、図 3-2 のとおりである。

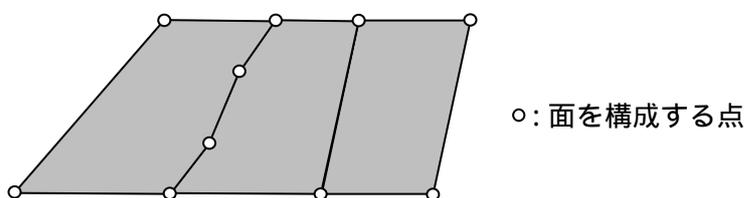


図 3-2 作成データのイメージ

農地筆区画の面図形同士における交差とは図 3-3 のように図形の一部が他データと交差すること、また重複とは 図 3-3 のように他データと重複することを示す。

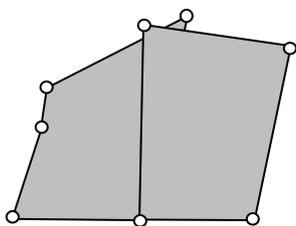


図 3-3 交差の例

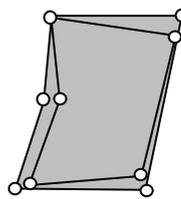


図 3-4 重複の例

また、隣接する場合は、図 3-5 のように面の間隙間ができてはいけない。

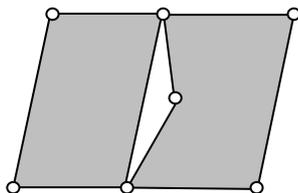
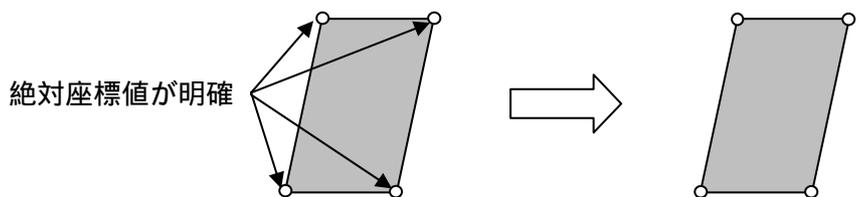


図 3-5 隙間の例

これらの内容について、コンピュータプログラムにより全数検査を行い、誤りがないものとする。

- 対象項目 : 面図形
- a . 品質要素 : 位置正確度 - 絶対または外部正確度
- 品質要求 : 元資料が不動産登記法第 17 条で定められた現地復元性のある地図に該当し、面図形を構成する境界点座標値が明確である場合、元資料と同一であること。
- 品質検査方法 : データと元資料とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。
- 適合水準 : 誤率 : 0%

法 17 条地図のうち、地籍測量が行われ境界点が明示されている場合は、境界点の絶対座標値（平面直角座標系）が明確であるので、この境界点が筆区画の構成点として元資料と同一の農地筆区画データの作成を行う。



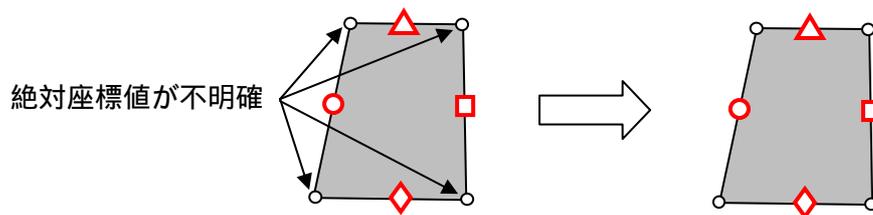
境界点座標値を構成点として農地筆区画データを作成

図 3-6 境界点座標値が明確な場合

この内容について、コンピュータプログラムにより全数検査を行い、誤りがないものとする。

- b . 品質要素 : 位置正確度 - 相対または内部正確度
- 品質要求 : 面図形を構成する境界点座標値が明確でない場合、元資料に対して相似性があること。
- 品質検査方法 : データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。
- 適合水準 : 誤率 : 0%(サンプリングした試料において)

公図等、元資料において概略の形状は分かるが、詳細な境界点の絶対座標値（平面直角座標系）が不明確である場合は、相対的な位置正確度として、必要な品質要求（相似性）を明示する。例えば、相対的な座標値が分かっている場合には「境界点間距離が元資料と一致すること」等が考えられる。配置のみが把握できれば良い場合は、その旨を記述する。



元資料と相似性を保持させてデータを作成

図 3-7 境界点座標値が不明確な場合

これらの内容について、目視によりサンプリング検査を行い、サンプリングした試料において誤りがないものとする。

(2) デジタルオルソ

品質要素 : 完全性 - 過剰 (漏れ)

品質要求 : 整備範囲において過剰 (漏れ) がないこと。

品質検査方法 : 整備範囲においてデータと元資料を、目視により対比し、全数検査する。

適合水準 : 誤率 : 0%

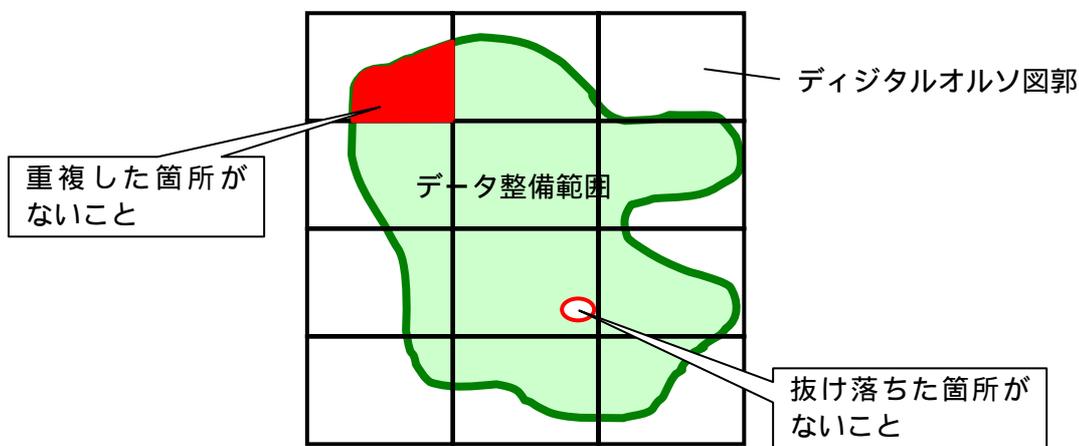


図 3-8 データ整備範囲

データ整備範囲内で、過剰として、重複した箇所がないこと、また、漏れとして、範囲内で抜け落ちた箇所や雲により見えない箇所等がないことを確認する。

対象項目 : 画素サイズ
品質要素 : 論理一貫性 - 定義域一貫性
品質要求 : 解像度が 30cm 以上であること。
品質検査方法 : 画像ファイルの画素数から、画素サイズを計算し、画面上で画素を拡大し、目視により画素が生取得値であるか（粗い解像度の画素を再取得したものでないことを確認）、サンプリング検査する。
適合水準 : 誤率：0% (サンプリングした試料において)

30cm という解像度は、農地環境緊急対策事業において、畦畔を判読できる解像度として決定されたものである。本仕様においても、土地管理を行うためのに必要な解像度であると考え、この値を採用している。

ただし、さらに細かい単位で判読が必要な場合等、より詳細な解像度が必要な場合には、解像度を任意に設定することが可能である。

対象項目 : 画像
品質要素 : 位置正確度 - 絶対または外部正確度
品質要求 : データ上の座標値と、同位置の現地座標値とのズレが、2.5m 以内(標準偏差)であること。
品質検査方法 : データと元資料とを、現地測量または数値図化した地物と対比し、サンプリング検査する。
適合水準 : 標準偏差 2.5m 以内であること。(サンプリングした試料において)

公共測量作業規程によると、写真図(デジタルオルソ)作成では「水平位置の精度は図上 1.0mm 以内(標準偏差)」とされている。1/2,500 レベルでは 2.5m 以内であり、本仕様でもこの値を採用している。

ただし、縮尺レベルや目的により修正することが可能である。

さらに高い位置精度が必要である場合は、標準偏差を高く設定すること、また、逆に、概略の背景図として利用する等、位置の精度を問わない場合には、標準偏差を低く設定するもしくは設定せず、デジタルモザイク(簡易デジタルオルソ)として整備することも可能である。

- 品質要素 : 時間正確度 - 時間妥当性
- 品質要求 : 航空写真の撮影時点（または航空写真と同等以上の精度を有するデジタル画像の取得時点）とデータ整備時点との時間差が過去 5 年以内であること。
- 品質検査方法 : 航空写真の撮影時点（または航空写真と同等以上の精度を有するデジタル画像の取得時点）とデータ整備時点をメタデータで確認する。
- 適合水準 : データ整備時点から過去 5 年以内に撮影された航空写真（または取得された、航空写真と同等以上の精度を有するデジタル画像）であること。

品質検査方法として品質概観要素の系譜を用い、メタデータの「系譜説明」において記述される内容との比較を行う。デジタルオルソ作成の元となるデータが、データ整備時点から過去 5 年以内であるか確認する。

3.2.3. 空間データのファイル形式

地域毎に導入システムが異なり、全ての地域での特定ファイル形式による統一整備は、読込不能等の障害が多く存在することから困難である。

よって、地域内での空間データ共有を行うためのデータ仕様方針は、以下のとおりとする。

新規にシステムを構築する場合

交換ファイル形式を統一してデータ共有を図る。

システムが既に存在し、これから共有するデータを整備する場合

それぞれの団体が保有するシステムにおいて、対応されているファイル形式を交換ファイル形式として選択する。

共有すべき既存のデータを、それぞれのシステムで取り込むことが不可能な場合

一部または全部が独自エンジンのシステムにより作成され、他のシステムで取り込むことができるファイル形式に対応しないデータの場合、システム開発工数とデータ変換労力、また、データ更新頻度等を加味し、以下のような対応を行う。

- ・データ変換ツールの開発等、アプリケーション側で対応する。
- ・データ整備（更新含む）時にデータ変換を行い、システムへの取り込みを行う。

3.2.4. 空間データの座標系

新たに整備する空間データは、現行の測量法に基づき、原則、世界測地系（日本測地系 2000）とし、平面直角座標系にて整備するものとするが、必要に応じて経緯度での整備も可能とする。以下に、経緯度および平面直角座標系の概要を示す。

(1) (地理学的) 経緯度

地球を回転楕円体で近似し、その位置を経度、緯度で表わす。近似に用いる楕円体は、準拋楕円体と呼ばれ、旧測量法ではベッセル楕円体が用いられ、現行では GRS80 楕円体が用いられている。

地上のある点 A における経度は、グリニッジ子午線と点 A を通る子午線とのなす角で表され、緯度は点 A における楕円体の法線と赤道とがなす角で表される。

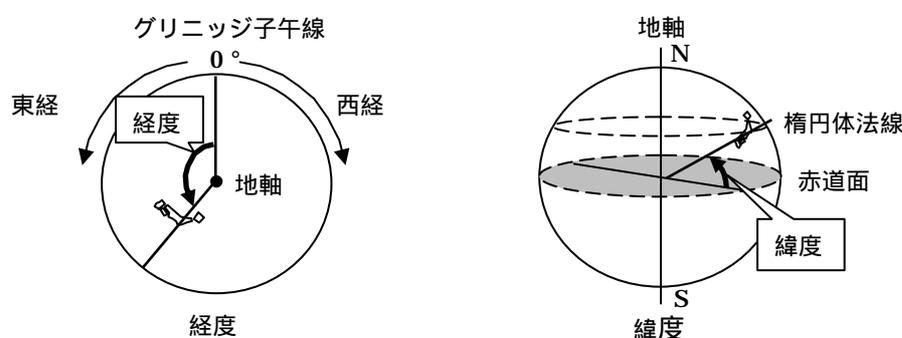


図 3-9 経度と緯度

(2) 平面直角座標系

ガウス・クリューゲルの等角投影法により、日本全国を 19 (平面直角座標第 1 系 ~ 第 19 系) の地域に区切り平面上への投影を行い、それぞれの区域に座標原点をおく日本独自の座標系である。原点を通る子午線を x 軸 (真北方向を正) これに直行する方向を y 軸 (真東方向を正) にとり、座標値は (x,y) で表現する。原点の座標は (0.000m,0.000m) である。

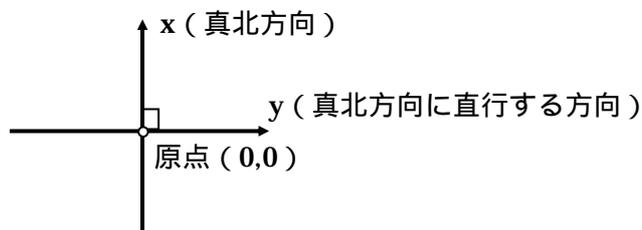


図 3-10 平面直角座標系

3.3. 既存データの活用

データ作成の際には、利用可能である既存データが存在するか確認を行い、加工を含めできる限り既存データの再利用を行うものとする。

4.システム構成の考え方

4.1. GIS ツールについて

GISを利用する上で空間データの他に必要となるものとして、コンピュータやプリンタ、スキャナ等のハードウェアと、GIS アプリケーションと言ったソフトウェアがある。ここでは、これらを合わせて「GIS ツール」と呼ぶ。

GIS ツールは、空間データを業務に活用するための道具（ツール）といえる。

空間データだけでは、コンピュータ上で表示・編集を行う等、GIS としての利用はできない。

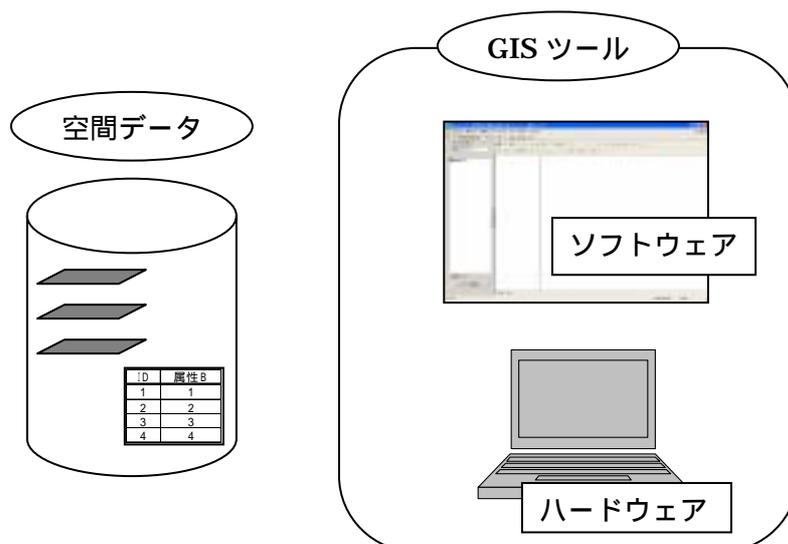


図 4-1 GIS の構成

(1) 空間データ

空間データとは、地理的な位置情報を持つデータを示す。

GIS を利用する上での核となるものであり、一番費用が必要となる部分である。

(2) ハードウェア

ハードウェアは、コンピュータと空間データの入出力に必要な機器等を示す。

従来、GIS を利用するためには、EWS（エンジニアリングワークステーション）と呼ばれる高性能コンピュータが必要であったが、近年のコンピュータの目覚ましい発展により、現在では、一般に普及しているパソコンにおいても、十分に GIS を利用できる。

ただし、実際には様々なスペック（仕様）が存在するため、必要とする OS やアプリケーションに対応しているか、情報量の多い空間データを編集して活用するために必要なハードディスクおよびメモリ容量を搭載しているか等、検討する必要がある。

入力機器としては、紙図面を画像データ化するためのスキャナ、平板上でトレースした紙図面の座標を検出してコンピュータに入力するディジタイザ等が挙げられる。

ただし、空間データ整備を外注するのであれば、これらの機器は特に必要はない。

出力機器には、プリンタや大判印刷のためのプロッタが挙げられる。

プリンタは現在では必需品であり、大抵はパソコンと共に存在するものである。

プロッタは A0、A1 と言った大判の図面が出力でき、CAD 利用を筆頭とする大判図面を扱う団体・部署においては導入されているものであり、プリンタ同様、GIS 利用のための特別な機器というわけではない。

留意点として、カラー出力への対応が挙げられる。

プロッタはプリンタと比較して高価であり、工事図面の利用のみであれば、カラー出力が可能なものを導入している例は少ない。

(3) ソフトウェア

ソフトウェアは、オペレーションシステム (OS) と GIS を利用するためのアプリケーションソフトウェア (GIS アプリケーション) から構成される。

設定した条件に基づいた空間データの表示、複数の空間データの表示、それらを表示した状態での保存・印刷、空間データの図形の位置または属性情報による検索、空間データの作成・編集、影響圏発生や経路検索の条件に基づいた処理等を行うことが可能なアプリケーションである。表示や処理機能の種類、扱える空間データの形式等により、様々なものが存在するので、目的に応じて選定を行う。

4.2. システム構成の種類

GIS ツールの構成は、1台のコンピュータで GIS を扱うスタンドアローン型と、ネットワーク上で複数のコンピュータにより GIS を扱うネットワーク型の2つに分類される。

(1) スタンドアローン型

スタンドアローン型は、1台のコンピュータに空間データとソフトウェアが存在し、単独で GIS を利用するものである。限られたデータを、少人数で限定して利用する場合に適し、システム構築費用は最も安価な方式である。

農業農村整備事業関係機関で利用されている GIS は、多くがこのスタンドアローン型である。

(2) ネットワーク型

ネットワーク型は、LAN (Local Area Network) や WAN (Wide Area Network) で接続されたコンピュータ同士で、空間データを共有して GIS を利用するものである。農業関係機関内、または機関間でネットワークを構成し、システム構築することができる。

このネットワーク型では、空間データをサーバに置いて共有し、クライアント側にそれぞれ GIS アプリケーションをインストールして利用する方法と、サーバに空間データと GIS アプリケーションを置き、クライアント側ではインターネット閲覧ソフトである Web ブラウザを用いて GIS を利用する方法 (WebGIS) がある。

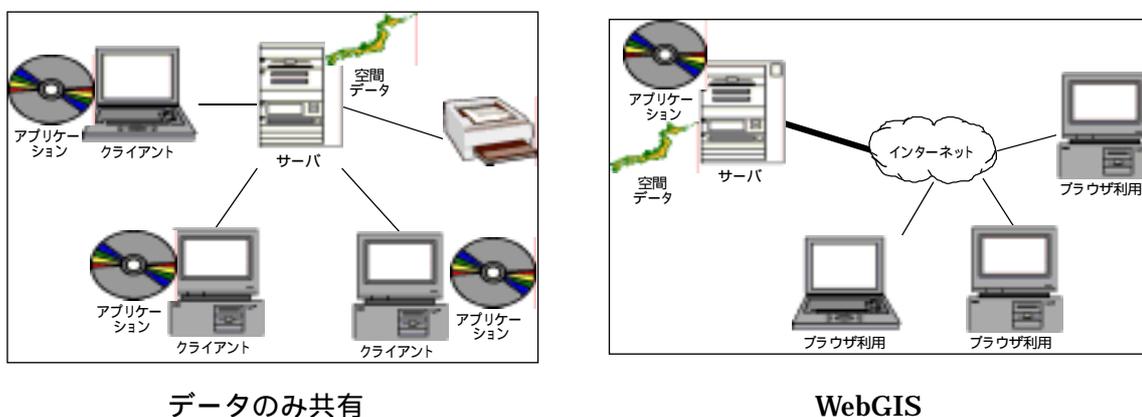


図 4-2 ネットワーク型の構成

前者はそれぞれのクライアントで空間データの使用方法が異なる場合、また、複数のクライアントより高頻度でデータが更新される場合に適している。

後者はユーザ側での利用が一定であり、ユーザ側からの更新を行わないもしくは認めない場合に有効である。インターネットを介すことにより、不特定多数の人にデータを公開することも可能であり、地方公共団体の情報発信のツールとしても利用されている。

4.3. GIS アプリケーション

GIS アプリケーションは、その用途によって大きく2つに分類できる。

特定業務に特化して開発される特定業務特化型のアプリケーションと、様々な用途で幅広く GIS を利用するために開発される汎用型のアプリケーションである。

(1) 特定業務特化型アプリケーション

利用する機能や空間データを特定の業務に限定し、具体的に業務で利用している用語を用いたメニューやボタンにより、操作性を向上させ開発したアプリケーションである。

特徴は、以下のとおりである。

- ・操作が容易である
- ・GIS の知識がなくても利用可能であり、業務に必要な処理を行える
- ・開発時に設定した特定業務以外での利用は困難である

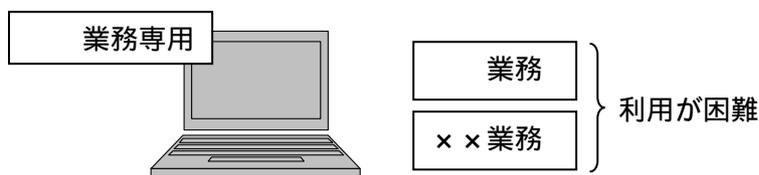


図 4-3 特定業務型アプリケーションのイメージ

(2) 汎用型アプリケーション

利用する機能や空間データを特定せず、様々な用途に対応することができるアプリケーションである。

特徴は、以下のとおりである。

- ・各業務に必要なデータを自由に追加できる
- ・機能面において様々な種類が存在し、ユーザ側でその利用目的に応じてアプリケーションを選択することが可能である
- ・各機能を使いこなすためには、ある程度の GIS の知識が必要である
- ・個別業務に特化した処理・機能については想定していない

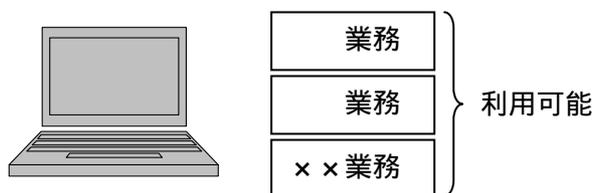


図 4-4 汎用型アプリケーションのイメージ

このように、GIS アプリケーションの中から、業務で利用する GIS アプリケーションを選択する際の基本的な留意点は、以下のとおりである。

GIS 利用の目的

GIS があれば何でもできるというものではない。よって、まず初めに、その利用目的を明確にする。

使用するデータ

利用目的に合わせて、データの仕様（内容、ファイル形式等）を明確にする。

システム構成

利用目的に合わせて、最適なシステム構成を明確にする。

システム機能

利用目的に合わせて、必要とされる機能を明確にする。

参考

GIS を利用するにあたり、知見修得に役立つ WEB サイトのアドレスを以下に記す。

- ・地理情報システム（国土地理院）

<http://www.gsi.go.jp/GIS/index.html>

地理情報システムに関して、最近の動向や、空間データ基盤整備、クリアリングハウスの設置、GIS の促進・普及といった国土地理院の取り組みについて掲載されている。

- ・地理情報システム（GIS）関係省庁連絡会議（内閣官房）

<http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/gis/index.html>

各行政機関による地理情報システム（GIS）の効率的な整備及びその相互利用を関係省庁の密接な連携の下に促進するため内閣に設置された「地理情報システム（GIS）関係省庁連絡会議」に関する情報が提供されている。

各省庁の GIS 関連ページへのリンク集も掲載されている。

- ・統合型 GIS ポータルサイト（（財）地方自治情報センター）

<http://www.lasdec.nippon-net.ne.jp/rdd/gis-p/index.html>

総務省が進める統合型 GIS に関する情報のポータルサイトで、国、地方公共団体における統合型 GIS の最近の動向等の情報が提供されている。

- ・統計 GIS プラザ（総務省統計局）

<http://gisplaza.stat.go.jp/GISPlaza/>

総務省統計局における統計情報の閲覧、町丁・字等境界データおよび統計データのダウンロード等を行うことができる。

- ・地理情報システム（国土交通省国土計画局）

<http://www.mlit.go.jp/kokudokeikaku/gis/index.html>

国土計画策定の基礎データである国土数値情報の閲覧およびダウンロード、街区レベル位置参照情報のダウンロード等を行うことができる。

- ・水情報国土データ管理センター（国土交通省河川局）

<http://www.mlit.go.jp/river/IDC/>

「水に関するあらゆる情報を収集整備し、国民がそれを共有し、活用することによって実現された、安全で多様な文化を持つ国土」と定義する「水情報国土」において、河川のリアルタイムなテレメータ情報の閲覧、河川水辺の国勢調査結果の閲覧およびダウンロード等を行うことができる。

農地等データ仕様等検討会 空間データ調達仕様書（例）

1. 総則

1.1 業務の目的

市と 町において、××で共通して利用するデータを一括して整備することにより、農地情報の相互利用を図ることを目的とする。

1.2 引用する法令や基準

本仕様書で引用する法令や基準を以下に示す。

- 測量法（最終改正平成十三年六月二十日）（準拠する測地系の定義）
- 国土交通省告示第九号（平面直角座標系の定義）
- 地理情報標準第2版（品質の定義）
- JMP2.0（日本版メタデータプロファイル第2.0版）（メタデータの定義）

1.3 貸与資料と使用制限

発注者は本業務を実施するにあたって必要な資料を受託者へ貸与する。受託者は貸与された資料の取り扱い及び保管を慎重に行い、業務上必要であっても発注者の承諾なくして複製してはならない。業務終了後はすみやかに返却する。

<貸与資料を列記する>

1.4 守秘義務

受託者は業務上知り得た情報を、発注者の承認を得ずに他へ漏らしてはならない。

1.5 成果品の帰属

本業務で得られた成果物及び中間成果物の権利は発注者に帰属する。

1.6 成果物の瑕疵責任

成果品の納入後3ヶ年を保証期間とし、保証期間内に品質基準を満たしていないことが判明した場合には、受託者の責任において関連する項目を再検査し、不良箇所を修正する。ただし、受注者の故意又は重大な過失による場合は、保証期間は10ヶ年とする。

1.7 疑義

疑義が生じた場合は、発注者と受託者の間で協議し、その決定に従うものとする。

2 データの概要

2.1 データの空間的範囲

データを整備する地理的な範囲は 市、 町の区域とする。

2.2 データの時間的範囲

元資料が指定されるデータの時間的範囲はその資料の示す範囲とし、元資料が指定されないデータの時間的範囲は平成 年 月 日から平成 年 月 日とし、発注者と協議の上、決定する。

2.3 空間参照系

データの位置座標は次の定義に従う。

- ・測地座標系：世界測地系（日本測地系 2000）
- ・水平位置の座標系：平面直角座標第 系（実施主体が該当する系を記述）
- ・垂直位置の座標系：日本水準原点を基準とする高さ
- ・単位：m（メートル）

3 業務の内容

3.1 データの取得

取得するデータは、表 - 1 に示す地物とする。

各地物の定義および品質要求は、別紙 1（品質要件書）に示す。

表-1 データー一覧表

No	地物名称	種別	形状	概要	数量 <数量を記述>
1	デジタルオルソ	カラーラスク	画像	航空写真等を基に正射投影変換処理された、地表の現状を表した画像データ	
2	農地筆区画	ハクタ	面	農地および関連する一筆ごとの区画	

<その他、実施主体が指定する内容>

3.2 元資料の指示

データ整備にあたって以下の元資料を使用する。データの品質は元資料との差異により測定する。

<元資料を列記する>

3.3 品質検査

完全性、論理一貫性、位置正確度、時間正確度、主題正確度についてデータの品質確認を行い、品質確認方法および確認結果をメタデータにまとめるものとする。検査結果が要求する品質に達していない場合には、受託者は品質の定義に基づいて必要な修正を行い、要求品質に達するまでチェック、修正を行うこととする。品質検査の方法については以下の4つの方法を適宜用いることとする。

(1) 目視点検による全数検査

データと元資料とを、目視(人力)によって比較する方法である。機械的に検査を行うことが不可能な項目で、データ精度に高い信頼性を求める地物については、この方法を適用する。

(2) 目視点検によるサンプリング検査

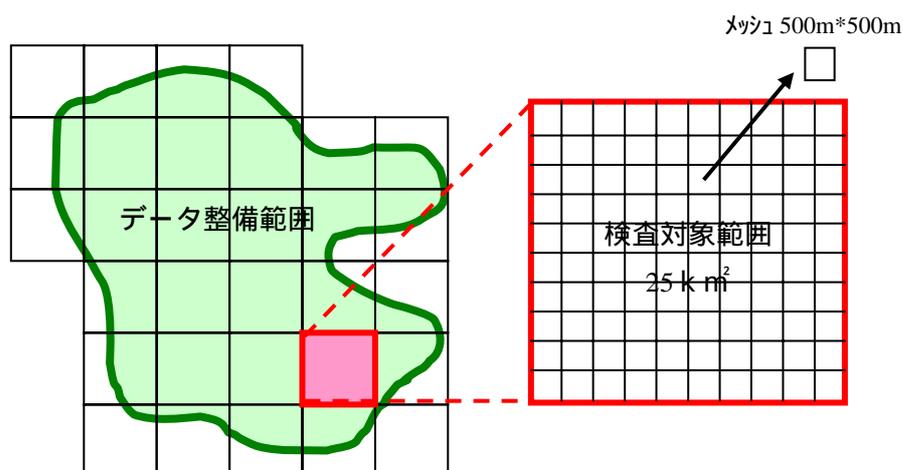
データと元資料とを、目視(人力)によって比較する方法である。機械的に検査を行うことが不可能な項目について、データ整備対象面積の2%を抽出して、目視による検査を行う。但し、最低0.25k m²を対象とする。

< 検査箇所の抽出例 >

手順1 データ整備対象範囲に25 k m² (5,000m×5,000m)のメッシュを設定する。

対象範囲が100 k m²であれば、4メッシュを設定する。下図の例では、31メッシュを設定。

手順2 各メッシュをさらに10等分(10メッシュ×10メッシュ)し、各メッシュにつき、ランダムに1メッシュないし2メッシュ(1/10メッシュ)を選択し、その中に存在する全データを対象に検査を行う。



(3) 現地測量または既存資料との比較をとまなうサンプリング検査

デジタルオルソ等の航空写真や地形データについての位置正確度の検査は、現地測量結果との比較、または三角点・基準点・信頼性の高い既存空間データ等の街区や建物といった特徴のある地物（システム運用中の場合は、運用中の既存の空間データ）との比較により行う。

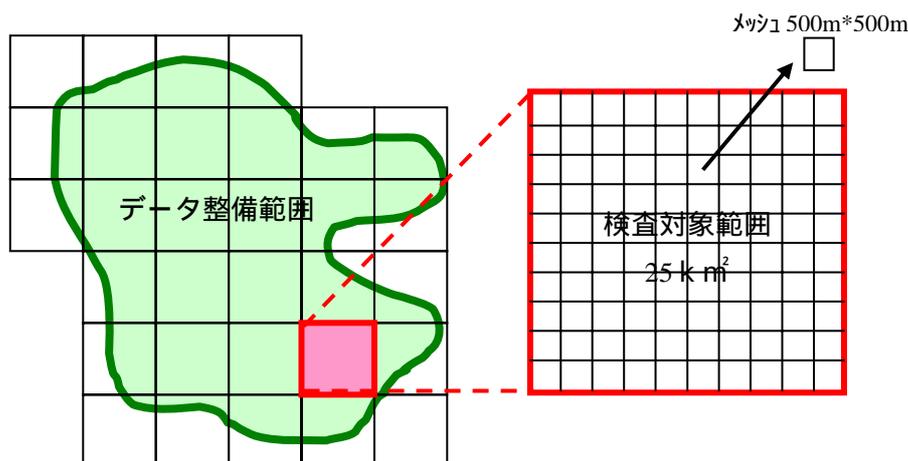
(2) 同様、データ整備対象面積の 2%を抽出して、目視による検査を行う。但し、最低 0.25k m²を対象とする。

< 検査箇所の抽出例 >

手順1 データ整備対象範囲に 25 k m² (5,000m×5,000m) のメッシュを設定する。

対象範囲が 100 k m²であれば、4 メッシュを設定する。下図の例では、31 メッシュを設定。

手順2 各メッシュをさらに 10 等分 (10 メッシュ₁×10 メッシュ₁) し、各メッシュにつき、任意の 1 メッシュないし 2 メッシュ (1/10 メッシュ₁) を選択し、この範囲を対象に検査を行う。



(4) プログラム点検による全数検査

論理一貫性についてはデータ整備対象全てについてプログラムによる検査を行う。

3.4 データの記録仕様

データの記録様式は、発注者が指定する形式とする。

3.5 メタデータの作成

メタデータ作成項目は、JMP2.0 により定義される項目とし、記述可能な項目は全て作成する。

なお、自由記述項目等における記述内容は、以下に従うものとする。

- ・系譜説明：元資料の名称・概要・作成時点（または撮影時点・取得時点）を明記する。作成時点（または撮影時点・取得時点）は、最低年月まで記述する。

<その他、実施主体が指定する内容>

3.6 メタデータ記録仕様

メタデータの記録仕様は JMP2.0 にもとづく XML 形式とする。

4 成果品

成果品は次のとおりとする。

- | | |
|-------------------------|-----|
| (1) 作成データのオリジナル及びバックアップ | 各1式 |
| (2) メタデータ | 1式 |

<その他、実施主体が指定するもの>

5 その他

納期

平成 年 月 日

納入場所

<実施主体が指定>

品質要件書(例)

平成 16 年度

農村振興地理情報システム整備事業

空間データ調達仕様書

(平成 17 年 3 月 29 日版)

1. 総則

1.1 業務の目的

農業・農村振興に資する農業生産基盤及び農村生活環境基盤の適切かつ総合的な整備を推進するために、デジタルオルソ画像をベースとした農地の区画形状等の空間データを作成する。

1.2 引用する法令や基準

本仕様書で引用する法令や基準を以下に示す。

<新測地系の場合>

- 地理情報標準第 2.0 版 (メタデータの定義)
- 測量法 (最終改正平成十三年六月二十日)(準拠する測地系の定義)
- 国土交通省告示第九号 (平面直角座標系の定義)

<旧測地系の場合>

- 地理情報標準第 2.0 版 (メタデータの定義)
- 測量法 (最終改正平成十二年十一月二十七日)(準拠する測地系の定義)
- 建設省告示第三千五十九号 (平面直角座標系の定義)

1.3 貸与資料と使用制限

発注者は本業務を実施するにあたって必要な資料を受託者へ貸与する。受託者は貸与された資料の取り扱い及び保管を慎重に行い、業務上必要であっても発注者の承諾なくして複製してはならない。業務終了後はすみやかに返却する。

<貸与資料を列記する>

1.4 守秘義務

受託者は業務上知り得た情報を、発注者の承認を得ずに他へ漏らしてはならない。

1.5 成果品の帰属

本業務で得られた成果物及び中間成果物の権利は発注者に帰属する。

1.6 成果物の瑕疵責任

成果品の納入後 3 ヶ年を保証期間とし、保証期間内に品質基準を満たしていないことが判明した場合には、受託者の責任において関連する項目を再検査し、不良個所を

修正する。ただし、受注者の故意又は重大な過失による場合は、保証期間は10ヶ年とする。

1.7 疑義

疑義が生じた場合は、発注者と受託者の間で協議し、その決定に従うものとする。

2 データの概要

2.1 データの空間的範囲

農業振興地域及びこれと一体的に整備することを相当とする農業振興地域以外の区域

2.2 データの時間的範囲

元資料が指定されないデータの時間的範囲は平成 年 月 日から平成 年 月 日とし、発注者と協議の上、決定する。

2.3 空間参照系

データの位置座標は次の定義に従う。

- ・測地座標系：＜日本測地系 2000 または 日本測地系 を記述＞
- ・水平位置の座標系：平面直角座標第 系（実施主体が該当する系を記述）
- ・垂直位置の座標系：日本水準原点を基準とする高さ
- ・単位：m（メートル）

3 業務の内容

3.1 データ整備

取得するデータは、表 - 1 のとおりとする。

各レイヤの要求品質は、別紙 1（品質要件表）に示す。

表 1 には、必須整備データ（取得レベル A）と任意整備データ（同 B）があるが、発注にあたっては、整備するデータの項目のみ記載する。別紙 1 についても同様。

表-1 取得レイヤー一覧表

No	レイヤ名称	種別	形状	取得レベル	取得条件	ファイル作成単位	数量 <数量を記述>
1 索引図・区域データ(1/2,500～1/100,000 レベル)							
1-1	1/25,000 図郭	ベクター	面	A	プログラムで作成	県全域	
1-2	1/2,500 国土基本図 図郭	ベクター	面	A	プログラムで作成	県全域	
1-3	市町村界	ベクター	面	A	数値地図 25000 (行政界・海岸線) を使用する	県全域	
1-4	農振地域	ベクター	面	A	既存の農振地域図を使用する	市町村	
1-5	農振農用地区域	ベクター	面	A	既存の農振地域図を使用する	市町村	
1-6	土地改良区区域	ベクター	面	B	受益一般図等の既存資料を使用する	市町村	
1-7	NN事業実施区域	ベクター	面 線 点	B	概要図等の既存資料を使用する	県全域	
1-8				B			
1-9				B			
2 農地基図データ(1/2,500 レベル)							
2-1	デジタルオルソ	カラーラスター	ラスタ	A	航空写真もしくは同等以上の精度を有するデジタル画像を使用する	1/1250 図郭	航空写真 デジタルオルソ デジタル画像
2-2	デジタルオルソ位置 情報	テキスト	-	A	本仕様書で指定する ASCII 形式で作成する	1/1250 図郭	
2-3	数値地形標高	ベクター	点	A	航空写真データもしくは同等以上の精度を有するデジタル画像(数値)データ	1/1250 図郭	
2-4	河心線	ベクター	線	B	デジタルオルソ画像を基に作成	市町村	
2-5	海岸線	ベクター	面	B	デジタルオルソ画像を基に作成	市町村	
2-6	湖沼区域	ベクター	面	B	デジタルオルソ画像を基に作成	市町村	
2-7	等高線	ベクター	線	B	数値地形標高を基に作成	市町村	
3 農業生産基盤データ(1/2,500 レベル)							
3-1	圃区	ベクター	面	A	デジタルオルソ画像及び既存資料、現地調査結果を基に作成	市町村	
3-2	耕作放棄地	ベクター	面	B	デジタルオルソ画像及び既存資料、現地調査結果を基に作成	市町村	
3-3	傾斜測線	ベクター	線	B	デジタルオルソ画像及び既存資料、現地調査結果を基に作成	市町村	
3-4	農地団地	ベクター	面	B	デジタルオルソ画像及び既存資料、現地調査結果を基に作成	市町村	
3-5	道路	ベクター	線	B	デジタルオルソ画像及び既存資料、現地調査結果を基に作成	市町村	
3-6	用水路	ベクター	線	B	デジタルオルソ画像及び既存資料、現地調査結果を基に作成	市町村	
3-7	排水路	ベクター	線	B	デジタルオルソ画像及び既存資料、現地調査結果を基に作成	市町村	
3-8	水利施設	ベクター	点	B	デジタルオルソ画像及び既存資料、現地調査結果を基に作成	市町村	
3-9	農道	ベクター	線	B	デジタルオルソ画像、農道・流通拠点データを基に作成	県全域	
3-10	基幹水利施設(用排水路)	ベクター	線	B	デジタルオルソ画像、基幹水利施設データを基に作成	県全域	
3-11	基幹水利施設(施設)	ベクター	点	B	デジタルオルソ画像、基幹水利施設データを基に作成	県全域	
3-12	ため池	ベクター	点	B	デジタルオルソ画像、ため池防災データベースを基に作成	県全域	

No	レイヤ名称	種別	形状	取得レベル	取得条件	データファイル作成単位	数量
4 農村生活環境基盤(1/2,500 レベル)							
4-1	農業集落道	ハクター	線	B	デジタルオルソ画像、既存資料、現地調査資料を基に作成。	市町村	
4-2	飲用水給水範囲	ハクター	面	A	デジタルオルソ画像、既存資料、現地調査資料を基に作成。	市町村	
4-3	飲用水供給施設	ハクター	点	A	デジタルオルソ画像、既存資料、現地調査資料を基に作成。	市町村	
4-4	飲用水供給管路	ハクター	線	B	既存資料を基に作成	市町村	
4-5	排水処理区	ハクター	面	A	デジタルオルソ画像、既存資料、現地調査資料を基に作成。	市町村	
4-6	排水処理施設	ハクター	点	A	デジタルオルソ画像、既存資料、現地調査資料を基に作成。	市町村	
4-7	排水管路	ハクター	線	B	既存資料を基に作成	市町村	
4-8	公園	ハクター	面	A	デジタルオルソ画像、既存資料、現地調査資料を基に作成。	市町村	
4-9	コミュニティ施設	ハクター	点	A	デジタルオルソ画像、既存資料、現地調査資料を基に作成。	市町村	
4-10	福祉施設	ハクター	点	A	デジタルオルソ画像、既存資料、現地調査資料を基に作成。	市町村	
4-11	教養施設(図書館、美術館、博物館等の位置)	ハクター	点	B	デジタルオルソ画像、既存資料、現地調査資料を基に作成。	市町村	
4-12	集落安全施設	ハクター	点	B	デジタルオルソ画像、既存資料、現地調査資料を基に作成。	市町村	
4-13	ゴミ処理施設	ハクター	点	B	デジタルオルソ画像、既存資料、現地調査資料を基に作成。	市町村	
4-14			面				
4-15	情報通信施設	ハクター	点	B	デジタルオルソ画像、既存資料、現地調査資料を基に作成。	市町村	
4-16			線				

3.2 元資料の指示

データ整備にあたって以下の元資料を使用する。データの品質は元資料との差異により測定する。

<元資料を列記する>

3.3 品質検査

完全性、論理的一貫性、位置精度、論理的精度についてデータの品質確認を行い、品質確認方法および確認結果を品質管理報告にまとめるものとする。検査結果が要求する品質に達していない場合には、受託者は品質の定義に基づいて必要な修正を行い、要求品質に達するまでチェック、修正を行うこととする。品質検査の方法については以下の4つの方法を用いることとする。

目視点検による全数チェック

- ・ データと元資料とを、目視(人力)によって比較する方法。機械的に検査を行うことが不可能な項目については、この方法を適用する。
- ・ レイヤ内の要素数が1以上120未満の場合は全数検査し、1つでも間違いがあれば不合格とし修正する。

目視点検によるサンプリングチェック

- ・ レイヤ内の要素数が120以上の場合は、目視によるサンプリングにより検査を行うこととする。
- ・ 検査を適用するのは、「完全性」、「位置正確度」(デジタルオルソ(2-1)、数値地形標高(2-2)を除く)、「主題正確度」の検査とする。
- ・ サンプル数の決定については、JIS規格『計数規準型一回抜取検査(不良個数の場合)(抜取検査その2)』(JIS Z 9002-1956)を適用し、サンプル数を120、合格判定個数を3とする。
- ・ レイヤ内の要素数が120以上の場合は、サンプリングを120とり、その中で不合格が3以下の場合は合格とする。このとき、不合格となったものは修正する。不合格が4以上の場合は、レイヤ全体を不合格とする。このときは、レイヤ全体を再点検・修正し、再度検査を行う。

表 - 2 目視点検の手法決定条件

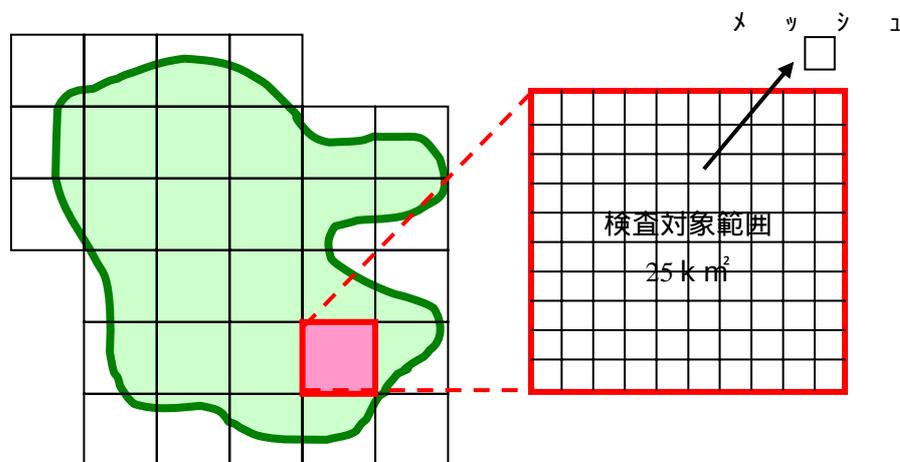
レイヤ内の要素数	サンプル数	合格判定個数
1以上120未満	全数検査	0
120以上	120	3

現地測量をともなうサンプリング検査

- デジタルオルソ(2-1)、数値地形標高(2-2)の位置正確度は、現地測量結果と比較して行う。現地測量の費用的・効率性を考慮し、サンプリング方法は次のとおりとする。

<サンプリング方法>

- 手順1 対象範囲に 25 k m^2 ($5,000\text{m} \times 5,000\text{m}$) のメッシュを設定する。
対象範囲が 100 k m^2 であれば、4 メッシュを設定する。下図の例では、31 メッシュを設定。
- 手順2 各メッシュをさらに 10 等分 ($10 \text{ メッシュ} \times 10 \text{ メッシュ}$) し、各メッシュにつき、任意の 1 メッシュ ($1/10 \text{ メッシュ}$) を選択し、それを対象に検査を行う。



なお、特定範囲に要素が集中し、メッシュによる抽出が不適切であるレイヤ(例えば、鉄道や海岸線・市町村界等、要素の存在するメッシュが偏る場合)は、要素が含まれるメッシュのみ検査することも可能とする。

また、位置正確度以外の検査は、目視による全数検査と同様である。

プログラム点検による全数チェック

- 論理的一貫性についてはデータ整備対象全てについてプログラムによる検査を行う。

3.4 データの記録仕様

ファイル仕様

ベクター型データは、シェープファイル形式とする。

デジタルオルソ画像データは、T I F F（非圧縮）形式とする。

デジタルオルソ位置情報は、以下に示すA S C I I形式とする。

イメージ座標から地上座標への変換は、6パラメータのアフィン変換を用いると次のフォームとなる。

$$x' = Ax + By + C$$

$$y' = Dx + Ey + F$$

ここで

x' = 地図上の画素の計算されたx座標

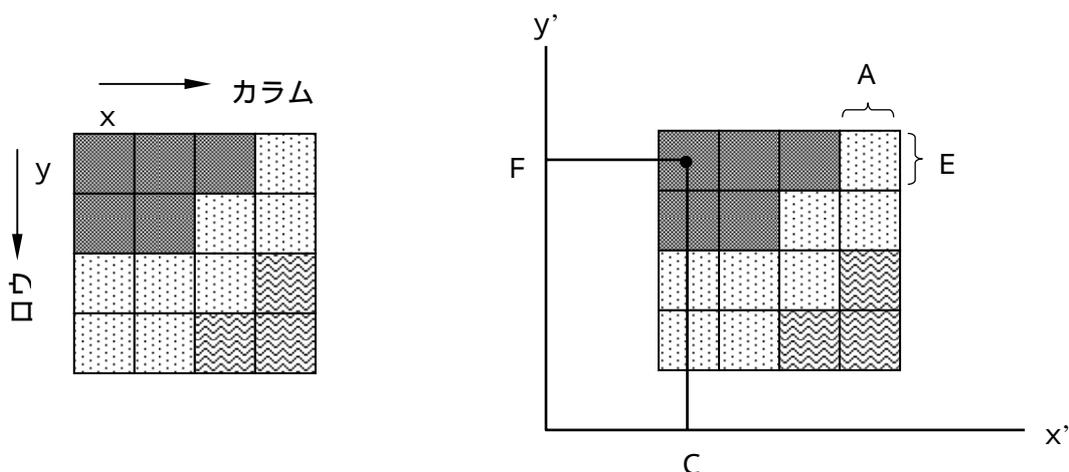
y' = 地図上の画素の計算されたy座標

x = イメージ内の画素のカラム番号

y = イメージ内の画素のロウ番号

A = x方向の縮尺；x方向の画素のマップ・ユニットでの大きさ

B, D = 回転項



E = y方向の負の縮尺；y方向の画素のマップ・ユニットでの大きさ
(イメージの原点と地理座標系の原点が異なるため、y方向の縮尺は常に負の値となる。イメージの原点が左上隅であるのに対し、地図座標系の原点は左下隅である。イメージのロウの値は原点から下方向に増加するが、地図のy座標は原点から上方向に増加する。)

C, F = 移動項；左上隅の画素の中心の地図座標

よって、変換パラメータは、A、D、B、E、C、Fの順で管理ファイルに格納される。次のリストは、デジタルオルソ位置情報ファイルの内容の例 (red.tif) を示す。6個のパラメータが、ASCIIフォーマットで格納される。

[例 : red.tfw]

0 . 2 5
0 . 0
0 . 0
- 0 . 2 5
1 0 0 0 . 0
1 2 0 0 . 0

y 方向の縮尺 (E パラメータ) は、常に負の数値となる。それぞれの値は、以下のような変換パラメータを示す。

A = 0 . 2 5

D = 0 . 0

B = 0 . 0

E = - 0 . 2 5

C = 1 0 0 0 . 0

F = 1 2 0 0 . 0

記録媒体

- ・ 記録媒体は、< 実施主体が指定する > 形式とする。

格納形式

- ・ 格納形式は、図 1 に示すフォルダ構成でデータを納めるものとする。

フォルダ名称は、次のとおりとする。

- ・ 県：<県コード 2桁 (前0埋め)><県名 (アルファベット)> (例) 01hokkaido, 26kyoto
- ・ 市町村：<市町村コード 3桁><市町村名 (アルファベット)> (例) 233date, 205miyazu
- ・ メタデータ： metadata
- ・ オルソ画像： ortho
- ・ 県全域： zeniki

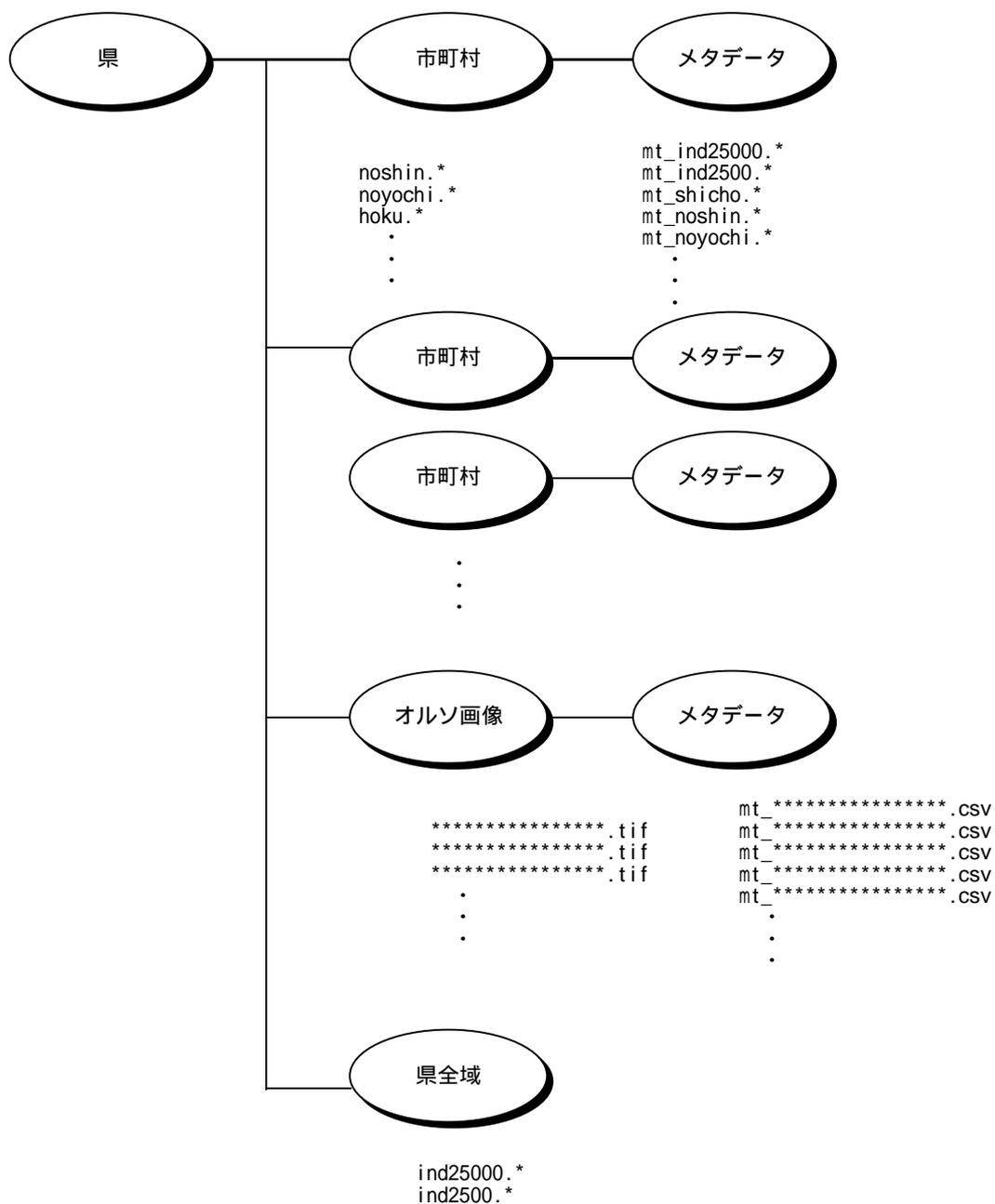


図-1 格納形式

3.5 メタデータの作成

メタデータ作成項目は、「地理情報標準第 2.0 版」により定義されるコアメタデータとし、記述可能な項目は全て作成する。

3.6 メタデータ記録仕様

メタデータの記録仕様は「地理情報標準第 2.0 版」にもとづく XML 形式とする。

4 成果品

成果品は次のとおりとする。

(1) 作成データのオリジナル及びバックアップ	各 1 式
(2) メタデータ	1 式
(3) 品質管理報告書	1 式
(4) 作業報告書	1 式
(5) 航空写真撮影フィルム	1 式
(6) 航空写真撮影標定図	1 式

< その他、実施主体が指定するもの >

5 その他

納期

平成 年 月 日

納入場所

< 実施主体が指定 >

品質要件書

大分類		索引図・区域データ		定義	元資料	内容		
レイヤ名称	1/25,000図郭	種別	ベクター				日本工業規格「地域メッシュコード・JIS-X-0410」で定義される標準地域メッシュ体系の第2次地域区画をいう。	日本工業規格「地域メッシュコード・JIS-X-0410」およびデータ整備範囲
形状	面	取得レベル	A					
縮尺	-	ファイル名称	ind25000					
項目	項目名	データ型	データ長(バイト)	表記	内容			
属性定義	2次メッシュ番号	MESHNUM	文字	6	前ゼロ	AABBCD(6桁) AA:30~68, BB:22~53, C:0~7, D:0~7		
	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-		
品質要素		要求品質		品質検査方法		適合水準		
完全性	過剰	過剰が無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、全数検査する。		誤率: 0% 誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%		
	漏れ	漏れが無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、全数検査する。		誤率: 0% 誤率 = 漏れ数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%		
論理一貫性	概念一貫性	-		-		-		
	定義域一貫性	2次メッシュ番号	規定の番号の範囲内であること		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率: 0% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%	
		-	-	-	-	-		
		-	-	-	-	-		
		-	-	-	-	-		
		-	-	-	-	-		
		-	-	-	-	-		
		-	-	-	-	-		
		-	-	-	-	-		
	フォーマット一貫性	シェ - プファイル形式であること。		データをシェ - プファイルを扱えるコンピュータプログラムに読み込み可能かどうか、全数検査する。		誤率: 0% 誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100%		
位相一貫性	面図形同士が重複しないこと。		データを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率: 0% 誤率 = 重複箇所 ÷ 総数 × 100%			
位置正確度	絶対または外部正確度	4隅座標値と、2次メッシュ番号より計算される値とのズレが、±1.75m以内であること。		データを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率: 0% 誤率 = ズレ超過箇所数 ÷ 総数 × 100%		
	相対または内部正確度	-		-		-		
	グリッドデータ位置正確度	-		-		-		
時間正確度	時間測定正確度	-		-		-		
	時間一貫性	-		-		-		
	時間妥当性	-		-		-		
主題正確度	分類の正確性	2次メッシュ番号	-		-		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。 誤率: 2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%	
		-	-	-	-	-		
		-	-	-	-	-		-
		-	-	-	-	-		-
		-	-	-	-	-		-
		-	-	-	-	-		-
		-	-	-	-	-		-
		-	-	-	-	-		-
		-	-	-	-	-		-
		-	-	-	-	-		-
	非定量的属性の正確性	2次メッシュ番号	内容が正しいこと		-			
		-	-	-	-	-		
		-	-	-	-	-		
		-	-	-	-	-		
		-	-	-	-	-		
		-	-	-	-	-		
		-	-	-	-	-		
		-	-	-	-	-		
		-	-	-	-	-		
		-	-	-	-	-		
定量的属性正確度	2次メッシュ番号	-		-				
	-	-	-	-	-			
	-	-	-	-	-			
	-	-	-	-	-			
	-	-	-	-	-			
	-	-	-	-	-			
	-	-	-	-	-			
	-	-	-	-	-			
	-	-	-	-	-			
	-	-	-	-	-			

大分類		索引図・区域データ		定義	元資料	内容	
レイヤ名称	種別	形状	取得レベル				縮尺
市町村界	ベクター	面	A	1/25,000	shicho	数値地図25000(行政界・海岸線)	
属性定義	項目	項目名	データ型	データ長(バイト)	表記	内容	
	都道府県コード	PREFCODE	文字	2	前ゼロ	別紙都道府県コード表による。	
	市町村コード	CITYCODE	文字	3	前ゼロ	別紙市町村コード表による。	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
品質要素		要求品質		品質検査方法		適合水準	
完全性	過剰	過剰が無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、全数検査する。		誤率: 0% 誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数)	
	漏れ	漏れが無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、全数検査する。		誤率: 0% 誤率 = 漏れ数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数)	
論理一貫性	概念一貫性		-		-		
	定義域一貫性	都道府県コード	規定の番号の範囲内であること		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率: 0% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%
		市町村コード	規定の番号の範囲内であること		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		-	-		-		
		-	-		-		
		-	-		-		
-	-		-				
フォーマット一貫性	シェ - プファイル形式であること。		データをシェ - プファイルを扱えるコンピュータプログラムに読み込み可能かどうか、全数検査する。		誤率: 0% 誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100%		
位相一貫性	面図形同士が重複しないこと。		データを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率: 0% 誤率 = 重複箇所 ÷ 総数 × 100%		
位置正確度	絶対または外部正確度	現地座標値とのズレが、±17.5m以内であること。(元資料が数値地図25000であり、1/25,000地形図の精度を保持するため、もしくは、縮尺1/25,000において、元資料とのズレが0.7mm以内であることとする。)		または、データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5% 誤率 = ズレ超過箇所数 ÷ 総数 × 100%	
	相対または内部正確度	-		-		-	
	グリッドデータ位置正確度	-		-		-	
時間正確度	時間測定正確度	-		-		-	
	時間一貫性	-		-		-	
	時間妥当性	-		-		-	
主題正確度	分類の正確性	都道府県コード	内容が正しいこと		データと元資料とを、目視により対比し、全数検査する。		誤率: 0% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%
		市町村コード	内容が正しいこと				
		-	-				
		-	-				
		-	-				
	非定量的属性の正確性	都道府県コード	-				
		市町村コード	-				
		-	-				
		-	-				
		-	-				
	定量的属性の正確度	都道府県コード	-				
		市町村コード	-				
		-	-				
		-	-				
		-	-				

大分類		索引図・区域データ		定義	「農業振興地域の整備に関する法律」に基づいて指定された地域をいう。	元資料	農振地域図または、既存数値データ
レイヤ名称		農振地域					
種別		ベクター					
形状		面					
取得レベル		A					
縮尺		1/2,500 ~ 1/50,000					
ファイル名称		noshin					
属性定義	項目	項目名	データ型	データ長(バイト)	表記	内容	
	都道府県コード	PREFCODE	文字	2	前ゼロ	別紙都道府県コード表による。	
	市町村コード	CITYCODE	文字	3	前ゼロ	別紙市町村コード表による。	
	元資料	MATERIAL	文字	40		使用した元資料の名称。	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
品質要素			要求品質		品質検査方法		適合水準
完全性	過剰	過剰が無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5% 誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 過剰数) × 100%	
	漏れ	漏れが無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5% 誤率 = 漏れ数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%	
論理一貫性	概念一貫性	-		-		-	
	定義域一貫性	都道府県コード	規定の番号の範囲内であること		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率: 0% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%
		市町村コード	規定の番号の範囲内であること		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		元資料	有効な全角文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		-	-		-		
		-	-		-		
		-	-		-		
		-	-		-		
		-	-		-		
		-	-		-		
-	-		-				
フォーマット一貫性	シェ - プファイル形式であること。		データをシェ - プファイルを扱えるコンピュータプログラムに読み込み可能かどうか、全数検査する。		誤率: 0% 誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100%		
位相一貫性	面図形同士が重複しないこと。		データを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率: 0% 誤率 = 重複箇所 ÷ 総数 × 100%		
位置正確度	絶対または外部正確度	元資料の縮尺において、元資料とのズレが図上0.7mm以内であること。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5% 誤率 = ズレ超過箇所数 ÷ 総数 × 100%	
	相対または内部正確度	-		-		-	
	グリッドデータ位置正確度	-		-		-	
時間正確度	時間測定正確度	-		-		-	
	時間一貫性	-		-		-	
	時間妥当性	-		-		-	
主題正確度	分類の正確性	都道府県コード	内容が正しいこと		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%
		市町村コード	内容が正しいこと				
		元資料	-				
		-	-				
		-	-				
		-	-				
		-	-				
		-	-				
		-	-				
		-	-				
	非定量的属性の正確性	都道府県コード	-				
		市町村コード	-				
		元資料	内容が正しいこと				
		-	-				
		-	-				
		-	-				
		-	-				
		-	-				
		-	-				
		-	-				
定量的属性正確度	都道府県コード	-					
	市町村コード	-					
	元資料	-					
	-	-					
	-	-					
	-	-					
	-	-					
	-	-					
	-	-					
	-	-					

大分類		索引図・区域データ		定義	農振地域内で、農用地等として利用すべき土地の区域をいう。	元資料	農振地域図、既存数値データ	
レイヤ名称		農振農用地区域						
種別		ベクター						
形状		面						
取得レベル		A						
縮尺		1/2,500 ~ 1/50,000						
ファイル名称		noyochi						
属性定義	項目	項目名	データ型	データ長(バイト)	表記	内容		
	都道府県コード	PREFCODE	文字	2	前ゼロ	別紙都道府県コード表による。		
	市町村コード	CITYCODE	文字	3	前ゼロ	別紙市町村コード表による。		
	元資料	MATERIAL	文字	40		使用した元資料の名称。		
	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-		
品質要素			要求品質		品質検査方法		適合水準	
完全性	過剰	過剰が無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5% 誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 過剰数) × 100%		
	漏れ	漏れが無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5% 誤率 = 漏れ数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%		
論理一貫性	概念一貫性	-		-		-		
	定義域一貫性	都道府県コード	規定の番号の範囲内であること		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率: 0% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%	
		市町村コード	規定の番号の範囲内であること		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		元資料	有効な全角文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		-	-		-			
		-	-		-			
		-	-		-			
		-	-		-			
		-	-		-			
		-	-		-			
-	-		-					
フォーマット一貫性	シェ - プファイル形式であること。		データをシェ - プファイルを扱えるコンピュータプログラムに読み込み可能かどうか、全数検査する。		誤率: 0% 誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100%			
位相一貫性	面図形同士が重複しないこと。		データを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率: 0% 誤率 = 重複箇所 ÷ 総数 × 100%			
位置正確度	絶対または外部正確度	元資料の縮尺において、元資料とのズレが図上0.7mm以内であること。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5% 誤率 = ズレ超過箇所数 ÷ 総数 × 100%		
	相対または内部正確度	-		-		-		
	グリッドデータ位置正確度	-		-		-		
時間正確度	時間測定正確度	-		-		-		
	時間一貫性	-		-		-		
	時間妥当性	-		-		-		
主題正確度	分類の正確性	都道府県コード	内容が正しいこと		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%	
		市町村コード	内容が正しいこと					
		元資料	-					
		-	-					
		-	-					
		-	-					
		-	-					
		-	-					
		-	-					
		-	-					
	非定量的属性の正確性	都道府県コード	-					
		市町村コード	-					
		元資料	内容が正しいこと					
		-	-					
		-	-					
		-	-					
		-	-					
		-	-					
		-	-					
		-	-					
定量的属性の正確度	都道府県コード	-						
	市町村コード	-						
	元資料	-						
	-	-						
	-	-						
	-	-						
	-	-						
	-	-						
	-	-						
	-	-						

大分類		索引図・区域データ		定義	土地改良区の受益範囲をいう。	元資料	土地改良区概要図など既存資料	
レイヤ名称		土地改良区区域						
種別		ベクター						
形状		面						
取得レベル		B						
縮尺		1/2,500 ~ 1/50,000						
ファイル名称		kairyoku						
属性定義	項目	項目名	データ型	データ長(バイト)	表記	内容		
	都道府県コード	PREFCODE	文字	2	前ゼロ	別紙都道府県コード表による。		
	市町村コード	CITYCODE	文字	3	前ゼロ	別紙市町村コード表による。		
	土地改良区コード	IMPCODE	文字	4	前ゼロ	県内で4桁の番号を振る。		
	名称	NAME	文字	20		土地改良区の名称		
	関係市町村	KANKEI	文字	40		関係市町村の名称		
	組合員数	MEMBER	整数	4		単位:人		
	設立年月日	ESTABDATE	文字	8	前ゼロ	西暦(YYYYMMDD形式) YYYY:1900 ~ 2001, MM:01 ~ 12, DD:01 ~ 31		
	受益面積	AREA	実数	8	小数第1位	受益地の総面積, 単位: m		
	管理者コード	ADMICODE	文字	2	前ゼロ	01:国, 02:都道府県, 03:市町村, 04:土地改良区, 05:その他		
	元資料	MATERIAL	文字	40		使用した元資料の名称。		
	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	-	
品質要素		要求品質		品質検査方法		適合水準		
完全性	過剰	過剰が無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5% 誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 過剰数) × 100%		
	漏れ	漏れが無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5% 誤率 = 漏れ数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%		
論理一貫性	概念一貫性		-		-		-	
	定義域一貫性	都道府県コード	規定の番号の範囲内であること		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率: 0% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%	
		市町村コード	規定の番号の範囲内であること		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		土地改良区コード	0001 - 9999の範囲内であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		名称	有効な全角文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		関係市町村	有効な全角文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		組合員数	0以上であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		設立年月日	有効な日付文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		受益面積	0.1以上であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
	管理者コード	規定の番号の範囲内であること		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。				
元資料	有効な全角文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。					
-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	-	
フォーマット一貫性		シェ - プファイル形式であること。		データをシェ - プファイルを扱えるコンピュータプログラムに読み込み可能かどうか、全数検査する。		誤率: 0% 誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100%		
位相一貫性		-		-		-		
位置正確度	絶対または外部正確度	元資料の縮尺において、元資料とのズレが図上0.7mm以内であること。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5% 誤率 = ズレ超過箇所数 ÷ 総数 × 100%		
	相対または内部正確度	-		-		-		
	クリッドデータ位置正確度	-		-		-		
時間正確度	時間測定正確度	-		-		-		
	時間一貫性	-		-		-		
	時間妥当性	-		-		-		
主題正確度	分類の正確性	都道府県コード	内容が正しいこと		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%	
		市町村コード	内容が正しいこと					
		土地改良区コード	内容が正しいこと					
		名称	-					
		関係市町村	-					
		組合員数	-					
		設立年月日	-					
		受益面積	-					
	管理者コード	内容が正しいこと						
	元資料	-						
	-	-						
	-	-						
	-	-						
	-	-						
	-	-						
非定量的属性の正確性	都道府県コード	-						
	市町村コード	-						
	土地改良区コード	-						
	名称	内容が正しいこと						
	関係市町村	内容が正しいこと						
	組合員数	-						
	設立年月日	内容が正しいこと						
受益面積	-							
管理者コード	-							
元資料	内容が正しいこと							
-	-							
-	-							
-	-							
-	-							
定量的属性の正確度	都道府県コード	-						
	市町村コード	-						
	土地改良区コード	-						
	名称	-						
	関係市町村	-						
	組合員数	内容が正しいこと						
	設立年月日	-						
受益面積	内容が正しいこと							
管理者コード	-							
元資料	-							
-	-							
-	-							
-	-							
-	-							

大分類		索引図・区域データ		定義	事業実施の対象となる区域のうち、受益範囲、集水域など面的な形状を持つものを対象とする	元資料	農業農村整備事業概要書など既存資料
レイヤ名称	種別	形状	取得レベル				
レイヤ名称	NN事業実施区域(面)	ベクター	面				
種別	ベクター						
形状	面						
取得レベル	B						
縮尺	1/2,500 ~ 1/100,000						
ファイル名称	jigyokuiki						
属性定義		項目	項目名	データ型	データ長(バイト)	表記	内容
属性定義	都道府県コード	PREFCODE	文字	2	前ゼロ	代表的な都道府県、別紙都道府県コード表による。	
	市町村コード	CITYCODE	文字	3	前ゼロ	代表的な市町村、別紙市町村コード表による。	
	種類コード	TYPECODE	文字	2	前ゼロ	01:かんがい排水 02:区画整理 03:総合整備 04:農道整備 05:農用地開発 06:農地防災 07:水環境整備 08:住環境整備 09:営農飲雑用水 10:集落防災安全施設 11:その他	
	分類コード	BUNRUI	文字	2	前ゼロ	01:受益範囲 02:集水域 03:その他	
	事業名	JIGYO	文字	30		事業名称	
	地区名	CHIKU	文字	20		地区名	
	関係市町村	KANKEI	文字	40		関係市町村の名称	
	全体事業費	JIGYOHI	実数	8		単位:百万円	
	主要工事概要	KOJI	文字	50		事業種目と事業量を記述する	
	着工年	KAISJ	-	3	-	年号も記述(H13など)	
	完了年(予)	KANRYO	-	3	-	年号も記述(H13など)	
	備考	BIKOU	文字	40	-	アロケーション施設の有無、扱いなどを記載する。	
	元資料	MATERIAL	文字	40	-	使用した元資料の名称。	
	品質要素		要求品質		品質検査方法		適合水準
完全性	過剰	過剰が無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%	
	漏れ	漏れが無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 漏れ数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%	
論理一貫性	概念一貫性	-		-		-	
	定義域一貫性	都道府県コード	規定の番号の範囲内であること	データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%	
		市町村コード	規定の番号の範囲内であること	データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		種類コード	規定の番号の範囲内であること	データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		分類コード	規定の番号の範囲内であること	データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		事業名	有効な全角文字列であること。	データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		地区名	有効な全角文字列であること。	データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		関係市町村	有効な全角文字列であること。	データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		全体事業費	0より大きい値であること。	データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		主要工事概要	有効な全角文字列であること。	データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
着工年		0より大きい値であること。	データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。				
完了年(予)	0より大きい値であること。	データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。					
備考	-	-					
元資料	有効な全角文字列であること。	データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。					
フォーマット一貫性	シェ - ブファイル形式であること。		データをシェ - ブファイルを扱えるコンピュータプログラムに読み込み可能かどうか、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100%		
位相一貫性	-		-		-		
位置正確度	絶対または外部正確度	元資料の縮尺において、元資料とのズレが図上0.7mm以内であること。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = ズレ超過箇所数 ÷ 総数 × 100%	
	相対または内部正確度	-		-		-	
	グリッドデータ位置正確度	-		-		-	
時間正確度	時間測定正確度	-		-		-	
	時間一貫性	-		-		-	
	時間妥当性	-		-		-	
主題正確度	分類の正確性	都道府県コード	内容が正しいこと	データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%	
		市町村コード	内容が正しいこと				
		種類コード	内容が正しいこと				
		分類コード	内容が正しいこと				
		事業名	-				
		地区名	-				
		関係市町村	-				
		全体事業費	-				
		主要工事概要	-				
		着工年	-				
	完了年(予)	-					
	備考	-					
	元資料	-					
	非定量的属性の正確性	都道府県コード	-				
		市町村コード	-				
		種類コード	-				
		分類コード	-				
		事業名	内容が正しいこと				
		地区名	内容が正しいこと				
		関係市町村	内容が正しいこと				
		全体事業費	-				
		主要工事概要	内容が正しいこと				
		着工年	内容が正しいこと				
	完了年(予)	内容が正しいこと					
	備考	-					
	元資料	内容が正しいこと					
	定量的属性の正確度	都道府県コード	-				
		市町村コード	-				
		種類コード	-				
		分類コード	-				
事業名		-					
地区名		-					
関係市町村		-					
全体事業費		内容が正しいこと					
主要工事概要		-					
着工年		-					
完了年(予)	-						
備考	-						
元資料	-						

大分類		索引図・区域データ		定義	事業実施の対象となる区域のうち、 用水路、農道など線状の施設を対象とする	元資料	農業農村整備事業概要書など既存資料
レイヤ名称		NN事業実施区域(線)					
種別		ベクター					
形状		線					
取得レベル		B					
縮尺		1/2,500 ~ 1/100,000					
ファイル名称		jigyoku.j					
項目		項目名	データ型	データ長(バイト)	表記	内容	
属性定義	都道府県コード	PREFCODE	文字	2	前ゼロ	代表的な都道府県、別紙都道府県コード表による。	
	市町村コード	CITYCODE	文字	3	前ゼロ	代表的な市町村、別紙市町村コード表による。	
	種類コード	TYPECODE	文字	2	前ゼロ	01:用水路(開水路) 02:用水路(管水路) 03:排水路(開水路) 04:排水路(管水路) 05:農道 06:集落道 07:その他	
	名称	NAME	文字	50		施設の名称。3-6用水路もしくは3-7排水路に同一の施設データがある場合は、名称を整合させる。	
	事業名	JIGYO	文字	30		事業名称	
	地区名	CHIKU	文字	20		地区名	
	関係市町村	KANKEI	文字	40		関係市町村の名称	
	全体事業費	JIGYOHI	実数	8		単位:百万円	
	主要工事概要	KOJI	文字	50		事業種目と事業量を記述する	
	着工年	KAISI	-	3	-	年号も記述(H13など)	
	完了年(予)	KANRYO	-	3	-	年号も記述(H13など)	
	備考	BIKOU	文字	40	-	アロケーション施設の有無、扱いなどを記載する。	
	元資料	MATERIAL	文字	40	-	使用した元資料の名称。	
	品質要素		要求品質			品質検査方法	適合水準
完全性	過剰	過剰が無いこと。			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。	誤率:2.5% 誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%	
	漏れ	漏れが無いこと。			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。	誤率:2.5% 誤率 = 漏れ数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%	
論理一貫性	概念一貫性	-			-	-	
	定義域一貫性	都道府県コード	規定の番号の範囲内であること		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。	誤率:0% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%	
		市町村コード	規定の番号の範囲内であること		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		種類コード	規定の番号の範囲内であること		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		名称	有効な全角文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		事業名	有効な全角文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		地区名	有効な全角文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		関係市町村	有効な全角文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		全体事業費	0より大きい値であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		主要工事概要	有効な全角文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
着工年		0より大きい値であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
完了年(予)	0より大きい値であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。				
備考	-		-	-	-		
元資料	有効な全角文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。	-	-		
フォーマット一貫性	シェ - プファイル形式であること。			データをシェ - プファイルを扱えるコンピュータプログラムに読み込み可能かどうか、全数検査する。	誤率:0% 誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100%		
位相一貫性	-			-	-		
位置正確度	絶対または外部正確度	元資料の縮尺において、元資料とのズレが図上0.7mm以内であること。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。	誤率:2.5% 誤率 = ズレ超過箇所数 ÷ 総数 × 100%		
	相対または内部正確度	-		-	-		
	グリッドデータ位置正確度	-		-	-		
時間正確度	時間測定正確度	-		-	-		
	時間一貫性	-		-	-		
時間妥当性	-		-	-	-		
主題正確度	分類の正確性	都道府県コード	内容が正しいこと		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。	誤率:2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%	
		市町村コード	内容が正しいこと				
		種類コード	内容が正しいこと				
		名称	-				
		事業名	-				
		地区名	-				
		関係市町村	-				
		全体事業費	-				
		主要工事概要	-				
		着工年	-				
	完了年(予)	-					
	備考	-					
	元資料	-					
	非定量的属性の正確性	都道府県コード	内容が正しいこと				
		市町村コード	内容が正しいこと				
		種類コード	-				
		名称	内容が正しいこと				
		事業名	内容が正しいこと				
		地区名	内容が正しいこと				
		関係市町村	内容が正しいこと				
全体事業費		-					
主要工事概要		内容が正しいこと					
着工年		内容が正しいこと					
完了年(予)	内容が正しいこと						
備考	-						
元資料	内容が正しいこと						
定量的属性の正確度	都道府県コード	-					
	市町村コード	-					
	種類コード	-					
	名称	-					
	事業名	-					
	地区名	-					
	関係市町村	-					
	全体事業費	内容が正しいこと					
	主要工事概要	-					
	着工年	-					
完了年(予)	-						
備考	-						
元資料	-						

大分類		索引図・区域データ		定義	事業実施の対象となる区域のうち、頭首工、ポンプ場など点状の施設を対象とする	元資料	農業農村整備事業概要書など既存資料	
レイヤ名称	NN事業実施区域(点)	種別	ベクター					
形状	点	取得レベル	B					
縮尺	1/2,500 ~ 1/100,000	ファイル名称	jigyoku.p					
属性定義	項目	項目名	データ型	データ長(バイト)	表記	内容		
	都道府県コード	PREFCODE	文字	2	前ゼロ	代表的な都道府県、別紙都道府県コード表による。		
	市町村コード	CITYCODE	文字	3	前ゼロ	代表的な市町村、別紙市町村コード表による。		
	種類コード	TYPECODE	文字	2	前ゼロ	01:用水 02:排水 03:防災 04:生活 05:その他		
	名称	NAME	文字	20		施設の名称、3-6水利施設に同一の施設データがある場合は、名称を整合させる。		
	事業名	JIGYO	文字	30		事業名称		
	地区名	CHIKU	文字	20		地区名		
	関係市町村	KANKEI	文字	40		関係市町村の名称		
	全体事業費	JIGYOHI	実数	8		単位:百万円		
	主要工事概要	KOJI	文字	50		事業種目と事業量を記述する		
	着工年	KAISI	文字	3	-	年号も記述(H13など)		
	完了年(予)	KANRYO	文字	3	-	年号も記述(H13など)		
備考	BIKOU	文字	40	-	アロケーション施設の有無、扱いなどを記載する。			
元資料	MATERIAL	文字	40		使用した元資料の名称			
品質要素			要求品質		品質検査方法	適合水準		
完全性	過剰	過剰が無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5%		
	漏れ	漏れが無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100% 誤率:2.5%		
論理一貫性	概念一貫性	-		-		-		
	定義域一貫性	都道府県コード	規定の番号の範囲内であること		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%	
		市町村コード	規定の番号の範囲内であること		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		種類コード	規定の番号の範囲内であること		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		名称	有効な全角文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		事業名	有効な全角文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		地区名	有効な全角文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		関係市町村	有効な全角文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		全体事業費	0より大きい値であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		主要工事概要	有効な全角文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
着工年		0より大きい値であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。				
完了年(予)	0より大きい値であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。					
備考	-		-		-			
元資料	有効な全角文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		-			
フォーマット一貫性	シェ - プファイル形式であること。		データをシェ - プファイルを扱えるコンピュータプログラムに読み込み可能かどうか、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100%			
位相一貫性	-		-		-			
位置正確度	絶対または外部正確度	元資料の縮尺において、元資料とのズレが図上0.7mm以内であること。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = ズレ超過箇所数 ÷ 総数 × 100%		
	相対または内部正確度	-		-		-		
	グリッドデータ位置正確度	-		-		-		
時間正確度	時間測定正確度	-		-		-		
	時間一貫性	-		-		-		
	時間妥当性	-		-		-		
主題正確度	分類の正確性	都道府県コード	内容が正しいこと		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%	
		市町村コード	内容が正しいこと					
		種類コード	内容が正しいこと					
		名称	-					
		事業名	-					
		地区名	-					
		関係市町村	-					
		全体事業費	-					
		主要工事概要	-					
		着工年	-					
		完了年(予)	-					
		完了年(予)	-					
		備考	-					
		元資料	-					
		非定量的属性の正確性	都道府県コード	-				
	市町村コード		-					
	種類コード		-					
	名称		内容が正しいこと					
	事業名		内容が正しいこと					
	地区名		内容が正しいこと					
	関係市町村		内容が正しいこと					
	全体事業費		-					
	主要工事概要		内容が正しいこと					
	着工年		内容が正しいこと					
	完了年(予)		内容が正しいこと					
	完了年(予)		-					
	備考		-					
	元資料		内容が正しいこと					
	定量的属性の正確度		都道府県コード	-				
		市町村コード	-					
種類コード		-						
名称		-						
事業名		-						
地区名		-						
関係市町村		-						
全体事業費		内容が正しいこと						
主要工事概要		-						
着工年		-						
完了年(予)		-						
完了年(予)		-						
備考		-						
元資料		-						

大分類		農地基図データ		定義	元資料	航空写真、もしくは同等以上の精度を有するデジタル画像、数値地形モデル			
レイヤ名称		デジタルオルソ							
種別		ラスター		xxxxxxは、国土基本図1/5000の図郭番号、yは4分割した1/2500図郭の位置、zはさらに4分割した1/1250図郭の位置、航空写真等を基に正射投影変換処理された、地表の現況状況を表した画像データをいう。					
形状		カラー							
取得レベル		A		RGB=(0-255.0-255.0-255)					
縮尺		1/2,500							
ファイル名称		xxxxxyzcyyymmdd.tif (位置情報は、xxxxxyzcyyymmdd.tif)		データ長(バイト)	表記	内容			
項目		項目名							
属性定義	画素	-	-	3	-	-			
	元資料	MATERIAL	文字	40	-	使用した元資料の名称。			
	-	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-	-		
品質要素		要求品質			品質検査方法		適合水準		
完全性	過剰	過剰が無いこと。			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5%		
	漏れ	漏れが無いこと。			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%		
論理一貫性	概念一貫性	-			-		-		
	定義域一貫性	画素	規定の番号の範囲内であること。			データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%	
		画素サイズ	解像度が30cm以上であること			画像ファイルの画素数から、画素サイズを計算。パソコン上で画素を拡大し、目視により画素が生の取得値であるか(粗い解像度の画素をリサンプリングしたものでないか?)、サンプリング検査する。			
		元資料	有効な全角文字列であること。			データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		-	-	-	-	-	-		-
		-	-	-	-	-	-		-
		-	-	-	-	-	-		-
		-	-	-	-	-	-		-
		-	-	-	-	-	-		-
		-	-	-	-	-	-		-
-	-	-	-	-	-	-			
フォーマット一貫性	TIFF(非圧縮)形式であること。位置情報ファイルは、ワールドファイル形式であること。			画像データをTIFF(非圧縮)形式を扱えるコンピュータプログラムに読み込み可能かどうか、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100%			
位相一貫性	色調に異常が無いこと。			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 異常ファイル数 ÷ 総数 × 100%			
位置正確度	絶対または外部正確度	データ上の座標値と、同位置の現地座標値とのズレが、±1.75m以内であること。			データと元資料とを、現地測量により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = ズレ超過箇所数 ÷ 総数 × 100%		
	相対または内部正確度	-			-		-		
	グリッドデータ位置正確度	-			-		-		
時間正確度	時間測定正確度	データ整備時点より過去5年以内の撮影であること。			元資料の撮影時期を、目視により確認し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総数 × 100%		
	時間一貫性	-			-		-		
	時間妥当性	-			-		-		
主題正確度	分類の正確性	画素	-			-		誤率:2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%	
		元資料	-			-			
		-	-	-	-	-	-		
		-	-	-	-	-	-		
		-	-	-	-	-	-		
	非定量的属性の正確性	画素	-			-			
		元資料	内容が正しいこと			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。			
		-	-	-	-	-	-		
		-	-	-	-	-	-		
		-	-	-	-	-	-		
定量的属性正確度	画素	-			-				
	元資料	位相一貫性にて評価			-				
	-	-	-	-	-	-			
	-	-	-	-	-	-			
	-	-	-	-	-	-			

大分類		農地基盤データ		定義	地形(地上面)の標高値を、ランダムまたは格子状に整列された点として表現したものをいう。全地域において、農地(農地団地、圃区)内の標高値は、地盤高である。また、中山間地域等においては、水田一筆内の標高値は同一であり、傾斜農地の法尻・法肩等の地形境界部の標高値を必要とする。	元資料	現地または航空写真、もしくは同等以上の精度を有するデジタル画像	
レイヤ名称		数値地形標高						
種別		ベクター						
形状		点						
取得レベル		A						
縮尺		1/2,500						
ファイル名称		hyoko						
属性定義	項目	項目名	データ型	データ長(バイト)	表記	内容		
	標高値	ELEVATION	実数	8	小数第1位	単位:m		
	元資料	MATERIAL	文字	40		使用した元資料の名称。		
	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-		
品質要素		要求品質			品質検査方法		適合水準	
完全性	過剰	過剰が無いこと。			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 過剰数) × 100%	
	漏れ	漏れが無いこと。			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 漏れ数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%	
論理一貫性	概念一貫性		-			-		-
	定義域一貫性	標高値	-5.0 ~ 3400.0の範囲内であること。			データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%
		元資料	有効な全角文字列であること。			データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		-	-			-		
		-	-			-		
		-	-			-		
		-	-			-		
		-	-			-		
		-	-			-		
	フォーマット一貫性	シェ - ブファイル形式であること。			データをシェ - ブファイルを扱えるコンピュータプログラムに読み込み可能かどうか、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100%	
位相一貫性	水田部を除き、ポイント間隔は5m以下であること。			データを、目視によりサンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 異常数 ÷ 総数 × 100%		
位置正確度	絶対または外部正確度	データ上の標高値と、同位置の現地標高値とのズレが、標準偏差 ± 1m以内であること。			データと元資料とを、現地測量により対比し、サンプリング検査する。		サンプリングした標高の標準偏差が、要求品質を満たすこと	
	相対または内部正確度	-			-		-	
	グリッドデータ位置正確度	-			-		-	
時間正確度	時間測定正確度	-			-		-	
	時間一貫性	-			-		-	
	時間妥当性	-			-		-	
主題正確度	分類の正確性	標高値	-			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%
		元資料	内容が正しいこと					
		-	-					
		-	-					
		-	-					
	定量的属性正確度	標高値	位置正確度にて評価					
		元資料	-					
		-	-					
		-	-					
		-	-					

大分類 農地基盤データ			定義	デジタルオルソ画像上で判読できる河川(堤防間)の中心位置をいう。	元資料	デジタルオルソ画像	
レイヤ名称	河心線						
種別	ベクター						
形状	線						
取得レベル	B						
縮尺	1/2,500						
ファイル名称	kashin						
属性定義	項目	項目名	データ型	データ長(バイト)	表記	内容	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
品質要素		要求品質			品質検査方法		適合水準
完全性	過剰	過剰が無いこと。			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5%
	漏れ	漏れが無いこと。			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100% 誤率: 2.5%
論理一貫性	概念一貫性	-			-		-
	定義域一貫性	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
	フォーマット一貫性	シェ - プファイル形式であること。			データをシェ - プファイルを扱えるコンピュータプログラムに読み込み可能かどうか、全数検査する。		誤率: 0%
位相一貫性	流水方向に沿って取得されていること。			データとデジタルオルソ画像とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100% 誤率: 2.5%	
位置正確度	絶対または外部正確度	-			-		-
	相対または内部正確度	縮尺1/2,500において、デジタルオルソ画像での河川内にあること。			データとデジタルオルソ画像とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5%
	グリッドデータ位置正確度	-			-		-
時間正確度	時間測定正確度	-			-		-
	時間一貫性	-			-		-
	時間妥当性	-			-		-
主題正確度	分類の正確性	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
	非定量的属性の正確性	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
定量的属性の正確度	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	

大分類		農地基図データ		定義	デジタルオルソ画像上で判読できる陸部の湖沼・池等の水部をいう。	元資料	デジタルオルソ画像				
レイヤ名称		湖沼区域									
種別		ベクター									
形状		面									
取得レベル		B									
縮尺		1/2,500									
ファイル名称		koshu									
項目		項目名	データ型	データ長(バイト)	表記	内容					
属性定義	湖沼コード	LAKECODE	文字	4	前ゼロ	都道府県単位に任意に設定する。					
	-	-	-	-	-	-					
	-	-	-	-	-	-					
	-	-	-	-	-	-					
	-	-	-	-	-	-					
	-	-	-	-	-	-					
	-	-	-	-	-	-					
	-	-	-	-	-	-					
	-	-	-	-	-	-					
	-	-	-	-	-	-					
品質要素		要求品質			品質検査方法		適合水準				
完全性	過剰	過剰が無いこと。			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%				
	漏れ	漏れが無いこと。			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 漏れ数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%				
論理一貫性	概念一貫性		-			-		-			
	定義域一貫性	湖沼コード	規定のコードの範囲内であること。			データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%			
		-	-	-	-	-	-				
		-	-	-	-	-	-				
		-	-	-	-	-	-				
		-	-	-	-	-	-				
		-	-	-	-	-	-				
		-	-	-	-	-	-				
		-	-	-	-	-	-				
	フォーマット一貫性		シェ - プファイル形式であること。			データをシェ - プファイルを扱えるコンピュータプログラムに読み込み可能かどうか、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100%			
位相一貫性		面図形同士が重複しないこと。			データを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 重複箇所 ÷ 総数 × 100%				
位置正確度	絶対または外部正確度	縮尺1/2,500のデジタルオルソ画像で判読した湖沼区域とのズレが、±1.75mまたはこれに相当する画素数内であること。			データとデジタルオルソ画像とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = ズレ超過箇所数 ÷ 総数 × 100%				
	相対または内部正確度	-			-		-				
	グリッドデータ位置正確度	-			-		-				
時間正確度	時間測定正確度	-			-		-				
	時間一貫性	-			-		-				
	時間妥当性	-			-		-				
主題正確度	分類の正確性	湖沼コード	内容が正しいこと			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%			
		-	-	-	-						
		-	-	-	-						
		-	-	-	-						
		-	-	-	-						
		-	-	-	-						
		-	-	-	-						
		-	-	-	-						
		-	-	-	-						
		-	-	-	-						
	非定量的属性の正確性	湖沼コード	-						データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%
		-	-	-	-						
		-	-	-	-						
		-	-	-	-						
		-	-	-	-						
		-	-	-	-						
		-	-	-	-						
		-	-	-	-						
		-	-	-	-						
		-	-	-	-						
定量的属性の正確度	湖沼コード	-			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%				
	-	-	-	-							
	-	-	-	-							
	-	-	-	-							
	-	-	-	-							
	-	-	-	-							
	-	-	-	-							
	-	-	-	-							
	-	-	-	-							
	-	-	-	-							

大分類		農地基盤データ		定義	標高の等しい点を連ねた連続線をいう。	元資料	数値地形標高	
レイヤ名称	種別	形状	取得レベル					
	等高線	ベクター	B					
	縮尺	1/2,500						
	ファイル名称	tokosen						
属性定義	項目	項目名	データ型	データ長(バイト)	表記	内容		
	種類コード	TYPECODE	文字	2	前ゼロ	01:計曲線(10m)、02:主曲線(2m)		
	標高値	ELEVATION	実数	8	小数第1位	単位:m		
	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-		
品質要素		要求品質			品質検査方法		適合水準	
完全性	過剰	過剰が無いこと。			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%	
	漏れ	漏れが無いこと。			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 漏れ数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%	
論理一貫性	概念一貫性		-			-		-
	定義域一貫性	種類コード	規定のコードの範囲内であること。			データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%
		標高値	-5.0 ~ 3400.0の範囲内であること。			データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		-	-			-		
		-	-			-		
		-	-			-		
		-	-			-		
フォーマット一貫性	シェ - プファイル形式であること。			データをシェ - プファイルを扱えるコンピュータプログラムに読み込み可能かどうか、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100%		
位相一貫性	他の等高線と交差しないこと、隣り合う等高線は、2m差が同一標高であること、地形標高データと矛盾しないこと。			データを、目視によりサンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 異常数 ÷ 総数 × 100%		
位置正確度	絶対または外部正確度		- (位相一貫性にて評価)			-		
	相対または内部正確度		-			-		
	グリッドデータ位置正確度		-			-		
時間正確度	時間測定正確度		-			-		
	時間一貫性		-			-		
	時間妥当性		-			-		
主題正確度	分類の正確性	種類コード	内容が正しいこと			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%
		標高値	-					
		-	-					
		-	-					
		-	-					
		-	-					
	非定量的属性の正確性	種類コード	-					
		標高値	-					
		-	-					
		-	-					
		-	-					
		-	-					
	定量的属性正確度	種類コード	-					
		標高値	位相一貫性にて評価					
		-	-					

大分類		農業生産基盤データ		定義	元資料	デジタルオルソ画像		
レイヤ名称	圃区	種別	ベクター					
取得レベル	A	形状	面					
縮尺	1/2,500	ファイル名称	hoku					
属性定義		項目	項目名	データ型	データ長(バイト)	表記	内容	
属性定義	都道府県コード	PREFCODE	文字	2	前ゼロ	別紙都道府県コード表による。		
	市町村コード	CITYCODE	文字	3	前ゼロ	別紙市町村コード表による。		
	圃区コード	HOKU	文字	5	前ゼロ	市町村内で概ね北から南に順に番号を1番から振る。		
	圃区コード枝番	HOKUSUB	文字	2	前ゼロ	分筆等で圃区が変更された場合に用いる。		
	農振地域コード	NOSHINCDE	文字	2	前ゼロ	01:農用地、02:農振白地、03:農振地域内で上記の混在、04:農振地域外		
	字名	AZA	文字	20		字の名称		
	地目コード	LANDCODE1	文字	2	前ゼロ	圃区を代表する現況地目とする。 01:水田、02:畑、03:樹園地、04:草地、05:採草放牧地、06:その他		
	農地面積	AREA1	実数	8	小数第1位	圃区内の総面積(単位:m)とする。		
	混在地目コード	LANDCODE2	文字	2	前ゼロ	圃区内にその他の地目が混在する場合、当該現況地目とする。 01:水田、02:畑、03:樹園地、04:草地、05:採草放牧地、06:その他		
	混在地目面積	AREA2	実数	8	小数第1位	混在地目の農地面積の内数(単位:m)とする。		
	傾斜度(傾斜)	GRADIENT1	実数	8	小数第1位	度単位		
	傾斜度(勾配)	GRADIENT2	実数	8	小数第1位	分子を1とする分数単位		
農地団地コード	DANCHI	文字	4	前ゼロ				
品質要素		要求品質		品質検査方法		適合水準		
完全性	過剰	過剰が無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%		
	漏れ	漏れが無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 漏れ数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%		
論理一貫性	概念一貫性		-		-		-	
	定義域一貫性	都道府県コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%	
		市町村コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		圃区コード	00001 ~ 99999の範囲内であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		圃区コード枝番	00 ~ 99の範囲内であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		農振地域コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		字名	有効な全角文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		地目コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		農地面積	0.1以上であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
	混在地目コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。				
	混在地目面積	0.0以上であり、かつ農地面積未満であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。				
	傾斜度(傾斜)	0.0 ~ 90.0の範囲内であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。				
傾斜度(勾配)	0.1以上の値であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。					
農地団地コード	0001 ~ 9999の範囲内であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。					
フォーマット一貫性		シェ - プファイル形式であること。		データをシェ - プファイルを読み込み可能かどうか、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100%		
位相一貫性		面図形同士が重複しないこと。		データを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 重複箇所 ÷ 総数 × 100%		
位置正確度	絶対または外部正確度	縮尺1/2,500において、デジタルオルソ画像とのズレが、±1.75mまたはこれに相当する画素数以内であること。		データとデジタルオルソ画像とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = ズレ超過箇所数 ÷ 総数 × 100%		
	相対または内部正確度	-		-		-		
	グリッドデータ位置正確度	-		-		-		
時間正確度	時間測定正確度	-		-		-		
	時間一貫性	-		-		-		
	時間妥当性	-		-		-		
主題正確度	分類の正確性	都道府県コード	内容が正しいこと		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%	
		市町村コード	内容が正しいこと					
		圃区コード	内容が正しいこと					
		圃区コード枝番	内容が正しいこと					
		農振地域コード	内容が正しいこと					
		字名	内容が正しいこと					
		地目コード	内容が正しいこと					
		農地面積	-					
		混在地目コード	内容が正しいこと					
		混在地目面積	-					
		傾斜度(傾斜)	-					
		傾斜度(勾配)	-					
	農地団地コード	内容が正しいこと						
	非定量的属性の正確性	都道府県コード	-					
		市町村コード	-					
		圃区コード	-					
		圃区コード枝番	-					
		農振地域コード	-					
		字名	内容が正しいこと					
		地目コード	-					
		農地面積	-					
		混在地目コード	-					
		混在地目面積	-					
		傾斜度(傾斜)	-					
		傾斜度(勾配)	-					
	農地団地コード	-						
	定量的属性の正確度	都道府県コード	-					
市町村コード		-						
圃区コード		-						
圃区コード枝番	-							
農振地域コード	-							
字名	-							
地目コード	-							
農地面積	内容が正しいこと							
混在地目コード	-							
混在地目面積	内容が正しいこと							
傾斜度(傾斜)	内容が正しいこと							
傾斜度(勾配)	内容が正しいこと							
農地団地コード	-							

大分類		農業生産基盤データ		定義	過去1年間以上作付けをせず、この数年の間に再び耕作する意図がない土地をいう。	元資料	デジタルオルソ画像、既存資料、現地調査結果	
レイヤ名称		耕作放棄地						
種別		ベクター						
形状		面						
取得レベル		B						
縮尺		1/2,500						
ファイル名称		hoki						
項目		項目名	データ型	データ長(バイト)	表記	内容		
属性定義	都道府県コード	PREFCODE	文字	2	前ゼロ	別紙都道府県コード表による。		
	市町村コード	CITYCODE	文字	3	前ゼロ	別紙市町村コード表による。		
	耕作放棄地コード	HOKI	文字	5	前ゼロ	市町村内で概ね北から南に順に番号を1番から振る。		
	耕作放棄地コード枝番	HOKISUB	文字	2	前ゼロ	分掌等で耕作放棄地が変更された場合に用いる。		
	管理コード	KANRICODE	文字	2	前ゼロ	01:放棄地、02:農地復旧、03:林地化 H13から02農地復旧は使用しないこととする。		
	面積	AREA	実数	8	小数第1位	単位:m		
	調査年月日	EXAMDATE	文字	8	前ゼロ	西暦(YYYYMMDD形式) YYYY:1900~2001, MM:01~12, DD:01~31		
	元資料	MATERIAL	文字	40	-	使用した元資料の名称。		
	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-
品質要素		要求品質		品質検査方法		適合水準		
完全性	過剰	過剰が無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%		
	漏れ	漏れが無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 漏れ数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%		
論理一貫性	概念一貫性		-		-		-	
	定義域一貫性	都道府県コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%	
		市町村コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		耕作放棄地コード	00001 ~ 99999の範囲内であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		耕作放棄地コード枝番	00 ~ 99の範囲内であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		管理コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		面積	0.1以上であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		調査年月日	有効な日付文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		元資料	有効な全角文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	
フォーマット一貫性	シェ - フファイル形式であること。		データをシェ - フファイルを扱えるコンピュータプログラムに読み込み可能かどうか、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100%			
位相一貫性	面図形同士が重複しないこと。		データを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 重複箇所 ÷ 総数 × 100%			
位置正確度	絶対または外部正確度	縮尺1/2,500において、デジタルオルソ画像とのズレが、±1.75mまたはこれに相当する画素数以内であること。		データとデジタルオルソ画像とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = ズレ超過箇所数 ÷ 総数 × 100%		
	相対または内部正確度	-		-		-		
	グリッドデータ位置正確度	-		-		-		
時間正確度	時間測定正確度	-		-		-		
	時間一貫性	-		-		-		
	時間妥当性	-		-		-		
主題正確度	分類の正確性	都道府県コード	内容が正しいこと		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%	
		市町村コード	内容が正しいこと					
		耕作放棄地コード	内容が正しいこと					
		耕作放棄地コード枝番	内容が正しいこと					
		管理コード	内容が正しいこと					
		面積	-					
		調査年月日	-					
		元資料	-					
		-	-					
		-	-					
非定量的属性の正確性	都道府県コード	-		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%		
	市町村コード	-						
	耕作放棄地コード	-						
	耕作放棄地コード枝番	-						
	管理コード	-						
	面積	-						
	調査年月日	内容が正しいこと						
	元資料	内容が正しいこと						
	-	-						
	-	-						
定量的属性の正確度	都道府県コード	-		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%		
	市町村コード	-						
	耕作放棄地コード	-						
	耕作放棄地コード枝番	-						
	管理コード	-						
	面積	内容が正しいこと						
	調査年月日	-						
	元資料	-						
	-	-						
	-	-						

大分類		農業生産基盤データ		定義	傾斜を代表する傾斜の位置および方向を示すものをいう。	元資料	デジタルオルソ画像、数値地形標高	
レイヤ名称		傾斜測線						
種別		ベクター						
形状		線						
取得レベル		B						
縮尺		1/2,500						
ファイル名称		keisha						
属性定義	項目	項目名	データ型	データ長(バイト)	表記	内容		
	傾斜測線コード	KEISHA	文字	5	前ゼロ	対象傾斜測線の傾斜コードと対応するように付番する。		
	傾斜測線コード	HOKU	文字	5	前ゼロ	当該傾斜測線の含まれる傾斜コード		
	傾斜測線コード枝番	HOKUSUB	文字	2	前ゼロ	当該傾斜測線の含まれる傾斜コード枝番		
	元資料	MATERIAL	文字	40		使用した元資料の名称。		
	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-		
品質要素		要求品質			品質検査方法		適合水準	
完全性	過剰	過剰が無いこと。			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5% 誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%	
	漏れ	漏れが無いこと。			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5% 誤率 = 漏れ数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%	
論理一貫性	概念一貫性		-			-		-
	定義域一貫性	傾斜測線コード	00001 ~ 99999の範囲内であること。			データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率: 0% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%
		傾斜測線コード	00001 ~ 99999の範囲内であること。			データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		傾斜測線コード枝番	00 ~ 99の範囲内であること。			データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		元資料	有効な全角文字列であること。			データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		-	-			-		
		-	-			-		
		-	-			-		
		-	-			-		
	フォーマット一貫性		シェ - ブファイル形式であること。			データをシェ - ブファイルを読み込み可能なコンピュータプログラムに読み込み可能かどうか、全数検査する。		誤率: 0% 誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100%
位相一貫性		標高の高い方から低い方に向けて取得されていること。			データと地形標高データとを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5% 誤率 = 方向誤り数 ÷ 総数 × 100%	
位置正確度	絶対または外部正確度		-			-		
	相対または内部正確度		傾斜測線内に含まれること。			データと傾斜測線データとを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5% 誤率 = ズレ超過箇所数 ÷ 総数 × 100%
	グリッドデータ位置正確度		-			-		
時間正確度	時間測定正確度		-			-		
	時間一貫性		-			-		
	時間妥当性		-			-		
主題正確度	分類の正確性	傾斜測線コード	内容が正しいこと			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%
		傾斜測線コード	内容が正しいこと					
		傾斜測線コード枝番	内容が正しいこと					
		元資料	-					
		-	-					
		-	-					
	非定量的属性の正確性	傾斜測線コード	-					
		傾斜測線コード	-					
		傾斜測線コード枝番	-					
		元資料	内容が正しいこと					
		-	-					
		-	-					
	定量的属性の正確度	傾斜測線コード	-					
		傾斜測線コード	-					
		傾斜測線コード枝番	-					
		元資料	-					
		-	-					
		-	-					

大分類 農業生産基盤データ			定義	データ長(バイト)	表記	元資料	内容	
レイヤ名称	種別	形状						
レイヤ名称	農地団地	ベクター						
種別	面							
取得レベル	B							
縮尺	1/2,500							
ファイル名称	nochi							
属性定義	項目	項目名	データ型	データ長(バイト)	表記	元資料	内容	
	都道府県コード	PREFCODE	文字	2	前ゼロ		別紙都道府県コード表による。	
	市町村コード	CITYCODE	文字	3	前ゼロ		別紙市町村コード表による。	
	農地団地コード	DANCHI	文字	4	前ゼロ		市町村内で概ね北から南に順に番号を1番から振る。	
	農地団地面積	AREA	実数	8	小数第1位		単位: m	
	平均傾斜度(傾斜)	GRADIENT1	実数	8	小数第1位		度単位	
	平均傾斜度(勾配)	GRADIENT2	実数	8	小数第1位		分子を1とする分数単位	
	元資料	MATERIAL	文字	40			使用した元資料の名称。	
	-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	
品質要素	要求品質			品質検査方法		適合水準		
完全性	過剰	過剰が無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5% 誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%		
	漏れ	漏れが無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5% 誤率 = 漏れ数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%		
論理一貫性	概念一貫性	-		-		-		
	定義域一貫性	都道府県コード	規定のコードの範囲内であること。	データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率: 0% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%		
		市町村コード	規定のコードの範囲内であること。	データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。				
		農地団地コード	0001 - 9999の範囲内であること。	データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。				
		農地団地面積	0.1以上であること。	データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。				
		平均傾斜度(傾斜)	0.0 - 90.0の範囲内であること。	データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。				
		平均傾斜度(勾配)	0.1以上の値であること。	データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。				
		元資料	有効な全角文字列であること。	データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。				
		-	-	-	-			-
		-	-	-	-			-
	フォーマット一貫性	シェ - ブファイル形式であること。		データをシェ - ブファイルを扱えるコンピュータプログラムに読み込み可能かどうか、全数検査する。		誤率: 0% 誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100%		
	位相一貫性	面図形同士が重複しないこと。		データを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率: 0% 誤率 = 重複箇所 ÷ 総数 × 100%		
位置正確度	絶対または外部正確度	縮尺1/2,500において、デジタルオルソ画像とのズレが、±1.75mまたはこれに相当する画素数内であること。		データとデジタルオルソ画像とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5% 誤率 = ズレ超過箇所数 ÷ 総数 × 100%		
	相対または内部正確度	-		-		-		
	グリッドデータ位置正確度	-		-		-		
時間正確度	時間測定正確度	-		-		-		
	時間一貫性	-		-		-		
	時間妥当性	-		-		-		
主題正確度	分類の正確性	都道府県コード	内容が正しいこと	データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%		
		市町村コード	内容が正しいこと					
		農地団地コード	内容が正しいこと					
		農地団地面積	-					
		平均傾斜度(傾斜)	-					
		平均傾斜度(勾配)	-					
		元資料	-					
		-	-					
		-	-					
	非定量的属性の正確性	都道府県コード	-					
		市町村コード	-					
		農地団地コード	内容が正しいこと					
		農地団地面積	-					
		平均傾斜度(傾斜)	-					
		平均傾斜度(勾配)	-					
		元資料	内容が正しいこと					
		-	-					
		-	-					
定量的属性の正確度	都道府県コード	-						
	市町村コード	-						
	農地団地コード	-						
	農地団地面積	内容が正しいこと						
	平均傾斜度(傾斜)	内容が正しいこと						
	平均傾斜度(勾配)	内容が正しいこと						
	元資料	-						
	-	-						
	-	-						

大分類		農業生産基盤データ		定義	元資料	デジタルオルソ画像	
レイヤ名称	道路	種別	ベクター				
取得レベル	B <th>形状</th> <td>線 <th>縮尺</th> <td>1/2,500 <th>ファイル名称</th> <td>doro </td></td></td>	形状	線 <th>縮尺</th> <td>1/2,500 <th>ファイル名称</th> <td>doro </td></td>	縮尺	1/2,500 <th>ファイル名称</th> <td>doro </td>	ファイル名称	doro
属性定義		項目	項目名	データ型	データ長(バイト)	表記	内容
属性定義	都道府県コード	PREFCODE	文字	2	前ゼロ	別紙都道府県コード表による。	
	市町村コード	CITYCODE	文字	3	前ゼロ	別紙市町村コード表による。	
	施設コード	FACILITIESCODE	(検討項目)	(検討項目)	(検討項目)	(検討項目)	既存台帳およびデータベースを参照するための施設コード。(検討項目)
	種類コード	TYPECODE	文字	2	前ゼロ	01:高速自動車国道、02:国道、03:都道府県道、04:市町村道、05:農道、06:林道、07:漁港関連道、08:その他	
	全幅員コード	WIDTHCODE	文字	2	前ゼロ	対象路線または区間の代表的な全幅員に基づき(01:7.0m以上、02:7.0m未満4.0m以上、03:その他)	
	管理者コード	ADMINCODE	文字	2	前ゼロ	01:国、02:都道府県、03:市町村、04:土地改良区、05:その他	
	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-
品質要素		要求品質			品質検査方法		適合水準
完全性	過剰	過剰が無いこと。			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%
	漏れ	漏れが無いこと。			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 漏れ数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%
論理一貫性	概念一貫性		-		-		-
	定義域一貫性	都道府県コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%
		市町村コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		施設コード	(検討項目)		(検討項目)		
		種類コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		全幅員コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		管理者コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	
フォーマット一貫性		シェ - プファイル形式であること。		データをシェ - プファイルを扱えるコンピュータプログラムに読み込み可能かどうか、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100%	
位相一貫性		-		-		-	
位置正確度	絶対または外部正確度	-		-		-	
	相対または内部正確度	縮尺1/2,500において、デジタルオルソ画像での道路内にあること。		データとデジタルオルソ画像とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = ズレ超過箇所数 ÷ 総数 × 100%	
	グリッドデータ位置正確度	-		-		-	
時間正確度	時間測定正確度	-		-		-	
	時間一貫性	-		-		-	
	時間妥当性	-		-		-	
主題正確度	分類の正確性	都道府県コード	内容が正しいこと		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:誤率:2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%
		市町村コード	内容が正しいこと				
		施設コード	(検討項目)				
		種類コード	内容が正しいこと				
		全幅員コード	内容が正しいこと				
		管理者コード	内容が正しいこと				
	-	-	-	-			
	-	-	-	-			
	-	-	-	-			
	-	-	-	-			
	-	-	-	-			
	-	-	-	-			
	-	-	-	-			
	-	-	-	-			
	-	-	-	-			
	-	-	-	-			
	-	-	-	-			
	非定量的属性の正確性	都道府県コード	-				
市町村コード		-					
施設コード		-					
種類コード		-					
全幅員コード		-					
管理者コード		-					
-	-	-	-				
-	-	-	-				
-	-	-	-				
-	-	-	-				
-	-	-	-				
-	-	-	-				
定量的属性正確度	都道府県コード	-		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:誤率:2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%	
	市町村コード	-					
	施設コード	-					
	種類コード	-					
	全幅員コード	-					
	管理者コード	-					
-	-	-	-				
-	-	-	-				
-	-	-	-				
-	-	-	-				
-	-	-	-				
-	-	-	-				

大分類		農業生産基盤データ		定義	主として農業用水路として使用されている開水路 又はパイプライン	元資料	デジタルオルソ画像および既存資料
レイヤ名称		用水路					
種別		ベクター					
形状		線					
取得レベル		B					
縮尺		1/2,500					
ファイル名称		yosui					
項目		項目名	データ型	データ長(バイト)	内容		
属性定義	都道府県コード	PREFCODE	文字	2	前ゼロ	別紙都道府県コード表による。	
	市町村コード	CITYCODE	文字	3	前ゼロ	別紙市町村コード表による。	
	施設コード	FACILITIESCODE	(検討項目)	(検討項目)	(検討項目)	既存台帳およびデータベースを参照するための施設コード。(検討項目)	
	種類コード	TYPECODE	文字	2	前ゼロ	01:開水路、02:パイプライン、03:その他	
	名称	NAME	文字	50		農業用水路の名称。	
	幅員コード	WIDTHCODE	文字	2	前ゼロ	01:水路幅5.0m以上または管直径1.2m以上、02:水路幅2.5m以上5.0m未満または管直径0.6m以上1.2m未満、03:その他	
	幅員	WIDTH	文字	6	前ゼロ	農業用水路の幅員。単位は、開水路はcm、パイプラインはmmとする。	
	管理者コード	ADMINCODE	文字	2	前ゼロ	01:国、02:都道府県、03:市町村、04:土地改良区、05:その他	
	元資料	MATERIAL	文字	40		使用した元資料の名称。	
	-	-	-	-	-	-	-
品質要素				要求品質	品質検査方法	適合水準	
完全性	過剰	過剰が無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%	
	漏れ	漏れが無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 漏れ数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%	
論理一貫性	概念一貫性	-		-		-	
	定義域一貫性	都道府県コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%
		市町村コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		施設コード	(検討項目)		(検討項目)		
		種類コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		名称	有効な全角文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		幅員コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		幅員	0以上であること		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		管理者コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		元資料	有効な全角文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	
フォーマット一貫性	シェ - プファイル形式であること。		データをシェ - プファイルを扱えるコンピュータプログラムに読み込み可能かどうか、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100%		
位相一貫性	流水方向に沿って取得されていること。		データとデジタルオルソ画像とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:0% 誤率 = 方向誤り数 ÷ 総数 × 100%		
位置正確度	絶対または外部正確度	-		-		-	
	相対または内部正確度	縮尺1/2,500において、デジタルオルソ画像での用水路内にあること。		データとデジタルオルソ画像とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = ズレ超過箇所数 ÷ 総数 × 100%	
	グリッドデータ位置正確度	-		-		-	
時間正確度	時間測定正確度	-		-		-	
	時間一貫性	-		-		-	
	時間妥当性	-		-		-	
主題正確度	分類の正確性	都道府県コード	内容が正しいこと		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%
		市町村コード	内容が正しいこと				
		施設コード	(検討項目)				
		種類コード	内容が正しいこと				
		名称	-				
		幅員コード	内容が正しいこと				
		幅員	-				
		管理者コード	内容が正しいこと				
		元資料	-				
	-	-					
	-	-					
	-	-					
	-	-					
	-	-					
	-	-					
	-	-					
	非定量的属性の正確性	都道府県コード	-				
		市町村コード	-				
施設コード		-					
種類コード		-					
名称		内容が正しいこと					
幅員コード		-					
幅員	-						
管理者コード	-						
元資料	内容が正しいこと						
-	-						
-	-						
-	-						
-	-						
定量的属性の正確度	都道府県コード	-					
	市町村コード	-					
	施設コード	-					
	種類コード	-					
	名称	-					
	幅員コード	-					
幅員	内容が正しいこと						
管理者コード	-						
元資料	-						
-	-						
-	-						
-	-						
-	-						

大分類		農業生産基盤データ		定義	主として農業排水路として使用されている開水路又はパイプライン	元資料	デジタルオルソ画像および既存資料			
レイヤ名称	排水路	種別	ベクター							
形状	線	取得レベル	B	縮尺	1/2,500	ファイル名称	haisui			
属性定義		項目	項目名	データ型	データ長(バイト)	内容				
属性定義	都道府県コード	PREFCODE	文字	2	前ゼロ	別紙都道府県コード表による。				
	市町村コード	CITYCODE	文字	3	前ゼロ	別紙市町村コード表による。				
	施設コード	FACILITIESCODE	(検討項目)	(検討項目)	(検討項目)	(検討項目)	既存台帳およびデータベースを参照するための施設コード。(検討項目)			
	種類コード	TYPECODE	文字	2	前ゼロ	01:開水路、02:その他				
	名称	NAME	文字	50		農業排水路の名称				
	幅員コード	WIDTHCODE	文字	2	前ゼロ	01:水路幅5.0m以上、02:水路幅2.5m以上5.0m未満、03:その他				
	幅員	WIDTH	文字	6	小数第1位	農業排水路の幅員。単位は、開水路はcm、パイプラインはmmとする。				
	管理者コード	ADMICODE	文字	2	前ゼロ	01:国、02:都道府県、03:市町村、04:土地改良区、05:その他				
	元資料	MATERIAL	文字	40		使用した元資料の名称。				
	-	-	-	-	-	-	-			
品質要素				要求品質		品質検査方法		適合水準		
完全性	過剰	過剰が無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5%		誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%		
	漏れ	漏れが無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5%		誤率 = 漏れ数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%		
論理一貫性	概念一貫性	-		-		-		-		
	定義域一貫性	都道府県コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		-		-	
		市町村コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		-		-	
		施設コード	(検討項目)		(検討項目)		-		-	
		種類コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		-		-	
		名称	有効な全角文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		-		-	
		幅員コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		-		-	
		幅員	0以上であること		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		-		誤率: 0%	
		管理者コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		-		誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%	
	元資料	有効な全角文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		-		-		
-	-	-	-	-	-	-		-		
-	-	-	-	-	-	-		-		
-	-	-	-	-	-	-		-		
-	-	-	-	-	-	-		-		
-	-	-	-	-	-	-		-		
フォーマット一貫性	シェ - ブファイル形式であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率: 0%		誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100%	
位相一貫性	流水方向に沿って取得されていること。		データとデジタルオルソ画像とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		データとデジタルオルソ画像とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5%		誤率 = 方向誤り数 ÷ 総数 × 100%	
位置正確度	絶対または外部正確度	-		-		-		-		
	相対または内部正確度	縮尺1/2,500において、デジタルオルソ画像での排水路内にあること。		データとデジタルオルソ画像とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5%		誤率 = ズレ超過箇所数 ÷ 総数 × 100%		
	クリッドデータ位置正確度	-		-		-		-		
時間正確度	時間測定正確度	-		-		-		-		
	時間一貫性	-		-		-		-		
	時間妥当性	-		-		-		-		
主題正確度	分類の正確性	都道府県コード	内容が正しいこと		-		-		-	
		市町村コード	内容が正しいこと		-		-		-	
		施設コード	(検討項目)		(検討項目)		-		-	
		種類コード	内容が正しいこと		-		-		-	
		名称	-		-		-		-	
		幅員コード	内容が正しいこと		-		-		-	
		幅員	-		-		-		-	
		管理者コード	内容が正しいこと		-		-		-	
		元資料	-		-		-		-	
	-	-	-	-	-	-	-		-	
	-	-	-	-	-	-	-		-	
	-	-	-	-	-	-	-		-	
	-	-	-	-	-	-	-		-	
	-	-	-	-	-	-	-		-	
	-	-	-	-	-	-	-		-	
	-	-	-	-	-	-	-		-	
	-	-	-	-	-	-	-		-	
	非定量的属性の正確性	都道府県コード	-		-		-		-	
市町村コード		-		-		-		-		
施設コード		-		-		-		-		
種類コード		-		-		-		-		
名称		内容が正しいこと		-		-		-		
幅員コード		-		-		-		-		
幅員		-		-		-		-		
管理者コード		-		-		-		-		
元資料		内容が正しいこと		-		-		-		
-	-	-	-	-	-	-		-		
-	-	-	-	-	-	-		-		
-	-	-	-	-	-	-		-		
-	-	-	-	-	-	-		-		
-	-	-	-	-	-	-		-		
-	-	-	-	-	-	-		-		
-	-	-	-	-	-	-		-		
-	-	-	-	-	-	-		-		
定量的属性の正確度	都道府県コード	-		-		-		-		
	市町村コード	-		-		-		-		
	施設コード	-		-		-		-		
	種類コード	-		-		-		-		
	名称	-		-		-		-		
	幅員コード	-		-		-		-		
	幅員	-		-		-		-		
	管理者コード	-		-		-		-		
	元資料	-		-		-		-		
-	-	-	-	-	-	-		-		
-	-	-	-	-	-	-		-		
-	-	-	-	-	-	-		-		
-	-	-	-	-	-	-		-		
-	-	-	-	-	-	-		-		
-	-	-	-	-	-	-		-		
-	-	-	-	-	-	-		-		

大分類		農業生産基盤データ		定義	元資料	デジタルオルソ画像、農道・流通拠点状況調査における農道位置データ(農林水産省農村振興局土地改良企画課計画調整室が整備している)	
レイヤ名称	種別	形状	取得レベル				
	農道	ベクター	線				
			B				
			縮尺 1/2,500				
			ファイル名称	nodo			
属性定義	項目	項目名	データ型	データ長(バイト)	内容		
	-	-	-	-	農道・流通拠点状況調査実施要領と同項目		
	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-		
品質要素		要求品質		品質検査方法		適合水準	
完全性	過剰	過剰が無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5%	
	漏れ	漏れが無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100% 誤率: 2.5%	
論理一貫性	概念一貫性	-		-		-	
	定義域一貫性	-	-		-		-
		-	-		-		-
		-	-		-		-
		-	-		-		-
		-	-		-		-
		-	-		-		-
		-	-		-		-
		-	-		-		-
	フォーマット一貫性	シェ - プファイル形式であること。		データをシェ - プファイルを扱えるコンピュータプログラムに読み込み可能かどうか、全数検査する。		誤率: 0% 誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100%	
位相一貫性	-		-		-		
位置正確度	絶対または外部正確度	-		-		-	
	相対または内部正確度	縮尺1/2,500において、デジタルオルソ画像での農道内にあること。		データとデジタルオルソ画像とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5% 誤率 = ズレ超過箇所数 ÷ 総数 × 100%	
	グリッドデータ位置正確度	-		-		-	
時間正確度	時間測定正確度	-		-		-	
	時間一貫性	-		-		-	
	時間妥当性	-		-		-	
主題正確度	分類の正確性	-	-		-		-
		-	-		-		-
		-	-		-		-
		-	-		-		-
		-	-		-		-
		-	-		-		-
		-	-		-		-
		-	-		-		-
	非定量的属性の正確性	-	-		-		-
		-	-		-		-
定量的属性正確度	-	-		-		-	
	-	-		-		-	
	-	-		-		-	
	-	-		-		-	
	-	-		-		-	
	-	-		-		-	
	-	-		-		-	
	-	-		-		-	

大分類		定義	農業用排水のための利用に供されている農業用排水施設及び農地防災ダム、特定多目的ダム法による多目的ダム、水資源開発公団法による水資源開発施設及び河川管理施設であって農業側の負担を伴うもの。これらのうち、その受益農地面積がおおむね100ha以上のもの。	元資料	デジタルオルソ画像、基幹水利施設整備状況調査の用排水路位置データ(農林水産省農村振興局土地改良企画課計画調整室が整備している)			
レイヤ名称								
種別								
形状								
取得レベル								
縮尺								
ファイル名称								
項目		項目名	データ型	データ長(バイト)	内容			
属性定義					基幹水利施設整備状況調査実施要領と同項目			
品質要素		要求品質		品質検査方法		適合水準		
完全性	過剰	過剰が無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5%		
	漏れ	漏れが無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%		
論理一貫性	概念一貫性		-		-		-	
	定義域一貫性							
	フォーマット一貫性		シェ - ブファイル形式であること。		データをシェ - ブファイルを扱えるコンピュータプログラムに読み込み可能かどうか、全数検査する。		誤率: 0%	
位相一貫性		-		-		-		
位置正確度	絶対または外部正確度		-		-		-	
	相対または内部正確度		縮尺1/2,500において、デジタルオルソ画像での用排水路内にあること。		データとデジタルオルソ画像とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5%	
	グリッドデータ位置正確度		-		-		誤率 = ゼロ超過箇所数 ÷ 総数 × 100%	
時間正確度	時間測定正確度		-		-		-	
	時間一貫性		-		-		-	
	時間妥当性		-		-		-	
主題正確度	分類の正確性							
	非定量的属性の正確性							
定量的属性の正確度								

大分類		定義	農業用排水のための利用に供されている農業用排水施設及び農地防災ダム、特定多目的ダム法による多目的ダム、水資源開発公団法による水資源開発施設及び河川管理施設であって農業側の負担を伴うもの。これらのうち、その受益農地面積がおおむね100ha以上のもの。	元資料	デジタルオルソ画像、基幹水利施設データの施設位置(農林水産省農村振興局土地改良企画課計画調整室が整備している)
レイヤ名称					
種別					
形状					
取得レベル					
縮尺					
ファイル名称					
項目		項目名	データ型	データ長(バイト)	内容
属性定義					基幹水利施設整備状況調査実施要領と同項目
品質要素		要求品質	品質検査方法	適合水準	
完全性	過剰	過剰が無いこと。	データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。	誤率: 2.5% 誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 過剰数) × 100%	
	漏れ	漏れが無いこと。	データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。	誤率: 2.5% 誤率 = 漏れ数 ÷ (総数 + 漏れ数 + 過剰数) × 100%	
論理一貫性	概念一貫性	-	-	-	
	定義域一貫性		-	-	-
			-	-	-
			-	-	-
			-	-	-
			-	-	-
			-	-	-
			-	-	-
			-	-	-
	フォーマット一貫性	シェ - ブファイル形式であること。	データをシェ - ブファイルを扱えるコンピュータプログラムに読み込み可能かどうか、全数検査する。	誤率: 0% 誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100%	
位相一貫性	-	-	-		
位置正確度	絶対または外部正確度	-	-	-	
	相対または内部正確度	縮尺1/2,500において、デジタルオルソ画像での施設内にあること。	データとデジタルオルソ画像とを、目視により対比し、サンプリング検査する。	誤率: 2.5% 誤率 = ズレ超過箇所数 ÷ 総数 × 100%	
	グリッドデータ位置正確度	-	-	-	
時間正確度	時間測定正確度	-	-	-	
	時間一貫性	-	-	-	
	時間妥当性	-	-	-	
主題正確度	分類の正確性				
	非定量的属性の正確性				
定量的属性の正確度					

大分類		農業生産基盤データ		定義	ため池台帳に記載されているため池のうち、1000以上の貯水量を持つもの。	元資料	デジタルオルソ画像、ため池防災データベースのため池位置(農林水産省農村振興局防災課及び各県で整備している)
レイヤ名称		ため池					
種別		ベクター					
形状		点					
取得レベル		B					
縮尺		1/2,500					
ファイル名称		tameike					
属性定義	項目	項目名	データ型	データ長(バイト)		内容	
	-	-	-	-	-	ため池防災DB整備実施要領と同項目	
	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-		
品質要素		要求品質		品質検査方法		適合水準	
完全性	過剰	過剰が無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5% 誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 過剰数) × 100%	
	漏れ	漏れが無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5% 誤率 = 漏れ数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%	
論理一貫性	概念一貫性	-		-		-	
	定義域一貫性	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	
	フォーマット一貫性	シェ - プファイル形式であること。		データをシェ - プファイルを扱えるコンピュータプログラムに読み込み可能かどうか、全数検査する。		誤率: 0% 誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100%	
位相一貫性	-		-		-		
位置正確度	絶対または外部正確度	-		-		-	
	相対または内部正確度	縮尺1/2,500において、デジタルオルソ画像でのため池内にあること。		データとデジタルオルソ画像とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5% 誤率 = ズレ超過箇所数 ÷ 総数 × 100%	
	グリッドデータ位置正確度	-		-		-	
時間正確度	時間測定正確度	-		-		-	
	時間一貫性	-		-		-	
	時間妥当性	-		-		-	
主題正確度	分類の正確性	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	
	非定量的属性の正確性	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	
定量的属性の正確度	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-		

大分類		農村生活環境基盤データ		定義	データ長(バイト)	表記	元資料	デジタルオルソ画像及び既存資料、現地調査結果	
レイヤ名称	種別	形状	取得レベル						
レイヤ名称	農業集落道	ベクター	B						
種別	農業集落道	ベクター	B						
形状	線								
取得レベル	B								
縮尺	1/2,500								
ファイル名称	shurakudo								
属性定義		項目	項目名	データ型	データ長(バイト)	表記	内容		
属性定義	都道府県コード	PREFCODE	文字	2	前ゼロ	別紙都道府県コード表による。			
	市町村コード	CITYCODE	文字	3	前ゼロ	別紙市町村コード表による。			
	種類コード	SHURUJ	文字	2	前ゼロ	01:集落間連絡道、02:連絡取付道路、03:集落幹線道路、04:集落生活道路、05:外周道路			
	幅員	FKUJIN	実数	4	小数第1位	単位:m 対象路線または区間の代表的な全幅員に基づく			
	延長	ENCHO	実数	4	小数第1位	単位:m			
	管理者コード	ADMINCODE	文字	2	前ゼロ	01:国、02:都道府県、03:市町村、04:土地改良区、05:その他			
	元資料	MATERIAL	文字	40		使用した元資料の名称。			
	-	-	-	-	-	-			
	-	-	-	-	-	-			
	-	-	-	-	-	-			
品質要素		要求品質				品質検査方法		適合水準	
完全性	過剰	過剰が無いこと。				データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%	
	漏れ	漏れが無いこと。				データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 漏れ数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%	
論理一貫性	概念一貫性		-				-		-
	定義域一貫性	都道府県コード	規定のコードの範囲内であること。				データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%
		市町村コード	規定のコードの範囲内であること。				データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		種類コード	規定のコードの範囲内であること。				データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		幅員	0以上であること。				データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		延長	0.1以上であること。				データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		管理者コード	規定のコードの範囲内であること。				データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		元資料	有効な全角文字列であること。				データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		-	-				-		
	フォーマット一貫性	シェ - プファイル形式であること。				データをシェ - プファイルを扱えるコンピュータプログラムに読み込み可能かどうか、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100%	
位相一貫性	-				-		-		
位置正確度	絶対または外部正確度	-				-		-	
	相対または内部正確度	縮尺1/2,500において、デジタルオルソ画像での道路内にあること。				データとデジタルオルソ画像とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = ズレ超過箇所数 ÷ 総数 × 100%	
	グリッドデータ位置正確度	-				-		-	
時間正確度	時間測定正確度	-				-		-	
	時間一貫性	-				-		-	
	時間妥当性	-				-		-	
主題正確度	分類の正確性	都道府県コード	内容が正しいこと				データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%
		市町村コード	内容が正しいこと						
		種類コード	内容が正しいこと						
		幅員	-						
		延長	-						
		管理者コード	内容が正しいこと						
		元資料	-						
		-	-						
		-	-						
	非定量的属性の正確性	都道府県コード	-						
		市町村コード	-						
		種類コード	-						
		幅員	-						
		延長	-						
		管理者コード	-						
		元資料	内容が正しいこと						
		-	-						
		-	-						
定量的属性の正確度	都道府県コード	-							
	市町村コード	-							
	種類コード	-							
	幅員	内容が正しいこと							
	延長	内容が正しいこと							
	管理者コード	-							
	元資料	-							
	-	-							
	-	-							

大分類 農村生活環境基盤データ			定義	データ長(バイト)	表記	内容		
レイヤ名称	種別	形状						
レイヤ名称	ベクター	点				デジタルオルソ画像及び既存資料		
取得レベル	A							
縮尺	1/2,500							
ファイル名称	inyosisetu							
属性定義	項目	項目名	データ型	データ長(バイト)	表記	内容		
	都道府県コード	PREFCODE	文字	2	前ゼロ	別紙都道府県コード表による。		
	市町村コード	CITYCODE	文字	3	前ゼロ	別紙市町村コード表による。		
	名称	NAME	文字	20		施設の名称		
	種類コード	TYPECODE	文字	2	前ゼロ	01:管農飲雑用水、02:上水道、03:簡易水道、04:その他		
	分類コード	CLASSCODE	文字	2	前ゼロ	01:取水、02:貯水、03:濾水、04:浄水、05:送水、06:排水、07:その他		
	設備コード	EQUIPCODE	文字	2	前ゼロ	01:せき、02:貯水槽、03:ポンプ、04:配水池、05:その他		
	管理者コード	ADMINCODE	文字	2	前ゼロ	01:国、02:都道府県、03:市町村、04:土地改良区、05:その他		
	元資料	MATERIAL	文字	40		使用した元資料の名称。		
	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-		
品質要素	要求品質			品質検査方法		適合水準		
完全性	過剰	過剰が無いこと。			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%	
	漏れ	漏れが無いこと。			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 漏れ数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%	
論理一貫性	概念一貫性	-			-		-	
	定義域一貫性	都道府県コード	規定のコードの範囲内であること。			データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%
		市町村コード	規定のコードの範囲内であること。			データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		名称	有効な全角文字列であること。			データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		種類コード	規定のコードの範囲内であること。			データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		分類コード	規定のコードの範囲内であること。			データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		設備コード	規定のコードの範囲内であること。			データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		管理者コード	規定のコードの範囲内であること。			データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		元資料	有効な全角文字列であること。			データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		-	-			-		
-	-			-				
フォーマット一貫性	シェ - プファイル形式であること。			データをシェ - プファイルを扱えるコンピュータプログラムに読み込み可能かどうか、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100%		
位相一貫性	-			-		-		
位置正確度	絶対または外部正確度	元資料の縮尺において、元資料とのズレが図上0.7mm以内であること。			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = ズレ超過箇所数 ÷ 総数 × 100%	
	相対または内部正確度	-			-		-	
	グリッドデータ位置正確度	-			-		-	
時間正確度	時間測定正確度	-			-		-	
	時間一貫性	-			-		-	
	時間妥当性	-			-		-	
主題正確度	分類の正確性	都道府県コード	内容が正しいこと			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%
		市町村コード	内容が正しいこと					
		名称	-					
		種類コード	内容が正しいこと					
		分類コード	内容が正しいこと					
		設備コード	内容が正しいこと					
		管理者コード	内容が正しいこと					
		元資料	内容が正しいこと					
		-	-					
		-	-					
	非定量的属性の正確性	都道府県コード	-					
		市町村コード	-					
		名称	内容が正しいこと					
		種類コード	-					
		分類コード	-					
		設備コード	-					
		管理者コード	-					
		元資料	内容が正しいこと					
		-	-					
		-	-					
定量的属性の正確度	都道府県コード	-						
	市町村コード	-						
	名称	-						
	種類コード	-						
	分類コード	-						
	設備コード	-						
	管理者コード	-						
	元資料	-						
	-	-						
	-	-						

大分類 農村生活環境基盤データ			定義	営農飲雑用水、上水道、簡易水道の主要管路を いう。	元資料	デジタルオルソ画像及び既存資料	
レイヤ名称 飲用水供給管路							
種別 ベクター							
形状 線							
取得レベル B							
縮尺 1/2,500							
ファイル名称 inyokan							
項目	項目名	データ型	データ長(バイト)	表記	内容		
属性定義	都道府県コード	PREFCODE	文字	2	前ゼロ	別紙都道府県コード表による。	
	市町村コード	CITYCODE	文字	3	前ゼロ	別紙市町村コード表による。	
	種類コード	TYPECODE	文字	2	前ゼロ	01:営農飲雑用水、02:上水道、03:簡易水道、04:その他	
	分類コード	CLASSCODE	文字	2	前ゼロ	01:取水、02:貯水、03:運水、04:浄水、05:送水、06:排水、07:その他	
	管路名称	NAME	文字	20		管路名称、番号などを記述する	
	管理者コード	ADMINCODE	文字	2	前ゼロ	01:国、02:都道府県、03:市町村、04:土地改良区、05:その他	
	元資料	MATERIAL	文字	40		使用した元資料の名称。	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
品質要素		要求品質		品質検査方法		適合水準	
完全性	過剰	過剰が無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 過剰数) × 100%	
	漏れ	漏れが無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 漏れ数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%	
論理一貫性	概念一貫性		-		-		
	定義域一貫性	都道府県コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%
		市町村コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		種類コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		分類コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		管路名称	有効な全角文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		管理者コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		元資料	有効な全角文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		-	-		-		
	-	-		-			
-	-		-				
フォーマット一貫性		シェ - プファイル形式であること。		データをシェ - プファイルを扱えるコンピュータプログラムに読み込み可能かどうか、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100%	
位相一貫性		-		-		-	
位置正確度	絶対または外部正確度	元資料の縮尺において、元資料とのズレが図上0.7mm以内であること。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = ズレ超過箇所数 ÷ 総数 × 100%	
	相対または内部正確度	-		-		-	
	グリッドデータ位置正確度	-		-		-	
時間正確度	時間測定正確度	-		-		-	
	時間一貫性	-		-		-	
	時間妥当性	-		-		-	
主題正確度	分類の正確性	都道府県コード	内容が正しいこと		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%
		市町村コード	内容が正しいこと				
		種類コード	内容が正しいこと				
		分類コード	内容が正しいこと				
		管路名称	-				
		管理者コード	内容が正しいこと				
		元資料	-				
		-	-				
		-	-				
		-	-				
	非定量的属性の正確性	都道府県コード	-		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%
		市町村コード	-				
		種類コード	-				
		分類コード	-				
		管路名称	内容が正しいこと				
		管理者コード	-				
		元資料	内容が正しいこと				
		-	-				
		-	-				
		-	-				
定量的属性の正確度	都道府県コード	-		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%	
	市町村コード	-					
	種類コード	-					
	分類コード	-					
	管路名称	-					
	管理者コード	-					
	元資料	-					
	-	-					
	-	-					
	-	-					

大分類		農村生活環境基盤データ		定義	集落排水(農業、漁業、林業)、公共下水道等の排水処理区域をいう。	元資料	デジタルオルソ画像及び既存資料	
レイヤ名称		排水処理区						
種別		ベクター						
形状		面						
取得レベル		A						
縮尺		1/2,500						
ファイル名称		shoriku						
属性定義	項目	項目名	データ型	データ長(バイト)	表記	内容		
	都道府県コード	PREFCODE	文字	2	前ゼロ	別紙都道府県コード表による。		
	市町村コード	CITYCODE	文字	3	前ゼロ	別紙市町村コード表による。		
	処理区名	SHORIKU	文字	20		処理区の名称		
	処理分区名	BUNKU	文字	20		処理分区の名称		
	種類コード	TYPECODE	文字	2	前ゼロ	01:農業集落、02:漁業集落、03:林業地域、04:公共下水道、05:流域下水道、06:特定公共、07:特定環境保全、08:その他		
	管理者コード	ADMINCODE	文字	2	前ゼロ	01:国、02:都道府県、03:市町村、04:土地改良区、05:その他		
	元資料	MATERIAL	文字	40		使用した元資料の名称。		
	-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	
品質要素			要求品質		品質検査方法		適合水準	
完全性	過剰	過剰が無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5%		
	漏れ	漏れが無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100% 誤率:2.5%		
論理一貫性	概念一貫性	-		-		-		
	定義域一貫性	都道府県コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%	
		市町村コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		処理区名	有効な全角文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		処理分区名	有効な全角文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		種類コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		管理者コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		元資料	有効な全角文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		-	-		-			
	フォーマット一貫性	シェ - ブファイル形式であること。		データをシェ - ブファイルを読み込むコンピュータプログラムに読み込み可能かどうか、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100%		
位相一貫性	面図形同士が重複しないこと。		データを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 重複箇所 ÷ 総数 × 100%			
位置正確度	絶対または外部正確度	元資料の縮尺において、元資料とのズレが図上0.7mm以内であること。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = ズレ超過箇所数 ÷ 総数 × 100%		
	相対または内部正確度	-		-		-		
	グリッドデータ位置正確度	-		-		-		
時間正確度	時間測定正確度	-		-		-		
	時間一貫性	-		-		-		
	時間妥当性	-		-		-		
主題正確度	分類の正確性	都道府県コード	内容が正しいこと		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%	
		市町村コード	内容が正しいこと					
		処理区名	-					
		処理分区名	-					
		種類コード	内容が正しいこと					
		管理者コード	内容が正しいこと					
		元資料	-					
		-	-					
		-	-					
		-	-					
	-	-						
	非定量的属性の正確性	都道府県コード	-					
		市町村コード	-					
		処理区名	内容が正しいこと					
		処理分区名	内容が正しいこと					
		種類コード	-					
		管理者コード	-					
		元資料	内容が正しいこと					
	-	-						
	-	-						
	-	-						
定量的属性の正確度	都道府県コード	-						
	市町村コード	-						
	処理区名	-						
	処理分区名	-						
-	-							
-	-							
-	-							
-	-							

大分類		農村生活環境基盤データ		定義	集落排水(農業、漁業、林業)、公共下水道等の主要な排水処理施設(ポンプ場等)および合併浄化槽をいう。	元資料	デジタルオルソ画像及び既存資料	
レイヤ名称	排水処理施設	種別	ベクター					
形状	点	取得レベル	A	縮尺	1/2,500	ファイル名称	shorisisetu	
属性定義		項目	項目名	データ型	データ長(バイト)	表記	内容	
属性定義	都道府県コード	PREFCODE	文字	2	前ゼロ	別紙都道府県コード表による。		
	市町村コード	CITYCODE	文字	3	前ゼロ	別紙市町村コード表による。		
	名称	NAME	文字	20		施設の名称		
	種類コード	TYPECODE	文字	2	前ゼロ	01:農業集落、02:漁業集落、03:林業地域、04:公共下水道、05:流域下水道、06:特定公共、07:特定環境保全、08:その他		
	設備コード	EQUIPCODE	文字	2	前ゼロ	01:ポンプ場、02:合併浄化槽、03:その他		
	計画人口	POPUL	実数	6		計画人口		
	管理者コード	ADMINCODE	文字	2	前ゼロ	01:国、02:都道府県、03:市町村、04:土地改良区、05:その他		
	元資料	MATERIAL	文字	40		使用した元資料の名称。		
	-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	
品質要素		要求品質			品質検査方法		適合水準	
完全性	過剰	過剰が無いこと。			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 過剰数) × 100%	
	漏れ	漏れが無いこと。			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 漏れ数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%	
論理一貫性	概念一貫性		-		-		-	
	定義域一貫性	都道府県コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%	
		市町村コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		名称	有効な全角文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		種類コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		設備コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		計画人口	0以上であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		管理者コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		元資料	有効な全角文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
	-	-		-		-		
-	-		-		-			
フォーマット一貫性		シェ - ブファイル形式であること。		データをシェ - ブファイルを扱えるコンピュータプログラムに読み込み可能かどうか、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100%		
位相一貫性		-		-		-		
位置正確度	絶対または外部正確度		元資料の縮尺において、元資料とのズレが図上0.7mm以内であること。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = ズレ超過箇所数 ÷ 総数 × 100%	
	相対または内部正確度		-		-		-	
	グリッドデータ位置正確度		-		-		-	
時間正確度	時間測定正確度		-		-		-	
	時間一貫性		-		-		-	
	時間妥当性		-		-		-	
主題正確度	分類の正確性	都道府県コード	内容が正しいこと		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%	
		市町村コード	内容が正しいこと					
		名称	-					
		種類コード	内容が正しいこと					
		設備コード	内容が正しいこと					
		計画人口	-					
		管理者コード	内容が正しいこと					
		元資料	-					
		-	-					
		-	-					
	-	-						
	-	-						
	-	-						
	-	-						
	-	-						
	-	-						
	-	-						
	非定量的属性の正確性	都道府県コード	-					
		市町村コード	-					
		名称	内容が正しいこと					
種類コード		-						
設備コード		-						
計画人口		-						
管理者コード		-						
元資料		内容が正しいこと						
-		-						
-		-						
定量的属性の正確度	都道府県コード	-						
	市町村コード	-						
	名称	-						
	種類コード	-						
	設備コード	-						
	計画人口	内容が正しいこと						
	管理者コード	-						
	元資料	-						
	-	-						
	-	-						

大分類		農村生活環境基盤データ		定義	元資料	デジタルオルソ画像及び既存資料
レイヤ名称	種別	形状	取得レベル			
排水管路	ベクター	線	B			
縮尺	1/2,500					
ファイル名称	shorikan					
属性定義	項目	項目名	データ型	データ長(バイト)	表記	内容
	都道府県コード	PREFCODE	文字	2	前ゼロ	別紙都道府県コード表による。
	市町村コード	CITYCODE	文字	3	前ゼロ	別紙市町村コード表による。
	種類コード	TYPECODE	文字	2	前ゼロ	01:農業集落、02:漁業集落、03:林業地域、04:公共下水道、05:流域下水道、06:特定公共、07:特定環境保全、08:...
	管路名称	NAME	文字	30		管路名称を記述する
	管理者コード	ADMINCODE	文字	2	前ゼロ	01:国、02:都道府県、03:市町村、04:土地改良区、05:その他
	元資料	MATERIAL	文字	40		使用した元資料の名称。
	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-
品質要素		要求品質		品質検査方法		適合水準
完全性	過剰	過剰が無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%
	漏れ	漏れが無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 漏れ数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%
論理一貫性	概念一貫性		-		-	
	定義域一貫性	都道府県コード	規定のコードの範囲内であること。	データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%
		市町村コード	規定のコードの範囲内であること。	データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		種類コード	規定のコードの範囲内であること。	データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		管路名称	有効な全角文字列であること。	データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		管理者コード	規定のコードの範囲内であること。	データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		元資料	有効な全角文字列であること。	データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		-	-	-		
		-	-	-		
	フォーマット一貫性	シェ - ブファイル形式であること。		データをシェ - ブファイルを扱えるコンピュータプログラムに読み込み可能かどうか、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100%
位相一貫性	-		-		-	
位置正確度	絶対または外部正確度	元資料の縮尺において、元資料とのズレが図上0.7mm以内であること。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = ズレ超過箇所数 ÷ 総数 × 100%
	相対または内部正確度	-		-		-
	グリッドデータ位置正確度	-		-		-
時間正確度	時間測定正確度	-		-		-
	時間一貫性	-		-		-
	時間妥当性	-		-		-
主題正確度	分類の正確性	都道府県コード	内容が正しいこと	データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%
		市町村コード	内容が正しいこと			
		種類コード	内容が正しいこと			
		管路名称	-			
		管理者コード	内容が正しいこと			
		元資料	-			
	-	-				
	-	-				
	-	-				
	-	-				
	-	-				
	-	-				
	-	-				
	-	-				
	-	-				
非定量的属性の正確性	都道府県コード	-				
	市町村コード	-				
	種類コード	-				
	管路名称	内容が正しいこと				
	管理者コード	-				
	元資料	内容が正しいこと				
-	-					
-	-					
-	-					
-	-					
-	-					
-	-					
定量的属性正確度	都道府県コード	-				
	市町村コード	-				
	種類コード	-				
	管路名称	-				
	管理者コード	-				
	元資料	-				
-	-					
-	-					
-	-					
-	-					
-	-					
-	-					

大分類		農村生活環境基盤データ		定義	農振地域内の各種公園である。	元資料	デジタルオルソ画像及び既存資料、現地調査結果	
レイヤ名称	公園	種別	ベクター					
形状	面	取得レベル	A	縮尺	1/2,500	ファイル名称	kouen	
属性定義	項目	項目名	データ型	データ長(バイト)	表記	内容		
	都道府県コード	PREFCODE	文字	2	前ゼロ	別紙都道府県コード表による。		
	市町村コード	CITYCODE	文字	3	前ゼロ	別紙市町村コード表による。		
	名称	NAME	文字	20		公園の名称		
	種類コード	TYPECODE	文字	2	前ゼロ	01:集落園地、02:児童公園、03:地区公園、04:地域公園、05:緑道、06:レクリエーション施設、07:環境保全緑地、08:その他		
	面積	AREA	実数	4	小数第1位	単位:m		
	管理者コード	ADMINCODE	文字	2	前ゼロ	01:国、02:都道府県、03:市町村、04:土地改良区、05:その他		
	元資料	MATERIAL	文字	40		使用した元資料の名称。		
	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-
品質要素		要求品質		品質検査方法		適合水準		
完全性	過剰	過剰が無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%		
	漏れ	漏れが無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 漏れ数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%		
論理一貫性	概念一貫性		-		-		-	
	定義域一貫性	都道府県コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%	
		市町村コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		名称	有効な全角文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		種類コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		面積	0.1以上であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		管理者コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		元資料	有効な全角文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		-	-		-			
	-	-		-				
-	-		-					
フォーマット一貫性		シェ - プファイル形式であること。		データをシェ - プファイルを扱えるコンピュータプログラムに読み込み可能かどうか、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100%		
位相一貫性		面図形同士が重複しないこと。		データを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 重複箇所 ÷ 総数 × 100%		
位置正確度	絶対または外部正確度	元資料の縮尺において、元資料とのズレが図上0.7mm以内であること。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = ズレ超過箇所数 ÷ 総数 × 100%		
	相対または内部正確度	-		-		-		
	クリッドデータ位置正確度	-		-		-		
時間正確度	時間測定正確度	-		-		-		
	時間一貫性	-		-		-		
	時間妥当性	-		-		-		
主題正確度	分類の正確性	都道府県コード	内容が正しいこと		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%	
		市町村コード	内容が正しいこと					
		名称	-					
		種類コード	内容が正しいこと					
		面積	-					
		管理者コード	内容が正しいこと					
		元資料	-					
		-	-					
		-	-					
	非定量的属性の正確性	都道府県コード	-					
		市町村コード	-					
		名称	内容が正しいこと					
		種類コード	-					
		面積	-					
		管理者コード	-					
		元資料	内容が正しいこと					
		-	-					
		-	-					
定量的属性の正確度	都道府県コード	-						
	市町村コード	-						
	名称	-						
	種類コード	-						
	面積	内容が正しいこと						
	管理者コード	-						
	元資料	-						
	-	-						
	-	-						

大分類 農村生活環境基盤データ			定義	老人福祉施設、病院等の福祉施設をいう。	元資料	デジタルオルソ画像及び既存資料、現地調査結果	
レイヤ名称 福祉施設							
種別 ベクター							
形状 点							
取得レベル A							
縮尺 1/2,500							
ファイル名称 tukusi							
属性定義	項目	項目名	データ型	データ長(バイト)	表記	内容	
	都道府県コード	PREFCODE	文字	2	前ゼロ	別紙都道府県コード表による。	
	市町村コード	CITYCODE	文字	3	前ゼロ	別紙市町村コード表による。	
	名称	NAME	文字	20		施設の名称	
	種類コード	TYPECODE	文字	2	前ゼロ	01:老人福祉会館、02:病院、03:その他	
	管理者コード	ADMINCODE	文字	2	前ゼロ	01:国、02:都道府県、03:市町村、04:土地改良区、05:その他	
	元資料	MATERIAL	文字	40		使用した元資料の名称。	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
品質要素			要求品質		品質検査方法	適合水準	
完全性	過剰	過剰が無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 過剰数) × 100%	
	漏れ	漏れが無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 漏れ数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%	
論理一貫性	概念一貫性	-		-		-	
	定義域一貫性	都道府県コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%
		市町村コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		名称	有効な全角文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		種類コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		管理者コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		元資料	有効な全角文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		-	-		-		
		-	-		-		
	フォーマット一貫性	シェ - プファイル形式であること。		データをシェ - プファイルを扱えるコンピュータプログラムに読み込み可能かどうか、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100%	
位相一貫性	-		-		-		
位置正確度	絶対または外部正確度	-		-		-	
	相対または内部正確度	縮尺1/2,500において、デジタルオルソ画像での施設内にあること。		データとデジタルオルソ画像とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = ズレ超過箇所数 ÷ 総数 × 100%	
	グリッドデータ位置正確度	-		-		-	
時間正確度	時間測定正確度	-		-		-	
	時間一貫性	-		-		-	
	時間妥当性	-		-		-	
主題正確度	分類の正確性	都道府県コード	内容が正しいこと		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%
		市町村コード	内容が正しいこと				
		名称	-				
		種類コード	内容が正しいこと				
		管理者コード	内容が正しいこと				
		元資料	-				
		-	-				
		-	-				
		-	-				
		-	-				
	非定量的属性の正確性	都道府県コード	-		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%
		市町村コード	-				
		名称	内容が正しいこと				
		種類コード	-				
		管理者コード	-				
		元資料	内容が正しいこと				
		-	-				
		-	-				
		-	-				
		-	-				
定量的属性の正確度	都道府県コード	-		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%	
	市町村コード	-					
	名称	-					
	種類コード	-					
	管理者コード	-					
	元資料	-					
	-	-					
	-	-					
	-	-					
	-	-					

大分類 農村生活環境基盤データ			定義	図書館、美術館、博物館等の教養施設をいう。	元資料	デジタルオルソ画像及び既存資料、現地調査結果	
レイヤ名称 教養施設							
種別 ベクター							
形状 点							
取得レベル B							
縮尺 1/2,500							
ファイル名称 kyouyou							
属性定義	項目	項目名	データ型	データ長(バイト)	表記	内容	
	都道府県コード	PREFCODE	文字	2	前ゼロ	別紙都道府県コード表による。	
	市町村コード	CITYCODE	文字	3	前ゼロ	別紙市町村コード表による。	
	名称	NAME	文字	20		施設の名称	
	種類コード	TYPECODE	文字	2	前ゼロ	01:図書館、02:美術館、03:博物館、04:その他	
	管理者コード	ADMINCODE	文字	2	前ゼロ	01:国、02:都道府県、03:市町村、04:土地改良区、05:その他	
	元資料	MATERIAL	文字	40		使用した元資料の名称。	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
品質要素			要求品質		品質検査方法	適合水準	
完全性	過剰		過剰が無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。	誤率: 2.5% 誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%	
	漏れ		漏れが無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。	誤率: 2.5% 誤率 = 漏れ数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%	
論理一貫性	概念一貫性		-		-	-	
	定義域一貫性	都道府県コード	規定のコードの範囲内であること。	データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		-	誤率: 0% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%
		市町村コード	規定のコードの範囲内であること。	データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		-	
		名称	有効な全角文字列であること。	データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		-	
		種類コード	規定のコードの範囲内であること。	データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		-	
		管理者コード	規定のコードの範囲内であること。	データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		-	
		元資料	有効な全角文字列であること。	データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		-	
		-	-	-		-	
		-	-	-		-	
	フォーマット一貫性		シェ - ブファイル形式であること。		データをシェ - ブファイルを扱えるコンピュータプログラムに読み込み可能かどうか、全数検査する。	誤率: 0% 誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100%	
位相一貫性		-		-	-		
位置正確度	絶対または外部正確度		-		-	-	
	相対または内部正確度		縮尺1/2,500において、デジタルオルソ画像での施設内にあること。		データとデジタルオルソ画像とを、目視により対比し、サンプリング検査する。	誤率: 2.5% 誤率 = ズレ超過箇所数 ÷ 総数 × 100%	
	グリッドデータ位置正確度		-		-	-	
時間正確度	時間測定正確度		-		-	-	
	時間一貫性		-		-	-	
	時間妥当性		-		-	-	
主題正確度	分類の正確性	都道府県コード	内容が正しいこと	データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%	
		市町村コード	内容が正しいこと				
		名称	-				
		種類コード	内容が正しいこと				
		管理者コード	内容が正しいこと				
		元資料	内容が正しいこと				
		-	-				
		-	-				
		-	-				
		-	-				
	非定量的属性の正確性	都道府県コード	-	データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%	
		市町村コード	-				
		名称	内容が正しいこと				
		種類コード	-				
		管理者コード	-				
		元資料	内容が正しいこと				
		-	-				
		-	-				
		-	-				
		-	-				
定量的属性の正確度	都道府県コード	-	データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%		
	市町村コード	-					
	名称	-					
	種類コード	-					
	管理者コード	-					
	元資料	-					
	-	-					
	-	-					
	-	-					
	-	-					

大分類		農村生活環境基盤データ		定義	消火栓、防火水槽、避難場所等の集落安全施設をいう。	元資料	デジタルオルソ画像及び既存資料、現地調査結果	
レイヤ名称	種別	形状	取得レベル					
	集落安全施設	ベクター	点					
			B					
			1/2,500					
			anzen					
属性定義		項目	項目名	データ型	データ長(バイト)	表記	内容	
		都道府県コード	PREFCODE	文字	2	前ゼロ	別紙都道府県コード表による。	
		市町村コード	CITYCODE	文字	3	前ゼロ	別紙市町村コード表による。	
		名称	NAME	文字	20		施設の名称	
		種類コード	TYPECODE	文字	2	前ゼロ	01:消火栓、02:防火水槽、03:避難場所、04:その他	
		規模	SIZE	文字	20		規模(容量、口径、面積等、施設種類による)を、単位表記を含めて文字列で表記	
		管理者コード	ADMINCODE	文字	2	前ゼロ	01:国、02:都道府県、03:市町村、04:土地改良区、05:その他	
		元資料	MATERIAL	文字	40		使用した元資料の名称。	
		-	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-	
品質要素		要求品質			品質検査方法		適合水準	
完全性	過剰	過剰が無いこと。			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%	
	漏れ	漏れが無いこと。			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 漏れ数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%	
論理一貫性	概念一貫性	-			-		-	
	定義域一貫性	都道府県コード	規定のコードの範囲内であること。			データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%
		市町村コード	規定のコードの範囲内であること。			データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		名称	有効な全角文字列であること。			データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		種類コード	規定のコードの範囲内であること。			データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		規模	有効な文字列であること。			データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		管理者コード	規定のコードの範囲内であること。			データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		元資料	有効な全角文字列であること。			データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		-	-			-		
		-	-			-		
-	-			-				
	フォーマット一貫性	シェ - ブファイル形式であること。			データをシェ - ブファイルを扱えるコンピュータプログラムに読み込み可能かどうか、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100%	
	位相一貫性	-			-		-	
位置正確度	絶対または外部正確度	-			-		-	
	相対または内部正確度	縮尺1/2,500において、デジタルオルソ画像での施設内にあること。			データとデジタルオルソ画像とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = ズレ超過箇所数 ÷ 総数 × 100%	
	クリッドデータ位置正確度	-			-		-	
時間正確度	時間測定正確度	-			-		-	
	時間一貫性	-			-		-	
	時間妥当性	-			-		-	
主題正確度	分類の正確性	都道府県コード	内容が正しいこと			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%
		市町村コード	内容が正しいこと					
		名称	-					
		種類コード	内容が正しいこと					
		規模	-					
		管理者コード	内容が正しいこと					
		元資料	-					
		-	-					
		-	-					
		-	-					
	非定量的属性の正確性	都道府県コード	-					
		市町村コード	-					
		名称	内容が正しいこと					
		種類コード	-					
		規模	-					
		管理者コード	-					
		元資料	内容が正しいこと					
		-	-					
		-	-					
		-	-					
定量的属性の正確度	都道府県コード	-						
	市町村コード	-						
	名称	-						
	種類コード	-						
	規模	内容が正しいこと						
	管理者コード	-						
	元資料	-						
	-	-						
	-	-						
	-	-						

大分類		農村生活環境基盤データ		定義	ゴミ処理場等の主要なゴミ処理施設をいう。	元資料	デジタルオルソ画像及び既存資料、現地調査結果	
レイヤ名称	種別	形状	取得レベル					
レイヤ名称	ゴミ処理施設	ベクター	点					
種別	ベクター							
形状	点							
取得レベル	B							
縮尺	1/2,500							
ファイル名称	gomishori							
属性定義		項目	項目名	データ型	データ長(バイト)	表記	内容	
		都道府県コード	PREFCODE	文字	2	前ゼロ	別紙都道府県コード表による。	
		市町村コード	CITYCODE	文字	3	前ゼロ	別紙市町村コード表による。	
		名称	NAME	文字	20		施設の名称	
		種類コード1	SHURU1	文字	2	前ゼロ	可燃物処理 01:あり, 02:なし	
		種類コード2	SHURU2	文字	2	前ゼロ	不燃物処理 01:あり, 02:なし	
		種類コード3	SHURU3	文字	2	前ゼロ	資源ゴミ処理 01:あり, 02:なし	
		種類コード4	SHURU4	文字	2	前ゼロ	粗大ゴミ処理 01:あり, 02:なし	
		管理者コード	ADMINCODE	文字	2	前ゼロ	01:国, 02:都道府県, 03:市町村, 04:土地改良区, 05:その他	
		元資料	MATERIAL	文字	40		使用した元資料の名称。	
		-	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-	
品質要素		要求品質			品質検査方法		適合水準	
完全性	過剰	過剰が無いこと。			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5% 誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 過剰数) × 100%	
	漏れ	漏れが無いこと。			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5% 誤率 = 漏れ数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%	
論理一貫性	概念一貫性		-			-		-
	定義域一貫性	都道府県コード	規定のコードの範囲内であること。			データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率: 0% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%
		市町村コード	規定のコードの範囲内であること。			データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		名称	有効な全角文字列であること。			データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		種類コード1	規定のコードの範囲内であること。			データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		種類コード2	規定のコードの範囲内であること。			データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		種類コード3	規定のコードの範囲内であること。			データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		種類コード4	規定のコードの範囲内であること。			データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		管理者コード	規定のコードの範囲内であること。			データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
	元資料	有効な全角文字列であること。			データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
-	-			-		-		
-	-			-		-		
-	-			-		-		
-	-			-		-		
-	-			-		-		
フォーマット一貫性		シェ - プファイル形式であること。			データをシェ - プファイルを扱えるコンピュータプログラムに読み込み可能かどうか、全数検査する。		誤率: 0% 誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100%	
位相一貫性		-			-		-	
位置正確度	絶対または外部正確度		-			-		-
	相対または内部正確度		縮尺1/2,500において、デジタルオルソ画像での施設内にあること。			データとデジタルオルソ画像とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5% 誤率 = ズレ超過箇所数 ÷ 総数 × 100%
	クリッドデータ位置正確度		-			-		-
時間正確度	時間測定正確度		-			-		-
	時間一貫性		-			-		-
	時間妥当性		-			-		-
主題正確度	分類の正確性	都道府県コード	内容が正しいこと			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%
		市町村コード	内容が正しいこと					
		名称	-					
		種類コード1	内容が正しいこと					
		種類コード2	内容が正しいこと					
		種類コード3	内容が正しいこと					
		種類コード4	内容が正しいこと					
		管理者コード	内容が正しいこと					
	元資料	-						
	-	-						
	-	-						
	-	-						
	-	-						
	-	-						
	-	-						
	-	-						
	-	-						
	非定量的属性の正確性	都道府県コード	-					
		市町村コード	-					
		名称	内容が正しいこと					
種類コード1		-						
種類コード2		-						
種類コード3		-						
種類コード4		-						
管理者コード		-						
元資料	内容が正しいこと							
-	-							
-	-							
-	-							
-	-							
-	-							
-	-							
-	-							
定量的属性の正確度	都道府県コード	-						
	市町村コード	-						
	名称	-						
	種類コード1	-						
	種類コード2	-						
	種類コード3	-						
	種類コード4	-						
	管理者コード	-						
元資料	-							
-	-							
-	-							
-	-							
-	-							
-	-							
-	-							

大分類 農村生活環境基盤データ			定義	ゴミ処理の収集範囲をいう。	元資料	デジタルオルソ画像及び既存資料、現地調査結果		
レイヤ名称 ゴミ収集範囲								
種別 ベクター								
形状 面								
取得レベル B								
縮尺 1/2,500								
ファイル名称 gomishu								
属性定義	項目	項目名	データ型	データ長(バイト)	表記	内容		
	都道府県コード	PREFCODE	文字	2	前ゼロ	別紙都道府県コード表による。		
	市町村コード	CITYCODE	文字	3	前ゼロ	別紙市町村コード表による。		
	名称	NAME	文字	20		当該処理場の名称		
	種類コード	TYPECODE	文字	2	前ゼロ	01:可燃ゴミ、02:不燃ゴミ、03:資源ゴミ、04:粗大ゴミ、05:その他		
	管理者コード	ADMINCODE	文字	2	前ゼロ	01:国、02:都道府県、03:市町村、04:土地改良区、05:その他		
	元資料	MATERIAL	文字	40		使用した元資料の名称。		
	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-		
品質要素			要求品質		品質検査方法		適合水準	
完全性	過剰	過剰が無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5%		
	漏れ	漏れが無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5%		
論理一貫性	概念一貫性	-		-		-		
	定義域一貫性	都道府県コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率: 0% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%	
		市町村コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		名称	有効な全角文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		種類コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		管理者コード	規定のコードの範囲内であること。		データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		元資料	有効な全角文字列であること。		データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。			
		-	-		-			
		-	-		-			
	フォーマット一貫性	シェ - ブファイル形式であること。		データをシェ - ブファイルを扱えるコンピュータプログラムに読み込み可能かどうか、全数検査する。		誤率: 0% 誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100%		
位相一貫性	面図形同士が重複しないこと。		データを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率: 0% 誤率 = 重複箇所 ÷ 総数 × 100%			
位置正確度	絶対または外部正確度	元資料の縮尺において、元資料とのズレが図上0.7mm以内であること。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5% 誤率 = ズレ超過箇所数 ÷ 総数 × 100%		
	相対または内部正確度	-		-		-		
	グリッドデータ位置正確度	-		-		-		
時間正確度	時間測定正確度	-		-		-		
	時間一貫性	-		-		-		
	時間妥当性	-		-		-		
主題正確度	分類の正確性	都道府県コード	内容が正しいこと		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率: 2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%	
		市町村コード	内容が正しいこと					
		名称	-					
		種類コード	内容が正しいこと					
		管理者コード	内容が正しいこと					
		元資料	-					
	-	-						
	-	-						
	-	-						
	-	-						
	-	-						
	-	-						
	-	-						
	-	-						
	-	-						
	-	-						
	非定量的属性の正確性	都道府県コード	-					
		市町村コード	-					
名称		内容が正しいこと						
種類コード		-						
管理者コード		-						
元資料		内容が正しいこと						
-	-							
-	-							
-	-							
-	-							
-	-							
定量的属性の正確度	都道府県コード	-						
	市町村コード	-						
	名称	-						
	種類コード	-						
	管理者コード	-						
	元資料	-						
-	-							
-	-							
-	-							
-	-							
-	-							

大分類 農村生活環境基盤データ			定義	情報通信のための拠点施設をいう。	元資料	デジタルオルソ画像及び既存資料、現地調査結果	
レイヤ名称 情報通信施設							
種別 ベクター							
形状 点							
取得レベル B							
縮尺 1/2,500							
ファイル名称 jhotusin							
属性定義	項目	項目名	データ型	データ長(バイト)	表記	内容	
	都道府県コード	PREFCODE	文字	2	前ゼロ	別紙都道府県コード表による。	
	市町村コード	CITYCODE	文字	3	前ゼロ	別紙市町村コード表による。	
	名称	NAME	文字	20		施設の名称、管理番号等。	
	種類コード	TYPECODE	文字	2	前ゼロ	01:CATV、02:同報無線、03:その他	
	管理者コード	ADMINCODE	文字	2	前ゼロ	01:国、02:都道府県、03:市町村、04:土地改良区、05:その他	
	元資料	MATERIAL	文字	40		使用した元資料の名称。	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
品質要素			要求品質		品質検査方法	適合水準	
完全性	過剰		過剰が無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。	誤率:2.5% 誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%	
	漏れ		漏れが無いこと。		データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。	誤率:2.5% 誤率 = 漏れ数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%	
論理一貫性	概念一貫性		-		-	-	
	定義域一貫性	都道府県コード	規定のコードの範囲内であること。	データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		-	誤率:0% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%
		市町村コード	規定のコードの範囲内であること。	データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		-	
		名称	有効な文字列であること。	データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		-	
		種類コード	規定のコードの範囲内であること。	データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		-	
		管理者コード	規定のコードの範囲内であること。	データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		-	
		元資料	有効な全角文字列であること。	データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		-	
		-	-	-		-	
		-	-	-		-	
	フォーマット一貫性		シェ - ブファイル形式であること。		データをシェ - ブファイルを扱えるコンピュータプログラムに読み込み可能かどうか、全数検査する。	誤率:0% 誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100%	
位相一貫性		-		-	-		
位置正確度	絶対または外部正確度		-		-	-	
	相対または内部正確度		縮尺1/2,500において、デジタルオルソ画像での施設内にあること。		データとデジタルオルソ画像とを、目視により対比し、サンプリング検査する。	誤率:2.5% 誤率 = ズレ超過箇所数 ÷ 総数 × 100%	
	グリッドデータ位置正確度		-		-	-	
時間正確度	時間測定正確度		-		-	-	
	時間一貫性		-		-	-	
	時間妥当性		-		-	-	
主題正確度	分類の正確性	都道府県コード	内容が正しいこと	データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%	
		市町村コード	内容が正しいこと				
		名称	-				
		種類コード	内容が正しいこと				
		管理者コード	内容が正しいこと				
		元資料	内容が正しいこと				
	-	-					
	-	-					
	-	-					
	-	-					
	-	-					
	-	-					
	-	-					
	-	-					
	-	-					
	-	-					
	-	-					
	-	-					
	-	-					
	非定量的属性の正確性	都道府県コード	-				
		市町村コード	-				
名称		内容が正しいこと					
種類コード		-					
管理者コード		-					
元資料		内容が正しいこと					
-	-						
-	-						
-	-						
-	-						
-	-						
-	-						
定量的属性の正確度	都道府県コード	-					
	市町村コード	-					
	名称	-					
	種類コード	-					
	管理者コード	-					
	元資料	-					
-	-						
-	-						
-	-						
-	-						
-	-						

大分類		農村生活環境基盤データ		定義	情報通信のための通信ケーブル(CATV, 同報無線)をいう。	元資料	デジタルオール画像及び既存資料、現地調査結果	
レイヤ名称		情報通信ケーブル						
種別		ベクター						
形状		線						
取得レベル		B						
縮尺		1/2,500						
ファイル名称		jhotusin						
属性定義	項目	項目名	データ型	データ長(バイト)	表記	内容		
	都道府県コード	PREFCODE	文字	2	前ゼロ	別紙都道府県コード表による。		
	市町村コード	CITYCODE	文字	3	前ゼロ	別紙市町村コード表による。		
	名称	NAME	文字	20		施設の名称、管理番号等。		
	種類コード	TYPECODE	文字	2	前ゼロ	01:CATV、02:同報無線、03:その他		
	管理者コード	ADMINCODE	文字	2	前ゼロ	01:国、02:都道府県、03:市町村、04:土地改良区、05:その他		
	元資料	MATERIAL	文字	40		使用した元資料の名称。		
	-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	
品質要素			要求品質		品質検査方法		適合水準	
完全性	過剰	過剰が無いこと。			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 過剰数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%	
	漏れ	漏れが無いこと。			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 漏れ数 ÷ (総数 + 漏れ数 - 過剰数) × 100%	
論理一貫性	概念一貫性	-			-		-	
	定義域一貫性	都道府県コード	規定のコードの範囲内であること。			データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%
		市町村コード	規定のコードの範囲内であること。			データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		名称	有効な文字列であること。			データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		種類コード	規定のコードの範囲内であること。			データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		管理者コード	規定のコードの範囲内であること。			データとコード表とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		元資料	有効な全角文字列であること。			データと有効範囲とを、コンピュータプログラムにより対比し、全数検査する。		
		-	-			-		
		-	-			-		
	フォーマット一貫性	シェ - プファイル形式であること。			データをシェ - プファイルを扱えるコンピュータプログラムに読み込み可能かどうか、全数検査する。		誤率:0% 誤率 = 誤りファイル数 ÷ 総ファイル数 × 100%	
位相一貫性	-			-		-		
位置正確度	絶対または外部正確度	元資料の縮尺において、元資料とのズレが図上0.7mm以内であること。			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = ズレ超過箇所数 ÷ 総数 × 100%	
	相対または内部正確度	-			-		-	
	グリッドデータ位置正確度	-			-		-	
時間正確度	時間測定正確度	-			-		-	
	時間一貫性	-			-		-	
	時間妥当性	-			-		-	
主題正確度	分類の正確性	都道府県コード	内容が正しいこと			データと元資料とを、目視により対比し、サンプリング検査する。		誤率:2.5% 誤率 = 誤り数 ÷ 総数 × 100%
		市町村コード	内容が正しいこと					
		名称	-					
		種類コード	内容が正しいこと					
		管理者コード	内容が正しいこと					
		元資料	内容が正しいこと					
	-	-						
	-	-						
	-	-						
	-	-						
	-	-						
	-	-						
	-	-						
	-	-						
	-	-						
	-	-						
	非定量的属性の正確性	都道府県コード	-					
		市町村コード	-					
名称		内容が正しいこと						
種類コード		-						
管理者コード		-						
元資料		内容が正しいこと						
-	-							
-	-							
-	-							
-	-							
-	-							
定量的属性の正確度	都道府県コード	-						
	市町村コード	-						
	名称	-						
	種類コード	-						
	管理者コード	-						
	元資料	-						
-	-							
-	-							
-	-							
-	-							
-	-							